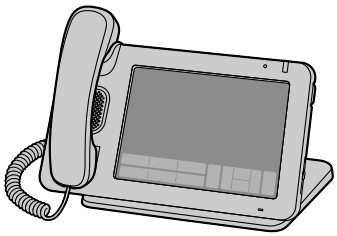
Panasonic



取扱説明書（プログラム編）

スマートデスクホン

品番 KX-UT670N

保証書別添付

技術基準適合認証品

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- 保証書は、「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

KX-UT670N：ソフトウェアバージョン　01.020 以降

Document Version 2011-11

はじめに

本書は、本機の設定について詳しく説明しています。
本書には技術的な記載があり、ネットワークとVoIP（Voice over Internet Protocol）に関する知識が必要です。

取扱説明書の構成について

本機の取扱説明書は、下記の3冊で構成されています。

お使いになる前に（印刷物）	使用するうえでの安全上のご注意・お願いや、接続の方法を説明しています。
取扱説明書（操作編）（PDF）	各部のなまえ、操作の手順、お手入れの方法などを説明しています。 取扱説明書（操作編）は、下記サイトでご確認いただけます。 http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/
取扱説明書（プログラム編）（本書）	システム管理者が行う設定や、保守・管理の方法を説明しています。

本書での表記について

- 操作上お守りいただきたいことなど、大切な情報を次のように表しています。

お願い	操作上、お守りいただきたい重要事項や、禁止事項を記載しています。必ずお読みください。
お知らせ	操作の補足説明を記載しています。

- 参照していただきたいページを☞ マークで表記しています。
- 本書に記載している画面は、実際に表示される画面と異なる場合があります。
- 本機で使用できるSDメモリーカードなどをまとめて、「SDカード」と表記しています。

  動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
  http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/

- シートキーのボタンを [☰ メニュー] のように表記しています。その他の画面の文字列は［］で表記しています。

商標および登録商標について

- SDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- Microsoft、Internet Explorer、およびWindowsは米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における登録商標または商標です。
- LinuxはLinus Torvalds氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他、本書に記載されている会社名・ロゴ・製品名・ソフトウェア名は、各会社の商標または登録商標です。
- Microsoft Corporationのガイドラインに従って画面写真を使用しています。

もくじ

1　本機を使用した基本的な設定 17
1.1　設定 18
1.1.1　工場出荷設定 18
1.1.2　本機で使用する言語の選択 18
1.1.3　基本的なネットワーク設定 18
1.1.4　その他のネットワーク設定 20
1.1.4.1　ファイアウォールおよびルーターの設定 20
1.1.4.2　NAT（Network Address Translation）設定 21
1.1.4.3　グローバルアドレス検出機能について 22
2　プログラミングの概要 23
2.1　プログラミングの方法 24
2.2　本機を使用したプログラミング 24
2.2.1　本機の言語を変更する 24
2.3　Webプログラミング 25
2.4　設定ファイルによるプログラミング 26
2.4.1　プレプロビジョニング 27
2.4.1.1　プレプロビジョニングとは 27
2.4.1.2　プレプロビジョニングサーバー 27
2.4.1.3　プレプロビジョニングの設定例 28
2.4.2　プロビジョニング 29
2.4.2.1　プロビジョニングとは 29
2.4.2.2　プロビジョニング用プロトコル 29
2.4.2.3　設定ファイル 29
2.4.2.4　設定ファイルのダウンロード 31
2.4.2.5　プロビジョニングサーバー設定例 34
2.4.2.6　暗号化 36
2.4.3　SDカードによる設定 36
2.5　設定方法の優先度 38
3　本機を使用したプログラミング 39
3.1　本機を使用したプログラミング 40
3.1.1　Web ID／パスワードの初期化 40
3.1.2　本機の管理者メニューのパスワード 40
4　Webプログラミング 43
4.1　Webプログラミングの設定一覧 44
4.2　Webプログラミングの概要 53
4.2.1　Webプログラミングのパスワード 53
4.2.2　Webプログラミングの言語を変更する 54
4.2.3　Webプログラミングにアクセスする前に 54

4.2.4 Webプログラミングへのアクセス（ログイン） 56
4.3 機器情報 59
4.3.1 バージョン情報 59
4.3.1.1 バージョン情報 59
モデル名 59
OSバージョン 59
ファームウェアバージョン 59
4.3.2 ネットワークステータス 59
4.3.2.1 ネットワークステータス 60
MACアドレス 60
LANポートのリンク状態 60
PCポートのリンク状態 60
接続方式 60
IPアドレス 60
サブネットマスク 60
デフォルトゲートウェイ 61
DNSサーバー1 61
DNSサーバー2 61
4.3.3 VoIPステータス 61
4.3.3.1 VoIPステータス 62
回線番号 62
電話番号 62
VoIPステータス 62
4.4 ネットワーク設定 62
4.4.1 ネットワーク基本設定 62
4.4.1.1 接続方式 63
接続方式 63
4.4.1.2 DHCP接続 63
ホスト名 63
DNSサーバー設定方式 64
4.4.1.3 固定IP接続 64
IPアドレス 64
サブネットマスク 65
デフォルトゲートウェイ 65
DNSサーバー1 65
DNSサーバー2 66
4.4.2 イーサポート設定 66
4.4.2.1 リンク速度／デュプレックス 66
LANポート 66
PCポート 67

4.4.2.2 VLAN 67
VLAN 67
IP電話 (VLAN ID) 67
IP電話 (優先度) 68
PC（VLAN ID） 68
PC（優先度） 68
4.4.3 HTTPクライアント設定 69
4.4.3.1 HTTPクライアント設定 69
HTTP バージョン 69
HTTPユーザーエージェント 69
4.4.3.2 HTTP認証 70
認証ID 70
認証パスワード 70
4.4.3.3 プロキシサーバー 71
プロキシサーバー 71
プロキシサーバーアドレス 71
プロキシサーバーポート 71
4.4.4 グローバルアドレス検出 71
4.4.4.1 グローバルアドレス検出 72
検出方式 72
検出間隔 72
4.4.4.2 STUNサーバー 72
STUNサーバーアドレス 72
STUNサーバーポート 73
4.4.5 静的NAPT設定 73
4.4.5.1 グローバルアドレス 74
グローバルアドレス 74
4.4.5.2 SIPポートマッピング 74
回線1～回線6 74
4.4.5.3 RTPポートマッピング 74
グローバルRTPポート 1～25 74
4.5 システム設定 75
4.5.1 Web言語 75
4.5.1.1 Web言語 75
言語 75
4.5.2 管理者パスワード変更 75
4.5.2.1 管理者パスワード変更 76
現在のパスワード 76
新しいパスワード 76
パスワード確認 77

4.5.3 ユーザーパスワード変更 77
4.5.3.1 ユーザーパスワード変更 77
現在のパスワード 77
新しいパスワード 78
パスワード確認 78
4.5.4 Webサーバー設定 78
4.5.4.1 Webサーバー設定 78
Webサーバーポート 78
ポートクローズ時間 79
4.6 VoIP 79
4.6.1 SIP設定 79
4.6.1.1 SIP設定 80
SIPユーザーエージェント 80
4.6.2 SIP設定 [回線1]～[回線6] 80
4.6.2.1 電話番号 81
電話番号 81
SIP URI 81
4.6.2.2 SIPサーバー 81
レジストラサーバーアドレス 81
レジストラサーバーポート 82
プロキシサーバーアドレス 82
プロキシサーバーポート 82
プレゼンスサーバーアドレス 82
プレゼンスサーバーポート 82
4.6.2.3 アウトバウンドプロキシ 83
アウトバウンドプロキシサーバーアドレス 83
アウトバウンドプロキシサーバーポート 83
4.6.2.4 SIPサービスドメイン 83
サービスドメイン 83
4.6.2.5 SIPポート 83
SIPポート 83
4.6.2.6 SIP認証 84
認証ID 84
認証パスワード 84
4.6.2.7 DNS 85
DNS SRV 85
UDP用SRVプリフィックス 85
TCP用SRVプリフィックス 85
4.6.2.8 SIPトランスポートプロトコル 86
トランスポートプロトコル 86

4.6.2.9 SIPタイマー 86
T1タイマー 86
T2タイマー 86
タイマーB 87
タイマーD 87
タイマーF 87
タイマーH 87
タイマーJ 88
4.6.2.10 QoS 88
DSCP （SIPパケット） 88
4.6.2.11 SIP拡張機能 88
100rel （RFC 3262） 88
セッションタイマー （RFC 4028) 89
4.6.2.12 NAT 89
キープアライブ間隔 89
Rport （RFC 3581） 89
4.6.2.13 セキュリティ 90
SIPソースアドレスフィルター 90
4.6.3 VoIP設定 90
4.6.3.1 RTP設定 91
RTP送信間隔 91
RTPポートの最小値 91
RTPポートの最大値 91
DTMFペイロードタイプ 92
4.6.4 VoIP設定 [回線1]～[回線6] 93
4.6.4.1 QoS 93
DSCP （RTPパケット） 93
4.6.4.2 統計情報 93
RTCP送信 93
RTCP送信間隔 94
4.6.4.3 ジッタバッファ 94
最大遅延 94
最小遅延 94
初期遅延 94
4.6.4.4 DTMF 95
DTMF方式 95
4.6.4.5 RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留 95
RFC 2543 保留 95
4.6.4.6 コーディック優先度 96
G722（設定） 96

G722（優先度） 96
PCMA（設定） 96
PCMA（優先度） 96
G729A（設定） 97
G729A（優先度） 97
PCMU（設定） 97
PCMU（優先度） 97
4.7 電話設定 98
4.7.1 電話機能設定 98
4.7.1.1 電話機能設定 98
ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信 98
ダイヤル桁間タイマー 99
ダイヤルプランタイマー 99
国際番号 99
国番号 99
市内局番 100
通常使用する回線番号 100
フラッシュ動作（切断＆再捕捉） 100
フラッシュ再捕捉イベント 100
内線指定代理応答 101
4.7.1.2 着信拒否番号 101
1～30 101
4.7.2 電話機能設定 [回線1]～[回線6] 102
4.7.2.1 電話機能設定 102
ディスプレイネーム 102
ボイスメールアクセス番号 102
リソースリストURI 103
4.7.2.2 番号計画 103
番号計画 （最大500文字） 103
番号計画不一致時に発信 104
4.7.2.3 発着信機能 104
発信者番号非通知 104
非通知着信拒否 104
着信拒否 105
4.7.2.4 不在転送 105
全着信 (不在転送) 105
全着信 (転送先電話番号) 105
話中 (不在転送) 106
話中 (転送先電話番号) 106
不応答 (不在転送) 106

不応答 (転送先電話番号) 107
不応答 (鳴動回数) 107
4.7.3 トーン設定 107
4.7.3.1 発信音 108
使用周波数 108
オン／オフ周期 108
4.7.3.2 話中音 108
使用周波数 108
オン／オフ周期 109
4.7.3.3 着信音 109
使用周波数 109
オン／オフ周期 109
4.7.3.4 スタッター音 110
使用周波数 110
オン／オフ周期 110
4.7.3.5 リオーダー音 110
使用周波数 110
オン／オフ周期 111
4.7.4 電話設定 111
4.7.4.1 電話設定 111
発信番号を照合する下限桁数 111
発信番号を照合する上限桁数 112
4.8 保守 112
4.8.1 ファームウェア保守 112
4.8.1.1 ファームウェア保守 112
自動バージョンアップ 112
ファームウェアファイルURL 113
4.8.2 プロビジョニング保守 113
4.8.2.1 プロビジョニング保守 113
プロビジョニング 113
スタンダードファイルURL 114
プロダクトファイルURL 114
マスターファイルURL 114
定期プロビジョニング 115
定期プロビジョニング間隔 115
プロビジョニングSIPイベント名 115
4.8.3 設定値の初期化 116
4.8.4 再起動 116
4.9 メッセージについて 116
5 設定ファイルのプログラミング 119

5.1 設定ファイルのパラメータリスト 120
5.2 設定ファイルの概要 129
5.2.1 設定ファイルの仕様 129
5.2.2 設定ファイルのパラメータ 130
5.2.3 テキスト型に使用できる文字 131
5.3 設定ファイルの例 131
5.3.1 コーデック設定の例 131
5.3.2 誤った記述の例 132
5.4 システム設定 134
5.4.1 アカウント設定 134
ADMIN_ID 134
ADMIN_PASS 134
USER_ID 134
USER_PASS 135
5.4.2 時刻設定 135
TIME_ZONE_COUNTRY 135
5.4.3 Syslog設定 138
SYSLOG_ADDR 138
SYSLOG_PORT 138
5.4.4 ファームウェアアップデート設定 138
FIRM_UPGRADE_ENABLE 138
FIRM_VERSION 138
FIRM_FILE_PATH 139
5.4.5 プロビジョニング設定 140
OPTION66_ENABLE 140
PROVISION_ENABLE 140
CFG_STANDARD_FILE_PATH 140
CFG_PRODUCT_FILE_PATH 141
CFG_MASTER_FILE_PATH 142
CFG_FILE_KEY1 143
CFG_FILE_KEY2 144
CFG_FILE_KEY3 144
CFG_FILE_KEY_LENGTH 144
CFG_CYCLIC 145
CFG_CYCLIC_INTVL 145
CFG_RTRY_INTVL 145
CFG_RESYNC_TIME 146
CFG_RESYNC_FROM_SIP 146
5.5 ネットワーク設定 146
5.5.1 イーサポート設定 146

VLAN_ENABLE 146
VLAN_ID_IP_PHONE 147
VLAN_PRI_IP_PHONE 147
VLAN_ID_PC 148
VLAN_PRI_PC 148
5.5.2 HTTP設定 148
HTTPD_PORTOPEN_AUTO 148
HTTP_VER 149
HTTP_USER_AGENT 149
HTTP_SSL_VERIFY 150
CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH 150
5.5.3 時刻同期設定 151
NTP_ADDR 151
TIME_SYNC_INTVL 151
TIME_QUERY_INTVL 152
5.5.4 STUN設定 152
STUN_SERV_ADDR 152
STUN_SERV_PORT 152
STUN_2NDSERV_ADDR 153
STUN_2NDSERV_PORT 153
5.5.5 各種ネットワーク設定 153
NW_SETTING_ENABLE 153
CUSTOM_WEB_PAGE 153
5.6 電話設定 154
5.6.1 呼制御設定 154
VM_SUBSCRIBE_ENABLE 154
FIRSTDIGIT_TIM 154
INTDIGIT_TIM 154
MACRODIGIT_TIM 155
INTERNATIONAL_ACCESS_CODE 155
COUNTRY_CALLING_CODE 155
NATIONAL_ACCESS_CODE 155
DEFAULT_LINE_SELECT 156
DATA_LINE_MODE 156
NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT 156
TALK_PACKAGE 156
HOLD_PACKAGE 157
HOLD_RECALL_TIM 157
AUTO_ANS_RING_TIM 157
RINGING_OFF_SETTING_ENABLE 158

AUTO_CALL_HOLD 158
REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE 158
ONHOOK_TRANSFER_ENABLE 158
DISCONNECTION_MODE 159
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET 159
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE 159
KEY_PAD_TONE 159
5.6.2 音質設定 160
DIAL_TONE1_FRQ 160
DIAL_TONE1_GAIN 160
DIAL_TONE1_TIMING 160
DIAL_TONE2_FRQ 160
DIAL_TONE2_GAIN 161
DIAL_TONE2_TIMING 161
DIAL_TONE4_FRQ 161
DIAL_TONE4_GAIN 161
DIAL_TONE4_TIMING 162
BUSY_TONE_FRQ 162
BUSY_TONE_GAIN 162
BUSY_TONE_TIMING 162
REORDER_TONE_FRQ 163
REORDER_TONE_GAIN 163
REORDER_TONE_TIMING 163
RINGBACK_TONE_FRQ 164
RINGBACK_TONE_GAIN 164
RINGBACK_TONE_TIMING 164
HOLD_ALARM_FRQ 164
HOLD_ALARM_GAIN 165
HOLD_ALARM_TIMING 165
CW_TONE1_FRQ 165
CW_TONE1_GAIN 165
CW_TONE1_TIMING 165
HOLD_TONE_FRQ 166
HOLD_TONE_GAIN 166
HOLD_TONE_TIMING 166
5.6.3 電話設定 166
DISPLAY_NAME_REPLACE 166
NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT 167
NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT 167
5.6.4 フレキシブルキー設定 169

FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx 169
FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx 169
FLEX_BUTTON_LABELx 169
5.7 VoIP設定 170
5.7.1 コーデック設定 170
CODEC_G711_REQ 170
CODEC_G729_PARAM 170
CODEC_ENABLEx_n 170
CODEC_PRIORITYx_n 171
5.7.2 RTP設定 172
DSCP_RTP_n 172
RTCP_INTVL_n 172
MAX_DELAY_n 172
MIN_DELAY_n 173
NOM_DELAY_n 173
RTP_PORT_MIN 174
RTP_PORT_MAX 174
RTP_PTIME 175
RTCP_ENABLE_n 175
RTCP_SEND_BY_SDP_n 175
RTP_CLOSE_ENABLE_n 176
5.7.3 各種VoIP設定 176
OUTBANDDTMF_n 176
TELEVENT_PAYLOAD 177
RFC2543_HOLD_ENABLE_n 177
DTMF_SIGNAL_LEN 177
DTMF_INTDIGIT_TIM 178
5.8 回線設定 178
5.8.1 呼制御設定 178
DISPLAY_NAME_n 178
VM_NUMBER_n 178
DIAL_PLAN_n 179
DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n 179
RESOURCELIST_URI_n 179
CW_ENABLE_n 180
FLASH_RECALL_TERMINATE 180
FLASHHOOK_CONTENT_TYPE 180
HOLD_SOUND_PATH_n 181
5.8.2 SIP設定 181
SIP_USER_AGENT 181

PHONE_NUMBER_n 182
SIP_URI_n 182
LINE_ENABLE_n 183
PROFILE_ENABLEn 183
SIP_AUTHID_n 184
SIP_PASS_n 184
SIP_SRC_PORT_n 184
SIP_PRXY_ADDR_n 184
SIP_PRXY_PORT_n 185
SIP_RGSTR_ADDR_n 185
SIP_RGSTR_PORT_n 185
SIP_SVCDOMAIN_n 186
REG_EXPIRE_TIME_n 186
REG_INTERVAL_RATE_n 186
SIP_SESSION_TIME_n 186
SIP_SESSION_METHOD_n 187
DSCP_SIP_n 187
SIP_2NDPROXY_ADDR_n 187
SIP_2NDPROXY_PORT_n 188
SIP_2NDRGSTR_ADDR_n 188
SIP_2NDRGSTR_PORT_n 188
SIP_TIMER_T1_n 188
SIP_TIMER_T2_n 189
SIP_TIMER_T4_n 189
SIP_FOVR_NORSP_n 189
SIP_FOVR_MAX_n 190
SIP_REFRESHER_n 190
SIP_DNSSRV_ENA_n 190
SIP_UDP_SRV_PREFIX_n 191
SIP_TCP_SRV_PREFIX_n 191
SIP_100REL_ENABLE_n 192
SIP_INVITE_EXPIRE_n 192
SIP_18X_RTX_INTVL_n 193
SIP_PRSNC_ADDR_n 193
SIP_PRSNC_PORT_n 193
SIP_2NDPRSNC_ADDR_n 193
SIP_2NDPRSNC_PORT_n 194
USE_DEL_REG_OPEN_n 194
PORT_PUNCH_INTVL_n 194
SIP_ADD_RPORT_n 195

SIP_REQURI_PORT_n 195
SIP_SUBS_EXPIRE_n 196
SUB_RTX_INTVL_n 196
REG_RTX_INTVL_n 197
SIP_P_PREFERRED_ID_n 197
SIP_PRIVACY_n 197
ADD_USER_PHONE_n 197
SDP_USER_ID_n 198
SUB_INTERVAL_RATE_n 198
SIP_OUTPROXY_ADDR_n 198
SIP_OUTPROXY_PORT_n 199
SIP_TRANSPORT_n 199
SIP_ANM_DISPNAME_n 199
SIP_ANM_USERNAME_n 200
SIP_ANM_HOSTNAME_n 200
SIP_DETECT_SSAF_n 200
SIP_RCV_DET_HEADER_n 201
SIP_CONTACT_ON_ACK_n 201
SIP_TIMER_B_n 202
SIP_TIMER_D_n 202
SIP_TIMER_F_n 202
SIP_TIMER_H_n 203
SIP_TIMER_J_n 203
ADD_TRANSPORT_UDP_n 203
ADD_EXPIRES_HEADER_n 203
SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n 204
SIP_ADD_DIVERSION_n 204
SIP_RESPONSE_CODE_DND 204
SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT 205

6　本機の主な機能の設定 207
6.1　ワンタッチボタン・BLF（内線状態表示）ボタンの登録 208
6.2　ボイスメールアクセス特番の設定 208
6.3　フレキシブルキーの登録 208
6.4　アプリケーションの追加 209
6.5　ダイヤルプラン 210
6.5.1　ダイヤルプランの設定 211
7　ファームウェアのアップデート 215
7.1　ファームウェアアップデートの概要 216
7.2　ファームウェアアップデートの設定方法 216
7.3　ファームウェアのアップデート 217

7.4 SDカードを使ったファームウェアのアップデート 218
8 本機の初期化 219
8.1 工場出荷状態の復元／データと設定の消去 220
8.2 Webプログラミングで行った設定の初期化（Web登録情報初期化） 220
9 困ったとき 223
9.1 困ったとき 224
10 オープンソースソフトウェア 231
10.1 ライセンス情報 232
索引.....233

第 1 章
本機を使用した基本的な設定

この章では、本機を使用した基本的な設定について説明します。

1.1 設定

1.1.1 工場出荷設定

本機は、あらかじめ各種設定が行われた状態で工場から出荷されます。
工場出荷時の設定には、最適な値もしくは最も標準的な値が使用されています。たとえば、SIP（Session Initiation Protocol）サーバーのポート番号は標準の「5060」に設定されています。
ただし、SIPサーバーのアドレスや電話番号などは、値が設定されておらず、使用環境に合わせて設定する必要があります。

1.1.2 本機で使用する言語の選択

本機の画面に表示する言語を変更することができます。また、同じネットワーク上のパソコンから本機の設定を行うことができるWebプログラミングの言語を選択することもできます。

お知らせ

- 本機の表示言語の選択については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
- Webプログラミングの表示言語の選択については ☞ 75 ページ

1.1.3 基本的なネットワーク設定

ここでは、本機をネットワークに接続して使用するための、基本的なネットワーク設定について説明します。
下記のネットワーク設定が必要です。

- TCP/IP設定（DHCP［Dynamic Host Configuration Protocol］または固定IPアドレスの割り振り）
- DNSサーバー設定
- Ethernetポート設定 (Ethernetポート接続モードまたはVLAN設定)
- NTPサーバー設定

ネットワーク設定

本機のネットワーク設定を変更する方法について説明します。
本機で設定できる各種ネットワーク設定の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
Webプログラミングを使用したネットワーク設定の詳細については ☞ 62 ページ

IPアドレスをDHCPサーバーから取得する

1 ホーム画面で［メニュー］を押し、**［設定］**をタップする

2 **［ネットワーク］**をタップし、**［ネットワーク基本設定］**を選択する

3 **［接続方式］**で**［DHCP接続］**を選択する

4 **［DHCP接続］**で**［自動］**を選択する

5 **［OK］**をタップする

お知らせ

- 手順4で**［手動］**を選択した場合は、DNSサーバー1（プライマリDNSサーバー）のアドレスと、必要に応じてDNSサーバー2（セカンダリDNSサーバー）のアドレスを手動で入力します。

固定IPアドレスを使う

1 ホーム画面で［メニュー］を押し、**［設定］**をタップする

2 **［ネットワーク］**をタップし、**［ネットワーク基本設定］**を選択する

3 **［接続方式］**で**［固定IP接続］**を選択する

4 IPアドレスを入力する

5 サブネットマスクを入力する

6 デフォルトゲートウェイを入力する

7 DNSサーバー1（プライマリDNSサーバー）と、必要に応じてDNSサーバー2（セカンダリDNSサーバー）を入力する

8 **［OK］**をタップする

お知らせ

- **［接続方式］**に**［DHCP接続］**を選択した場合、固定IP接続の設定内容は無効になります。
- **［接続方式］**に**［DHCP接続］**を選び、**［自動］**を選択した場合、DNSサーバー設定（DNSサーバー1とDNSサーバー2）は無効になります。

イーサネットポート設定

イーサネットポートの接続モード（リンク速度／デュプレックスモード）およびVLAN（Virtual Local Area Network）の設定を変更できます。
Webプログラミングを使用したイーサネットポート設定については ☞ 66 ページ

1 ホーム画面で［メニュー］を押し、**［設定］**をタップする

2 **［管理］**をタップし、システム管理者用のパスワードを入力して、**［OK］**をタップする

3 **［イーサポート設定］**をタップする

4 **［LANポート］**と**［PCポート］**の接続モードを選択する

5 **[VLAN を使用する]** をチェックする

6 VLAN IDを入力する

7 プライオリティを入力する

8 **[保存と再起動]** をタップする

お知らせ

- 管理者パスワードについては ☞ 40 ページ

日付と時刻（NTPサーバー）

NTP（Network Time Protocol）サーバーを使用して日付と時刻を設定することができます。

1 ホーム画面で [メニュー] を押し、**[設定]** をタップする

2 **[日付と時刻]** をタップし、**[NTPサーバー]** を選択する

3 **[NTPサーバーを使用する]** をチェックする

4 NTPサーバーアドレスを入力する

5 同期間隔を入力する

6 **[OK]** をタップする

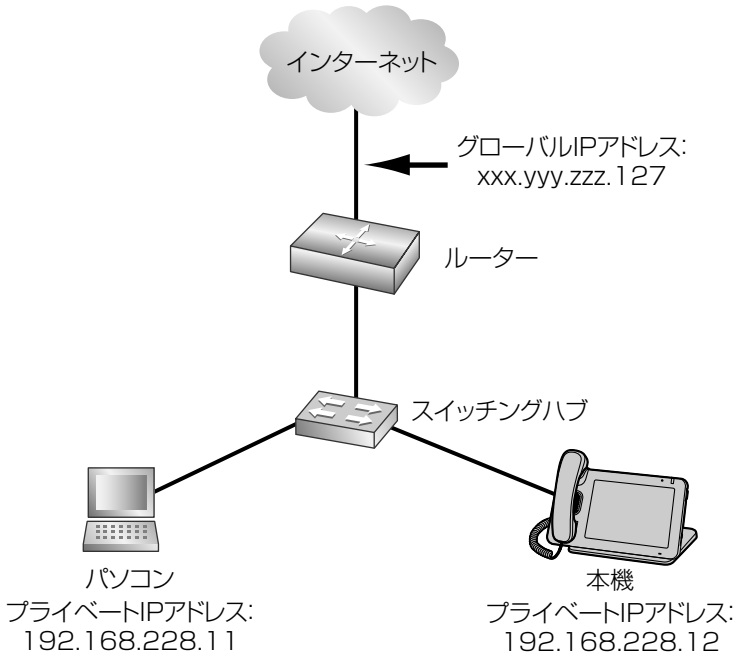
1.1.4 その他のネットワーク設定

1.1.4.1 ファイアウォールおよびルーターの設定

ファイアウォールやルーターで保護されたネットワークに接続する場合は、接続先が送信したパケットをファイアウォールやルーターがブロックしないように設定する必要があります。

1.1.4.2 NAT（Network Address Translation）設定

ここでは、NAT機能を使用するルータ接続について説明します。



本機がNATルーターを使用するネットワークに接続され、ネットワーク上の各端末にプライベートIPアドレスが割り振られている場合、お使いのSIPサーバーの設定によっては、NATトラバーサル技術を使用するように本機とルーターを設定する必要があります。
NATトラバーサルをサポートするアウトバウンドプロキシサービスが設定されている場合、本機に必要な設定はSIPアウトバウンドプロキシサーバーのIPアドレスだけで、その他の設定は行う必要がありません。
アウトバウンドプロキシサービスの電話システムによっては、何の設定も必要ない場合があります。この場合、アウトバウンドプロキシサーバーによって、プライベートIPアドレスがグローバルIPアドレスに自動的に変換されます。
TCPを使用してSIPメッセージを送信するには、本機とルーターにNATトラバーサルを設定しておく必要があります。

NATトラバーサルを設定するには、下記の情報が必要です。

- ルーターのグローバルIPアドレス
- Webプログラミングで指定する**[SIPポート]**と**[RTPポートマッピング]**のポート番号。これによって適切なポート転送設定を行うことができます。

お知らせ

- 本機にルーターのIPアドレスを設定する必要があるため、ルーターのIPアドレスは固定IPアドレスである必要があります。

SIPを設定する

ネットワークの外からのファイアウォールやルーターの特定ポート宛てのSIPパケットを本機に転送させるために、手動設定が必要な場合があります。このような場合、ルーターと本機のNATトラバーサル設定を回線ごとに行う必要があります。
Webプログラミングの詳細については☞ 73 ページおよび83 ページ

RTP（Real-time Transport Protocol）を設定する

本機がNATルーターを使用するネットワークに接続され、プライベートIPアドレスがネットワーク上の各ターミナルに割り当てられている場合、ピアツーピア接続を使用して、お互いの音声が伝送できるように、本機とルーターのRTP機能を設定する必要があります。
ただし、SIPサーバーでSBC（Session Border Controller）機能を対応している場合、これらの設定は必要ありません。
Webプログラミングの詳細については☞ 73 ページ

ルーターを設定する

ポート転送機能を設定する際、ルーターの受信ポート番号を本機のポート番号として指定します。
ポート転送は、**[SIPポート]**（☞ 21 ページ）および**[RTPポートマッピング]**（☞ 22 ページ）に指定されたポートに設定する必要があります。
送信元ポートと送信先ポートに同じポート番号を設定し、本機のプライベートIPアドレスを送信先のアドレスとして設定します。
本機のIPアドレスにプライベートIPアドレスを使用すると、IPアドレスが変更された場合に、ルーターのポート転送の再設定が必要となります。そのため、本機に固定IPアドレスを設定するか、DHCPサーバーによってIPアドレスが割り振られる場合は、常に同じIPアドレスとなるようにルーターを設定してください。
ルーターを設定する方法の詳細については、ルーターの取扱説明書を参照してください。
ポート転送設定はネットワーク環境に依存するため、設定ファイルを使用してポート転送を設定することはできません。

1.1.4.3 グローバルアドレス検出機能について

グローバルIPアドレスは、特定の端末に割り振られる固有のIPアドレスです。ファイアウォールまたはルーターに割り振られたグローバルIPアドレスが変更された場合、本機は通信できなくなります。
これらの端末のグローバルIPアドレスが、上位レベルのネットワークでDHCPサーバーによって割り振られている場合、本機がデータを送信するたびにIPアドレスが異なる場合があります。
グローバルアドレス検出機能で、IPアドレスが変わった場合は、SIPサーバーにそのIPアドレスが自動的に設定されます。この機能を実行するには、STUN（Simple Traversal of UDP through NATs）を使用する方法とSIPメッセージを使用する方法の2つの方法があります。
Webプログラミングから設定する方法の詳細については☞ 71 ページ

お知らせ

- サーバー情報の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

第 2 章
プログラミングの概要

この章では、本機を使用したプログラミングの概要について説明します。

2.1 プログラミングの方法

本機のプログラミングは、3種類の方法で行うことができます。

種類	詳細	参照先
本機を使用したプログラミング	本機の画面から設定します（電話画面の [メニュー] で表示される設定、および【設定】メニューを使用した設定）。	☞ 24 ページ ☞ 39 ページ
Webプログラミング	本機をネットワークに接続し、同じネットワークに接続されたパソコンからWebプログラミングにアクセスして、設定します。	☞ 25 ページ ☞ 43 ページ
設定ファイルのプログラミング	システム管理者が運用に必要な設定ファイルをあらかじめ作成し（プレプロビジョニング）、そのファイルをサーバーからダウンロードするか、SDカードから取得することで、本機を自動的に設定します（プロビジョニング）。	☞ 26 ページ ☞ 119 ページ

2.2 本機を使用したプログラミング

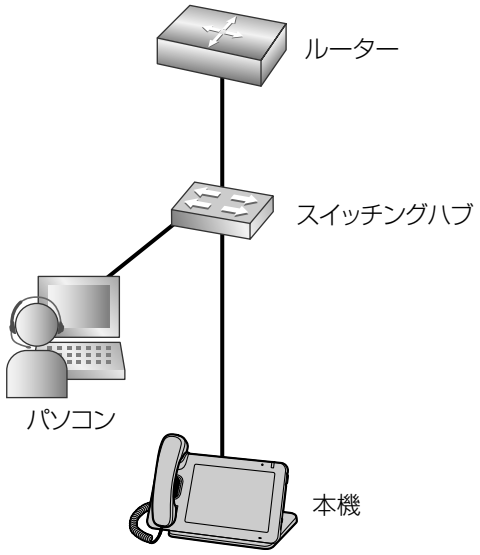
本機の画面から直接設定することができます。
操作の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
本機を使用したプログラミングの詳細については☞ 39 ページ

2.2.1 本機の言語を変更する

本機の表示言語を変更することができます。
Webプログラミングの言語設定とは連動していないため、変更する場合は、それぞれに設定する必要があります。
言語設定の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

2.3 Webプログラミング

本機をネットワークに接続し、同じネットワークに接続されたパソコンからWebプログラミングにアクセスして、本機の設定を行うことができます。
Webプログラミングの詳細については☞ 43 ページ

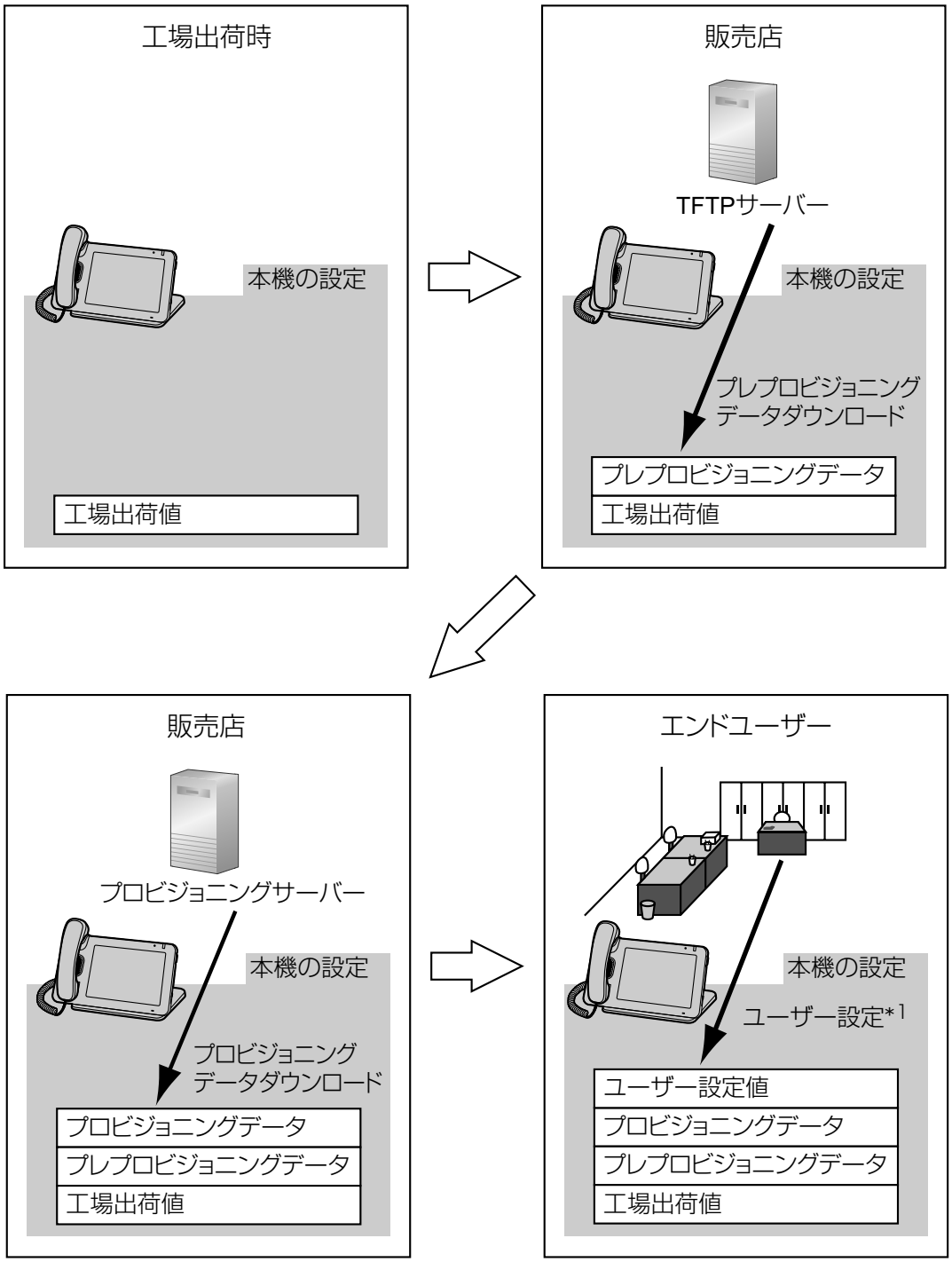


お知らせ

- スイッチングハブは、本機のLANポートに接続してください。本機のPCポートに接続した場合は、正しく動作しません。
- 本機とスイッチングハブを接続した状態で、本機のPCポートにパソコンを接続してWebプログラミングを行うこともできます。
- ルーター/スイッチングハブを使わずに、直接本機とパソコンを接続してWebプログラミングを行うこともできます。この場合、パソコンは本機のLANポートに接続してください。

2.4 設定ファイルによるプログラミング

設定ファイルを作成することで、各種設定をあらかじめ指定しておくことができます（☞ 27 ページ）。
また、設定ファイルをサーバーからダウンロードして設定を行うこともできます（☞ 29 ページ）。
設定ファイルのプログラミングについては☞ 119 ページ



*1 ユーザー設定については、本機を使用したプログラミングおよびWebプログラミングを参照してください。

2.4.1 プレプロビジョニング

2.4.1.1 プレプロビジョニングとは

プレプロビジョニングの目的は、システム管理者が運用に必要な設定ファイルを作成しておくことで、実際の設置作業を簡略化することです。
プレプロビジョニングを行うには、本機がTFTPサーバーのアドレスを取得できるように、DHCPサーバーのオプション66にTFTPサーバーのIPアドレスを設定しておく必要があります。本機は自動的にTFTPサーバーのアドレスを取得し、プレプロビジョニング用の設定ファイルをダウンロードします。

プレプロビジョニングによって設定された内容を元に戻す場合は、本機を初期化し、設定を工場出荷値に戻す必要があります。初期化したあとに、再度プレプロビジョニングを行うことができます。
本機を初期化するには☞ 219 ページ

2.4.1.2 プレプロビジョニングサーバー

本機はプレプロビジョニングを行うためにDHCPサーバーのオプション66からTFTPサーバーのアドレスを取得する必要があります。そのため、固定IPアドレスの割り振りを使用するネットワーク環境ではプレプロビジョニングを行うことはできません。DHCPサーバーを稼働できる独立したネットワークを構築してプレプロビジョニングを実行してください。
ここでは、プレプロビジョニングの実行におけるDHCPサーバーとTFTPサーバーの目的、使用方法について説明します。

サーバー	目的	説明
DHCPサーバー	DHCPサーバーのオプション66に設定されているTFTPサーバーのアドレスを提供します。	DHCPサーバーのオプション66に、TFTPサーバーのIPアドレスまたはFQDN（Fully Qualified Domain Name）を指定します。 詳細については、使用しているDHCPサーバーの取扱説明書を参照してください。 **お知らせ** • FQDNの文字列の長さは最大で64バイトです。
TFTPサーバー	設定ファイルの格納先です。端末からのアクセスにより設定ファイルを提供します。	本機は、TFTPサーバーのルートディレクトリにある「KX-UT670N.cfg」という設定ファイルをダウンロードします。

DHCPサーバーとTFTPサーバーは、オペレーティングシステムに付属しているものや商用サービスで提供されているもの、インターネット上で無償で配布されているものなどがあります。使用環境に最適なサーバーをご使用ください。
DHCPサーバーとTFTPサーバーのインストールおよび設定については、各製品の取扱説明書を参照してください。

2.4.1.3 プレプロビジョニングの設定例

ここでは、プレプロビジョニングの設定例について説明します。

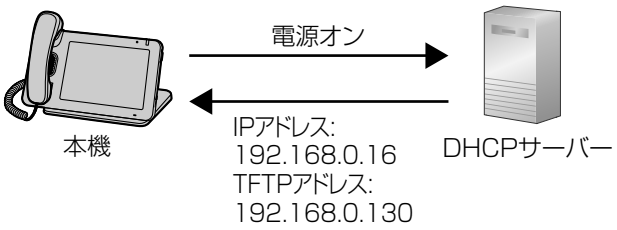
設定例

項目	説明／設定
TFTPサーバーのアドレス	192.168.0.130
TFTPサーバーのルートディレクトリ（設定ファイルを配置するディレクトリ）	/tftproot
本機の機種名	KX-UT670N
本機のMACアドレス	0080F0123456
プロビジョニングサーバー名（プロビジョニングに使用する設定ファイルが置いてあるサーバーのドメイン、またはURI）	provisioning.example.com
プロビジョニングに使用する設定ファイルのファイル名	Config0080F0123456.cfg
プロビジョニングに使用する設定ファイルのURL	http://provisioning.example.com/Con - fig0080F0123456.cfg
DHCPサーバーのオプション66	192.168.0.130
DHCPサーバーが割り振るIPアドレスの範囲	192.168.0.16～192.168.0.63
プレプロビジョニングに使用する設定ファイルのファイル名	KX-UT670N.cfg
KX-UT670N.cfg内の設定パラメータ例	**CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://provision- ing.example.com/Config{MAC}.cfg"** **お知らせ** • 「{MAC}」は本機のMACアドレスに置き換えられます。 （例：「0080F0123456」）

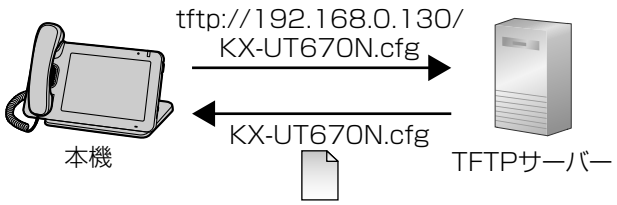
ステップ1

本機をネットワークに接続し、電源を入れる

- DHCPサーバーにより、本機にIPアドレス「192.168.0.16」が割り振られます。
- DHCPサーバーのオプション66を使用して、本機がDHCPサーバーからTFTPサーバーのアドレス「192.168.0.130」を取得します。

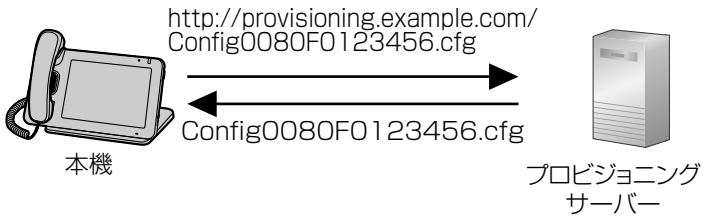


ステップ2
本機がTFTPサーバーから下記のプレプロビジョニング用設定ファイルをダウンロードします。



ステップ3
プロビジョニング用設定ファイルが置いてあるサーバー（プロビジョニングサーバー）のURLが本機に設定されます。

ステップ4
本機は自動的に再起動します。
本機をエンドユーザーに配布し、実際の使用環境で起動させると、プロビジョニングが正しく実行されます。



2.4.2 プロビジョニング

2.4.2.1 プロビジョニングとは

プレプロビジョニングを実行したら（☞ 27 ページ）、プロビジョニングサーバーに置いてある設定ファイルを本機にダウンロードして、本機の設定を自動的に行うことができます。これを「プロビジョニング」といいます。

2.4.2.2 プロビジョニング用プロトコル

プロビジョニングはHTTP、HTTPS、FTPおよびTFTPを使用して行うことができます。使用できるプロトコルは、プロビジョニングの実行方法によって異なります。通常はHTTP、HTTPS、FTPを使用します。暗号化されている設定ファイルを転送する場合は、HTTPを使用することを推奨します。暗号化されていない設定ファイルを転送する場合は、HTTPSを使用することを推奨します。FTPは、使用するネットワークルーターやネットワークの状態によっては使用できない場合があります。

2.4.2.3 設定ファイル

ここでは、設定ファイルの仕様や使用方法の具体的な例について説明します。
設定ファイルとは、本機の動作に必要な各種設定が書き込まれたテキストファイルです。このファイルは通常、システム管理者が管理するサーバー上にあり、必要に応じて本機にダウンロードされます。初期値で運用できる設定については書き込む必要はありません。必要な場合のみパラメータを変更してください。
（パラメータの設定方法と各種パラメータの説明については☞ 119 ページ）

3種類の設定ファイルを使用する

本機は最大3つの設定ファイルをダウンロードできます。下記に3種類の設定ファイルを使用する例を示します。

種類	使用方法
マスターファイル	SIPサーバーのアドレスや、システム管理者が管理するDNSサーバーなど、すべての電話機に共通の設定を行います。すべての電話機がこの設定ファイルを使用します。 設定ファイルのURLの例： http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg
プロダクトファイル	特定の機種に必要な設定を行います。同一機種のすべての電話機がこの設定ファイルを使用します。 設定ファイルのURLの例： http://prov.example.com/Config{MODEL}.cfg **お知らせ** • 設定ファイルを取得すると、「{MODEL}」は本機の機種名に置き換えられます。
スタンダードファイル	電話番号など、各電話機固有の設定を行います。 設定ファイルのURLの例： http://prov.example.com/Config{MAC}.cfg **お知らせ** • 設定ファイルを取得すると、「{MAC}」は各電話機のMACアドレスに置き換えられます。

状況に応じて、3種類の設定ファイルをすべて使用することも、スタンダードファイルのみを使用することもできます。

2.4.2.4 設定ファイルのダウンロード

Webプログラミングで設定ファイルをダウンロードする

Webプログラミングを使用して設定ファイルをダウンロードする手順を示します。

1 プロビジョニングサーバーのIPアドレス／FQDNとディレクトリに誤りがないことを確認し、設定ファイルをディレクトリに格納する
（例：http://provisioning.example.com/Panasonic/Config_Sample.cfg）

2 本機のIPアドレスをパソコンのWebブラウザに入力する（☞ 56 ページ）

3 管理者でログインする

4 **［保守］**タブ、**［プロビジョニング保守］**を順にクリックし、**［プロビジョニング］**で**［有効］**を選択する

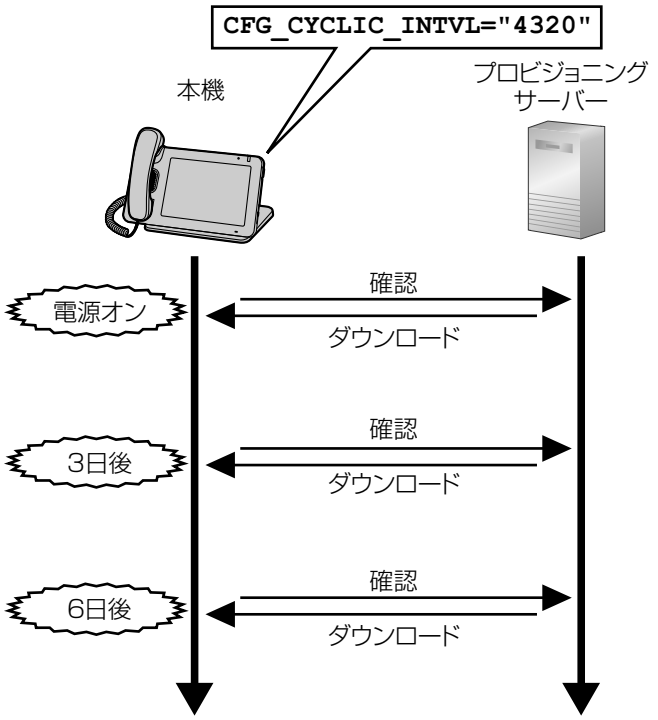
5 手順1で指定したURLを**［スタンダードファイルURL］**に入力する

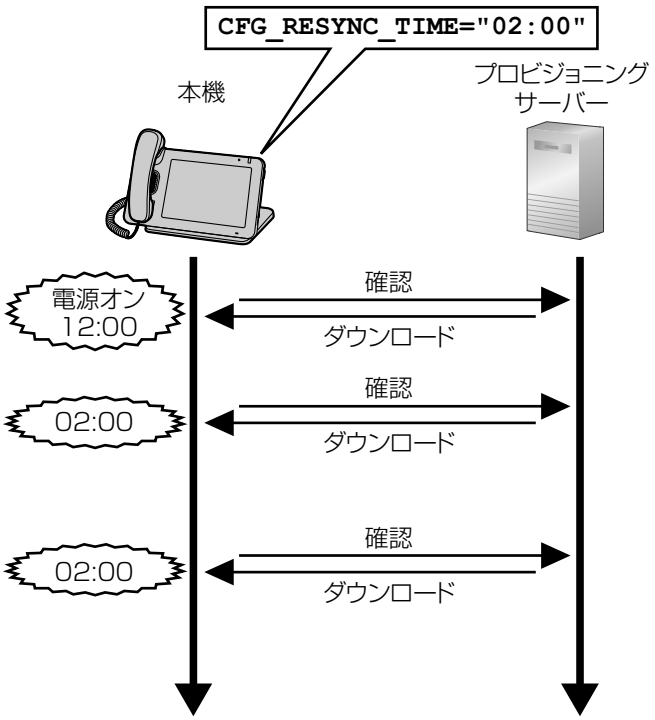
6 **［保存］**をクリックする

ダウンロードのタイミング

本機は、起動時または定期的に設定ファイルをダウンロードします。また、本機が設定ファイルをダウンロードしないように設定することもできます。
（設定の詳細については☞ 113 ページ、☞ 140 ページ）

ダウンロードのタイミング	説明
起動時	設定ファイルは本機の起動時にダウンロードされます。

ダウンロードのタイミング	説明
定期的	設定ファイルは、分単位で設定した一定の間隔でダウンロードされます。 以下の例では、本機は3日(4320分)おきにプロビジョニングサーバーから設定ファイルをダウンロードするよう設定しています。  設定ファイルは、以下のように設定すると、定期的にダウンロードされます。 • **CFG_CYCLIC="Y"**という行を追加 – 「**CFG_CYCLIC_INTVL**」で間隔を指定（分単位） • Webプログラミング： – **［保守］**タブ、**［プロビジョニング保守］**を順にクリックし、**［定期プロビジョニング］**で**［有効］**を選択 – **［定期プロビジョニング間隔］**に間隔を入力（分単位） **お知らせ** • 本機では、最大28日間（4週間）の間隔を設定できます。

ダウンロードのタイミング	説明
指定した時刻	本機の電源を入れた後、設定ファイルは毎日指定した時刻にダウンロードされます。  設定ファイルは、以下のように設定すると、指定した時刻にダウンロードされます。 • 「**CFG_RESYNC_TIME**」で時刻を指定 **お知らせ** • 「**CFG_RESYNC_TIME**」に空の文字列以外の有効な値を設定した場合、本機は指定した時刻に設定ファイルをダウンロードします。「**CFG_CYCLIC**」、「**CFG_CYCLIC_INTVL**」および「**CFG_RTRY_INTVL**」の設定は無効になります。 • 時刻は24時間形式（00:00～23:59）で指定します。 • ダウンロードを行うには、本機に日付と時刻の設定がされている必要があります。

ダウンロードのタイミング	説明
手動で実行	設定をすぐに変更したい場合は、SIPサーバーからのEventヘッダーを含むNOTIFYメッセージを送信することによって、設定ファイルのダウンロードを指示することができます。 • 設定ファイル – Eventヘッダーの文字列を「**CFG_RESYNC_FROM_SIP**」で指定 • Webプログラミング – **[保守]**タブ、**[プロビジョニング保守]**を順にクリックし、**[プロビジョニングSIPイベント名]**にEventヘッダーの文字列を入力 一般的に、Eventヘッダーの文字列には、「check-sync」や「resync」があります。
なし（禁止）	設定ファイルをダウンロードすることで本機の設定が変わってしまうことを避けたい場合、設定ファイルでダウンロードを禁止するように設定します。 下記の動作が禁止されます。 – 起動時のプロビジョニング – 定期的なプロビジョニング – NOTIFYメッセージの送信によるプロビジョニング • 設定ファイル – 「**PROVISION_ENABLE="N**」"という行を追加 • Webプログラミング – **[保守]**タブ、**[プロビジョニング保守]**を順にクリックし、**[プロビジョニング]**で**[無効]**を選択 • プロビジョニングを再び有効にするには、以下のように設定します。 設定ファイル： – 「**PROVISION_ENABLE="Y"**」という行を追加 Webプログラミング： – **[保守]**タブ、**[プロビジョニング保守]**を順にクリックし、**[プロビジョニング]**で**[有効]**を選択

2.4.2.5 プロビジョニングサーバー設定例

ここでは、設定ファイルを使って本機を2台設定する場合の、本機とプロビジョニングサーバーの設定方法について説明します。この例では、スタンダードファイルとマスターファイルを使用します。

設定例

項目	説明／設定
プロビジョニングサーバーのFQDN	prov.example.com

項目	説明／設定
本機のMACアドレス	• 0080F0111111 • 0080F0222222
設定ファイルのURL	プレプロビジョニングまたはWebプログラミングにより、以下の2つの設定を行います。2台とも同じ設定にする必要があります。 • **CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://prov.example.com/Config{MAC}.cfg"** • **CFG_MASTER_FILE_PATH="http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg"**
設定ファイルのファイル名	HTTPルートディレクトリに下記の設定ファイルを置きます。 • 2台に共通の設定を記載（マスターファイル）： – ConfigCommon.cfg • 2台にそれぞれ固有の設定を記載（スタンダードファイル）： – Config0080F0111111.cfg – Config0080F0222222.cfg

プロビジョニングサーバーを設定する

1 本機をネットワークに接続し、電源を入れる

- MACアドレスが0080F0111111の本機は下記のURLにアクセスします。
  http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg
  http://prov.example.com/Config0080F0111111.cfg
- MACアドレスが0080F0222222の本機は下記のURLにアクセスします。
  http://prov.example.com/ConfigCommon.cfg
  http://prov.example.com/Config0080F0222222.cfg

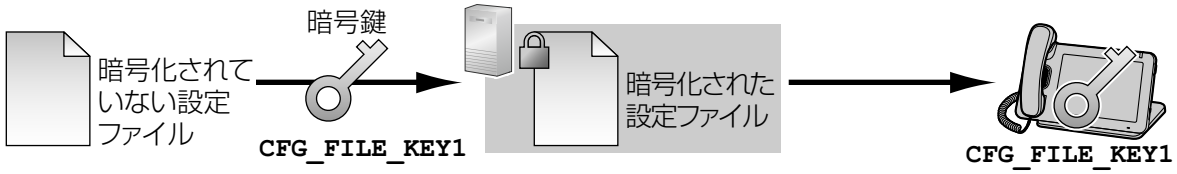
サーバーからプロビジョニングの実行を指示する

次の例では、プロビジョニングの実行を指示するための、サーバーから送信されるNOTIFYメッセージを示しています。「**CFG_RESYNC_FROM_SIP**」には、「check-sync」という文字列が指定されています。

```
NOTIFY sip:1234567890@sip.example.com SIP/2.0
Via: SIP/2.0/UDP xxx.xxx.xxx.xxx:5060;branch=abcdef-ghijkl
From: sip:prov@sip.example.com
To: sip:1234567890@sip.example.com
Date: Thu, 1 Jan 2009 01:01:01 GMT
Call-ID: 123456-1234567912345678
CSeq: 1 NOTIFY
Contact: sip:xxx.xxx.xxx.xxx:5060
Event: check-sync
Content-Length: 0
```

2.4.2.6 暗号化

暗号化した設定ファイルを転送する方法



この方法を使用するには、設定ファイルを暗号化したり復号したりするための暗号鍵が必要です。暗号化には、各電話機に固有のプリセット暗号鍵やシステム管理者によって設定された暗号鍵などを使用します。本機は、暗号化された設定ファイルをダウンロードしたら、同じ暗号鍵を使用して設定ファイルを復号し、自動的に設定を行います。
設定ファイルを復号する際、本機は事前に登録された暗号鍵を使用します。本機は、ダウンロードした設定ファイルの拡張子を調べてファイルが暗号化されているかどうかを判断します。

設定ファイルの拡張子	復号に使用する設定ファイルのパラメータ
「.e1c」	**CFG_FILE_KEY1**
「.e2c」	**CFG_FILE_KEY2**
「.e3c」	**CFG_FILE_KEY3**
「.e1c」、「.e2c」、「.e3c」以外	暗号化されていない設定ファイルとして処理されます。

2.4.3 SDカードによる設定

SDカードから設定ファイルを読み込むことができます。設定ファイルに書き込まれているすべての設定が読み込まれます。

設定ファイルの準備

お願い

- SDカードを使う前に、SDカードをフォーマットしてください。フォーマットについての詳細は「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

1 SDカードを準備する

> 動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
> http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/

2 パソコンのテキストエディタを使用して、設定ファイルを作成する（☞ 129 ページ）

3 設定ファイル作成後は、SDカードのルートディレクトリに保存する

SDカードから設定ファイルを読み込むには

1 SDカードを本機に挿入する

2 ホーム画面で [☰ メニュー] を押し、**[設定]** をタップする

3 **［管理］**をタップし、管理者パスワードを入力して**［OK］**をタップする

4 **［設定ファイルのインポート］**をタップする

5 設定ファイルの種類を選択する（☞ 29 ページ）

6 ファイル名を選択する

7 **［インポートと再起動］**をタップする

お知らせ

- 本機では、プログラミングの設定に加えて、以下の設定をSDカードを使用して行うことができます。
  - ファームウェアアップデート（☞ 218 ページ）
  - アプリケーションのインストール（☞ 209 ページ）
- 管理者パスワードについては ☞ 40 ページ

2.5 設定方法の優先度

同じ項目を、プロビジョニングやWebプログラミングなどいくつかの方法で設定することができます。ここでは、同じ項目を指定した場合にどの値が使用されるかについて説明します。
下記の表に、同じ項目を設定した場合の優先度を示します。

優先度	設定方法
高い ▲ ▼ 低い	Webプログラミングまたは本機を使用したプログラミング（電話画面の メニュー で表示される設定、および【設定】メニューを使用した設定）
	スタンダードファイルを使用したプロビジョニングやSDカードによる設定
	プロダクトファイルを使用したプロビジョニングやSDカードによる設定
	マスターファイルを使用したプロビジョニングやSDカードによる設定
	設定ファイルによるプレプロビジョニング
	本機の工場出荷値

例えば、マスターファイルを使用した設定と、Webプログラミングを使用して設定した項目で異なる値が設定されている場合、Webプログラミングで指定した値が適用されます。
Webプログラミングと本機を使用したプログラミングで指定した値については、あとで指定した値が優先されます。

お願い

- 本機を異なる電話システムに接続する場合は、接続前に本機を初期化し、設定を工場出荷値に戻してください。
  本機を初期化するには☞ 220 ページ

お知らせ

- フレキシブルキーの設定については、本機を使用した設定よりも設定ファイルによる設定のほうが優先度が高くなります。

第３章
本機を使用したプログラミング

この章では、本機から直接設定する方法について説明します。

3.1 本機を使用したプログラミング

ここでは、本機から直接設定できる機能について、「取扱説明書（操作編）」に記載されていない内容を紹介します。
本機で実行できるその他の機能、設定内容、キー操作については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

3.1.1 Web ID／パスワードの初期化

Web ID／パスワードを初期化すると、ユーザーとシステム管理者がWebプログラミングへのアクセスで使用するIDとパスワードがすべて工場出荷時に戻ります（☞ 55 ページ）。この操作は、本機から実行できます。

Web ID／パスワードを初期化するには

1 ホーム画面で [メニュー] を押し、**[設定]** をタップする

2 **[端末情報]** をタップする

3 [メニュー] を長押しする

4 キーボードが表示されたら、**[#]** **[7]** **[3]** **[9]** と入力し [決定] を押す

5 **[OK]** をタップすると初期化される

お願い

- セキュリティ上の理由から、パスワードはすぐに再設定することを推奨します （☞ 75 ページ、77 ページ）。

3.1.2 本機の管理者メニューのパスワード

本機の管理者メニューを使用するには、ログインパスワードが必要です。管理者メニューでは、以下の設定ができます。

- **イーサポート設定**
- **設定ファイルのインポート**
- **アプリケーション**
- **ファームウェアアップデート**
- **管理者パスワード**

お願い

- パスワードは厳重に管理し、定期的に変更してください。

本機の管理者パスワードはWebプログラミングの管理者パスワードと同じで、初期値も同じです。パスワードの詳細については☞ 55 ページ

パスワードは6～16文字のASCII文字（大／小文字が区別される）で設定されています（☞ 58 ページ）。

本機の管理者メニューを使用する

1 ホーム画面で メニュー を押し、**[設定]** をタップする

2 **[管理]** をタップし、管理者パスワードを入力して **[OK]** をタップする

3 管理者メニューで必要な設定を行う

4 **[終了]** をタップする

お願い

- 初めてログインするときは、工場出荷値の「adminpass」と入力してください。ログイン後、**[管理者パスワード]** をタップして、パスワードを変更してください（☞ 41 ページ）。

お知らせ

- Webプログラミング（☞ 76 ページ）または設定ファイルによるプログラミング（☞ 134 ページ）でも、管理者パスワードを変更することができます。

管理者パスワードを変更する

1 ホーム画面で メニュー を押し、**[設定]** をタップする

2 **[管理]** をタップし、管理者パスワードを入力して **[OK]** をタップする

3 **[管理者パスワード]** をタップして新しいパスワードを入力し、確認のために再度同じパスワードを入力する

4 **[OK]** をタップする

5 **[終了]** をタップする

お知らせ

- Webプログラミング（☞ 76 ページ）または設定ファイルによるプログラミング（☞ 134 ページ）でも、管理者パスワードを変更することができます。

第 4 章
Webプログラミング

この章では、Webプログラミングで設定できる内容について説明します。

4.1 Webプログラミングの設定一覧

下記の表に、Webプログラミングで設定できる内容とアクセスレベルを示します。それぞれの設定の詳細については、各参照ページをご覧ください。

機器情報

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
バージョン情報	バージョン情報	モデル名	✓	✓	☞ 59 ページ
		OSバージョン	✓	✓	☞ 59 ページ
		ファームウェアバージョン	✓	✓	☞ 59 ページ
ネットワークステータス	ネットワークステータス	MACアドレス	✓	✓	☞ 60 ページ
		LANポートのリンク状態	✓	✓	☞ 60 ページ
		PCポートのリンク状態	✓	✓	☞ 60 ページ
		接続方式	✓	✓	☞ 60 ページ
		IPアドレス	✓	✓	☞ 60 ページ
		サブネットマスク	✓	✓	☞ 60 ページ
		デフォルトゲートウェイ	✓	✓	☞ 61 ページ
		DNSサーバー1	✓	✓	☞ 61 ページ
		DNSサーバー2	✓	✓	☞ 61 ページ
VoIPステータス	VoIPステータス	回線番号	✓	✓	☞ 62 ページ
		電話番号	✓	✓	☞ 62 ページ
		VoIPステータス	✓	✓	☞ 62 ページ

*1 アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。

ネットワーク設定

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
ネットワーク基本設定	接続方式	接続方式[*2]	✓[*3]	✓	☞ 63 ページ
	DHCP接続	ホスト名		✓	☞ 63 ページ
		DNSサーバー設定方式[*2]	✓[*3]	✓	☞ 64 ページ
	固定IP接続	IPアドレス[*2]	✓[*3]	✓	☞ 64 ページ
		サブネットマスク[*2]	✓[*3]	✓	☞ 65 ページ
		デフォルトゲートウェイ[*2]	✓[*3]	✓	☞ 65 ページ
		DNSサーバー1[*2]	✓[*3]	✓	☞ 65 ページ
		DNSサーバー2[*2]	✓[*3]	✓	☞ 66 ページ
イーサポート設定	リンク速度／デュプレックス	LANポート[*2]		✓	☞ 66 ページ
		PCポート[*2]		✓	☞ 67 ページ
	VLAN	VLAN[*4]		✓	☞ 67 ページ
		IP電話	–	–	–
		VLAN ID[*4]		✓	☞ 67 ページ
		優先度[*4]		✓	☞ 68 ページ
		PC	–	–	–
		VLAN ID[*4]		✓	☞ 68 ページ
		優先度[*4]		✓	☞ 68 ページ
HTTPクライアント設定	HTTPクライアント設定	HTTP バージョン[*5]		✓	☞ 69 ページ
		HTTPユーザーエージェント[*5]		✓	☞ 69 ページ
	HTTP認証	認証ID	✓	✓	☞ 70 ページ
		認証パスワード	✓	✓	☞ 70 ページ
	プロキシサーバー	プロキシサーバー		✓	☞ 71 ページ
		プロキシサーバーアドレス		✓	☞ 71 ページ
		プロキシサーバーポート		✓	☞ 71 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
グローバルアドレス検出	グローバルアドレス検出	検出方式		✓	☞ 72 ページ
		検出間隔		✓	☞ 72 ページ
	STUNサーバー	STUNサーバーアドレス*5		✓	☞ 72 ページ
		STUNサーバーポート*5		✓	☞ 73 ページ
静的NAPT設定	グローバルアドレス	グローバルアドレス		✓	☞ 74 ページ
	SIPポートマッピング	回線1～回線6		✓	☞ 74 ページ
	RTPポートマッピング	グローバルRTPポート 1～25		✓	☞ 74 ページ

*1 アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。
*2 この設定は、本機を使用したプログラミングでも行うことができます。
*3 設定メニューが表示されていても、システム管理者による許可がないユーザーは設定を変更できません。
*4 この設定は、他のプログラミング方法（本機を使用したプログラミングまたは設定ファイルでのプログラミング）でも行うことができます。
*5 この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

システム設定

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
Web言語	Web言語	言語	✓	✓	☞ 75 ページ
管理者パスワード変更	管理者パスワード変更	現在のパスワード*3		✓	☞ 76 ページ
		新しいパスワード*3		✓	☞ 76 ページ
		パスワード確認*3		✓	☞ 77 ページ
ユーザーパスワード変更	ユーザーパスワード変更	現在のパスワード	✓	✓	☞ 77 ページ
		新しいパスワード*2	✓	✓	☞ 78 ページ
		パスワード確認*2	✓	✓	☞ 78 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
Webサーバー設定	Webサーバー設定	Webサーバーポート		✓	☞ 78 ページ
		ポートクローズ時間		✓	☞ 79 ページ

*1 アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。
*2 この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。
*3 この設定は、他のプログラミング方法（本機を使用したプログラミングまたは設定ファイルでのプログラミング）でも行うことができます。

VoIP

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
SIP設定	SIP設定	SIPユーザーエージェント*2		✓	☞ 80 ページ
SIP設定 [回線1]～[回線6]	電話番号	電話番号*2		✓	☞ 81 ページ
		SIP URI*2		✓	☞ 81 ページ
	SIPサーバー	レジストラサーバーアドレス*2		✓	☞ 81 ページ
		レジストラサーバーポート*2		✓	☞ 82 ページ
		プロキシサーバーアドレス*2		✓	☞ 82 ページ
		プロキシサーバーポート*2		✓	☞ 82 ページ
		プレゼンスサーバーアドレス*2		✓	☞ 82 ページ
		プレゼンスサーバーポート*2		✓	☞ 82 ページ
	アウトバウンドプロキシ	アウトバウンドプロキシサーバーアドレス*2		✓	☞ 83 ページ
		アウトバウンドプロキシサーバーポート*2		✓	☞ 83 ページ
	SIPサービスドメイン	サービスドメイン*2		✓	☞ 83 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
	SIPポート	SIPポート[*2]		✓	☞ 83 ページ
	SIP認証	認証ID[*2]		✓	☞ 84 ページ
		認証パスワード[*2]		✓	☞ 84 ページ
	DNS	DNS SRV[*2]		✓	☞ 85 ページ
		UDP用SRVプリフィックス[*2]		✓	☞ 85 ページ
		TCP用SRVプリフィックス[*2]		✓	☞ 85 ページ
	SIPトランスポートプロトコル	トランスポートプロトコル[*2]		✓	☞ 86 ページ
	SIPタイマー	T1タイマー[*2]		✓	☞ 86 ページ
		T2タイマー[*2]		✓	☞ 86 ページ
		タイマーB[*2]		✓	☞ 87 ページ
		タイマーD[*2]		✓	☞ 87 ページ
		タイマーF[*2]		✓	☞ 87 ページ
		タイマーH[*2]		✓	☞ 87 ページ
		タイマーJ[*2]		✓	☞ 88 ページ
	QoS	DSCP （SIPパケット）[*2]		✓	☞ 88 ページ
	SIP拡張機能	100rel （RFC 3262）[*2]		✓	☞ 88 ページ
		セッションタイマー （RFC 4028)[*2]		✓	☞ 89 ページ
	NAT	キープアライブ間隔[*2]		✓	☞ 89 ページ
		Rport （RFC 3581）[*2]		✓	☞ 89 ページ
	セキュリティ	SIPソースアドレスフィルター[*2]		✓	☞ 90 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
VoIP設定	RTP設定	RTP送信間隔[*2]		✓	☞ 91 ページ
		RTPポートの最小値[*2]		✓	☞ 91 ページ
		RTPポートの最大値[*2]		✓	☞ 91 ページ
		DTMFペイロードタイプ[*2]		✓	☞ 92 ページ
VoIP設定 [回線1]～[回線6]	QoS	DSCP （RTPパケット）[*2]		✓	☞ 93 ページ
	統計情報	RTCP送信[*2]		✓	☞ 93 ページ
		RTCP送信間隔[*2]		✓	☞ 94 ページ
	ジッタバッファ	最大遅延[*2]		✓	☞ 94 ページ
		最小遅延[*2]		✓	☞ 94 ページ
		初期遅延[*2]		✓	☞ 94 ページ
	DTMF	DTMF方式[*2]		✓	☞ 95 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
	RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留	RFC 2543 保留[*2]		✓	☞ 95 ページ
	コーディック優先度	G722	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 96 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 96 ページ
		PCMA	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 96 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 96 ページ
		G729A	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 97 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 97 ページ
		PCMU	–	–	–
		設定[*2]		✓	☞ 97 ページ
		優先度[*2]		✓	☞ 97 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。
[*2] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

電話設定

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
電話機能設定	電話機能設定	ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信*2		✓	☞ 98 ページ
		ダイヤル桁間タイマー*2		✓	☞ 99 ページ
		ダイヤルプランタイマー*2		✓	☞ 99 ページ
		国際番号*2		✓	☞ 99 ページ
		国番号*2		✓	☞ 99 ページ
		市内局番*2		✓	☞ 100 ページ
		通常使用する回線番号*2	✓	✓	☞ 100 ページ
		フラッシュ動作（切断＆再捕捉）*2		✓	☞ 100 ページ
		フラッシュ再捕捉イベント*2		✓	☞ 100 ページ
		内線指定代理応答*2		✓	☞ 101 ページ
	着信拒否番号	1～30	✓	✓	☞ 101 ページ
電話機能設定 [回線1]～[回線6]	電話機能設定	ディスプレイネーム*2	✓	✓	☞ 102 ページ
		ボイスメールアクセス番号*2		✓	☞ 102 ページ
		リソースリストURI*2		✓	☞ 103 ページ
	番号計画	番号計画 （最大500文字）*2		✓	☞ 103 ページ
		番号計画不一致時に発信*2		✓	☞ 104 ページ
	発着信機能	発信者番号非通知	✓	✓	☞ 104 ページ
		非通知着信拒否	✓	✓	☞ 104 ページ
		着信拒否	✓	✓	☞ 105 ページ

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル[*1]		参照ページ
			U	A	
	不在転送	全着信	–	–	–
		不在転送	✓	✓	☞ 105 ページ
		転送先電話番号	✓	✓	☞ 105 ページ
		話中	–	–	–
		不在転送	✓	✓	☞ 106 ページ
		転送先電話番号	✓	✓	☞ 106 ページ
		不応答	–	–	–
		不在転送	✓	✓	☞ 106 ページ
		転送先電話番号	✓	✓	☞ 107 ページ
		鳴動回数	✓	✓	☞ 107 ページ
トーン設定	発信音	使用周波数[*2]		✓	☞ 108 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 108 ページ
	話中音	使用周波数[*2]		✓	☞ 108 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 109 ページ
	着信音	使用周波数[*2]		✓	☞ 109 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 109 ページ
	スタッター音	使用周波数[*2]		✓	☞ 110 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 110 ページ
	リオーダー音	使用周波数[*2]		✓	☞ 110 ページ
		オン／オフ周期[*2]		✓	☞ 111 ページ
電話設定	電話設定	発信番号を照合する下限桁数[*2]		✓	☞ 111 ページ
		発信番号を照合する上限桁数[*2]		✓	☞ 112 ページ

[*1] アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。

[*2] この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

保守

大項目	中項目	設定項目	アクセスレベル*1		参照ページ
			U	A	
ファームウェア保守	ファームウェア保守	自動バージョンアップ*2		✓	112 ページ
		ファームウェアファイルURL*2		✓	113 ページ
プロビジョニング保守	プロビジョニング保守	プロビジョニング*2		✓	113 ページ
		スタンダードファイルURL*2		✓	114 ページ
		プロダクトファイルURL*2		✓	114 ページ
		マスターファイルURL*2		✓	114 ページ
		定期プロビジョニング*2		✓	115 ページ
		定期プロビジョニング間隔*2		✓	115 ページ
		プロビジョニングSIPイベント名*2		✓	115 ページ
設定値の初期化	Web登録情報初期化	–		✓	116 ページ
再起動	再起動	–		✓	116 ページ

*1 アクセスレベルの略語は次の通りです。
U：ユーザー、A：管理者
チェックマークは、そのアクセスレベルでの設定が可能であることを示します。
*2 この設定は、設定ファイルのプログラミングでも行うことができます。

4.2 Webプログラミングの概要

4.2.1 Webプログラミングのパスワード

Webプログラミングを行うには、ログインアカウントが必要です。アカウントには2種類あり、それぞれアクセス権が異なります。

- **ユーザー**：エンドユーザーが使用するアカウントです。ユーザーは、本機固有の設定を変更できます。
- **管理者**：管理者がシステム設定の管理に使用するアカウントです。管理者は、ユーザーアカウントで変更可能な設定に加えて、ネットワーク設定を含むすべての設定を変更できます。

各アカウントには、異なるパスワードが割り当てられます。
アカウントとパスワードの詳細については☞ 55 ページ

お願い

- パスワードは厳重に管理し、定期的に変更してください。

4.2.2 Webプログラミングの言語を変更する

同じネットワークに接続されているパソコンからWebプログラミングで本機にアクセスするとき、様々なメニューや設定が表示されます。Webプログラミングの言語は端末の言語設定と同期しないため、それぞれの使用環境に合わせてWebプログラミングの言語を設定する必要があります。
Webプログラミングの言語設定については☞ 75 ページ

4.2.3 Webプログラミングにアクセスする前に

使用環境について

本機は、下記の仕様に対応しています。

HTTPバージョン	HTTP/1.0（RFC 1945）、HTTP/1.1（RFC 2616）
認証方式	Digest（またはBasic）

Webプログラミングは下記の環境で正常に動作します。

オペレーティングシステム	Microsoft® Windows® XPまたはWindows 7
Webブラウザ	Windows Internet Explorer® 7またはInternet Explorer 8

お願い

- Webプログラミングは、本機ではなくパソコンのWebブラウザを使用してください。

Webポートについて

Webプログラミングにアクセスするには、あらかじめ本機のWebポートを開いておく必要があります。

本機から設定を行う

本機のWebポートを開くには

1 ホーム画面で［メニュー］を押し、**［設定］**をタップする

2 **［ネットワーク］**をタップし、**［内蔵web］**を選択する

3 **［オン］**をタップする

本機のWebポートを閉じるには

1 ホーム画面で［メニュー］を押し、**［設定］**をタップする

2 **［ネットワーク］**をタップし、**［内蔵web］**を選択する

3 **［オフ］**をタップする

Webプログラミングから設定を行う

本機のWebポートを閉じるには

1. Webプログラミングで、**[Webポートクローズ]** をクリックする
2. **[OK]** をクリックする

お知らせ

- 本機のWebポートは、下記の条件で自動的に閉じます。
  - Webプログラミングで設定した **[ポートクローズ時間]** の時間が経過した場合（☞ 79 ページ）
  - ログインに3回連続で失敗した場合
- 設定ファイルのプログラミングでWebポートを開いたままに設定できます（☞ 148 ページ）が、許可されていないユーザーから本機にアクセスされる可能性があることに注意してください。

アクセス権限について（IDとパスワード）

Webプログラミングには、ユーザーと管理者というアクセス権が異なる2つのアカウントがあります。各アカウントには、Webプログラミングにログインする際に必要な固有のIDとパスワードが設定されています。

アカウント	対象ユーザー	ID（工場出荷値）	パスワード（工場出荷値）	パスワードの制限
ユーザー	エンドユーザー	user	空白（なし）	• ユーザーでログインした場合、ユーザーアカウントのパスワードを変更できます（☞ 77 ページ）。 • パスワードは6～16文字のAS - CII文字（大／小文字が区別される）で設定できます（☞ 58 ページ）。
管理者	システム管理者	admin	adminpass	• 管理者でログインした場合、ユーザーと管理者の両方のアカウントのパスワードを変更できます（☞ 75 ページ）。 • パスワードは6～16文字のAS - CII文字（大／小文字が区別される）で設定できます（☞ 58 ページ）。

お願い

- Webプログラミングに複数のアカウントで同時にログインすることはできません。同じアカウントを使用しても、複数のユーザーが同時にログインすることはできません。
- ユーザーアカウントのパスワードは変更する必要があります。
- IDは設定ファイルのプログラミングによって変更できます（☞ 134 ページ）。

- 本機でWeb ID／パスワードの初期化を実行すると、アカウントのIDとパスワードを工場出荷値に戻すことができます（☞ 40 ページ）。

4.2.4 Webプログラミングへのアクセス（ログイン）

Webプログラミングにアクセスするには

1 Webブラウザを開き、ブラウザのアドレスフィールドに「http://」と、本機のIPアドレスを入力します。

お知らせ

- 本機のIPアドレスを確認するには、本機で下記の手順を実行します。
  1. ホーム画面で [メニュー] を押し、**［設定］**をタップする
  2. **［端末情報］**、**［端末の状態］**を順にタップする
  3. **［ネットワーク］**でIPアドレスを確認する

2 認証するために、ID（ユーザー名）とパスワードを入力して、**［OK］**をクリックする

お願い

- ユーザーアカウントでWebプログラミングに初めてログインしたとき、**［ユーザーパスワード変更］**画面（☞ 77 ページ）が表示されます。新しいパスワードを入力し、パスワード認証を再度実行して、Webプログラミングにログインします。

お知らせ

- ユーザーアカウントの工場出荷値のIDは「user」、パスワードは空白です。IDは、設定ファイルのプログラミングで変更することができます。
- 管理者アカウントの工場出荷値のIDは「admin」、パスワードは「adminpass」です。IDは、設定ファイルのプログラミングで変更することができます。

3 Webプログラミングウィンドウが表示されたら、本機に必要な設定を行う

4 **［Webポートクローズ］**をクリックして、Webプログラミングからログアウトする

ウィンドウコントロール

Webプログラミングウィンドウには、ナビゲートや設定用のさまざまなコントロールがあります。下記に、**［ネットワーク基本設定］**画面に表示されるコントロールの例を示します。

お知らせ

- ユーザーアカウントでWebプログラミングにログインすると、設定画面に表示されるメッセージの言語が、お使いの国や地域によって異なる場合があります。

❶ タブ

タブは、設定項目を分類する最上位のカテゴリです。タブをクリックすると、対応するメニュー項目と、最初のメニュー項目の設定画面が表示されます。管理者アカウントでは6つのタブ、ユーザーアカウントでは4つのタブが表示されます。

アカウントの種類の詳細については☞ 55 ページ

❷ メニュー

選択したタブのサブカテゴリが表示されます。

❸ 設定画面

メニューをクリックすると、対応する設定画面が表示され、実際の設定値がセクションに分かれて表示されます。詳細については、4.3 機器情報（☞ 59 ページ）から4.8.4 再起動（☞ 116 ページ）までを参照してください。

❹ ボタン

Webプログラミングには、下記の標準のボタンが表示されます。

ボタン	機能
Webポートクローズ	本機のWebポートを閉じ、確認メッセージが表示されたあとにWebプログラミングからログアウトします。
登録	変更を適用してメッセージを表示します（☞ 116 ページ）。
キャンセル	変更を破棄します。現在の画面上の設定が、変更前の値に戻ります。

ボタン	機能
再表示	画面に表示されているステータス情報を更新します。このボタンは、**［ネットワークステータス］**および**［VoIPステータス］**画面の右上に表示されます。

文字を入力する

Webプログラミングで名前、メッセージ、パスワードなどのテキスト項目を指定する場合、下記の表に示すASCII文字（背景が白色）を使用できます。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	

ただし、特定の種類のフィールドには、下記の追加の制限があります。

- 数値フィールド
  - 数字以外は入力できません。
  - フィールドを空白にすることはできません。
- ［IPアドレス］フィールド
  - ドット付き10進数表記でIPアドレスを入力できます。（「n.n.n.n」：nには0～255を入力する）
  - 無効なIPアドレス（「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.0.0.1」など）は入力できません。
- ［FQDN］フィールド
  - このフィールドには、「"」、「&」、「'」、「<」、「>」、または末尾の空白を含めることができません。
  - ドット付き10進数表記でIPアドレスを入力できます。（「n.n.n.n」：nには0～255を入力する）
  - 無効なIPアドレス（「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.0.0.1」など）は入力できません。
- ［認証 ID］／［認証パスワード］フィールド
  - このフィールドには、「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、または空白を含めることができません。
  - ユーザーおよび管理者アカウントのパスワードの長さは、6～16文字にする必要があります。
- ［ディスプレイネーム］フィールド（☞ 102 ページ）
  - このフィールドにのみUnicode文字を入力できます。

4.3 機器情報

ここでは、**[機器情報]** タブに含まれる設定について説明します。

4.3.1 バージョン情報

この画面では、現在のバージョンの情報（機種名やファームウェアバージョンなど）が表示されます。

4.3.1.1 バージョン情報

モデル名

説明	本機の機種番号を表示します（参照のみ）。

OSバージョン

説明	本機に現在インストールされているソフトウェアのバージョンを表示します（参照のみ）。

ファームウェアバージョン

説明	本機に現在インストールされているファームウェアのバージョンを表示します（参照のみ）。

4.3.2 ネットワークステータス

この画面では、本機の現在のネットワーク情報（MACアドレス、IPアドレス、LANポートのリンク状態など）が表示されます。

［再表示］をクリックすると、画面が更新されます。

4.3.2.1 ネットワークステータス

MACアドレス

説明	本機のMACアドレスを表示します（参照のみ）。

LANポートのリンク状態

説明	LANポートの現在の接続状態を表示します（参照のみ）。

PCポートのリンク状態

説明	PCポートの現在の接続状態を表示します（参照のみ）。

接続方式

説明	本機のIPアドレスの割り振り方法が、自動（DHCP接続）か手動（固定IP接続）かを表示します（参照のみ）。

IPアドレス

説明	本機に現在割り振られているIPアドレスを表示します（参照のみ）。

サブネットマスク

説明	本機で指定されているサブネットマスクを表示します（参照のみ）。

デフォルトゲートウェイ

説明	ネットワークで指定されているデフォルトゲートウェイのIPアドレスを表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • デフォルトゲートウェイのアドレスが指定されていない場合、このフィールドは空白になります。

DNSサーバー1

説明	プライマリDNSサーバーのIPアドレスを表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • プライマリDNSサーバーのアドレスが指定されていない場合、このフィールドは空白になります。

DNSサーバー2

説明	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • セカンダリDNSサーバーのアドレスが指定されていない場合、このフィールドは空白になります。

4.3.3 VoIPステータス

この画面では、VoIPの現在の状態が電話回線ごとに表示されます。
[再表示] をクリックすると、画面が更新されます。

4.3.3.1 VoIPステータス

回線番号

説明	電話番号が割り当てられている回線番号を表示します（参照のみ）。

電話番号

説明	現在割り当てられている電話番号を表示します（参照のみ）。 **お知らせ** • 電話回線の契約がされていない場合または電話機の設定が完了していない場合、このフィールドは空白になります。

VoIPステータス

説明	各回線の現在のVoIPの状態を表示します（参照のみ）。
設定値	• 登録：本機はSIPサーバーに登録済みであり、回線は使用可能です。 • 登録中：本機はSIPサーバーに登録中であり、回線は使用できません。 • 空白：回線の契約がされていない、本機の設定が完了していない、または、SIP認証に失敗しています。 **お知らせ** • SIPサーバーに登録中の場合は、本機を起動しても回線の状態がすぐに表示されないことがあります。2分～2分30秒待ってから、**[再表示]**をクリックすると、更新されたステータス情報が表示されます。

4.4 ネットワーク設定

ここでは、**[ネットワーク設定]**タブに含まれる設定について説明します。

4.4.1 ネットワーク基本設定

この画面では、基本的なネットワーク設定（DHCPサーバーの使用、本機のIPアドレスなど）を変更できます。

お知らせ

- 画面の設定を変更してから**[登録]**をクリックすると、「完了」というメッセージが表示され、本機は自動的に再起動します（電話中でも再起動します）。
- この画面の設定を変更すると、本機のIPアドレスが変更されることがあり、その結果Webプログラミングでの操作を続行できなくなります。Webプログラミングによる設定を続行するには、本機に新しく割り振られたIPアドレスを本機の設定メニューで確認した後、Webプログラミングに再度ログインしてください。また、WebプログラミングにアクセスするパソコンのIPアドレスが変更され

た場合は、本機の**「内蔵web」**で**「オフ」**を選択し、Webポートを一度閉じてください（☞ 54 ページ）。

4.4.1.1 接続方式

接続方式

説明	IPアドレスの割り振り方法として自動（DHCP接続）または手動（固定IP接続）のいずれかを選択します。
設定値	• DHCP接続 • 固定IP接続
初期値	DHCP接続
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

4.4.1.2 DHCP接続

ホスト名

説明	DHCPサーバーに送信する本機のホスト名を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[接続方式]**が**[DHCP接続]**に設定されている場合のみ行うことができます。

設定値	最大63文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。
初期値	{MODEL}

DNSサーバー設定方式

説明	DNSサーバーのアドレスを自動で取得するか、手動で設定するかを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[接続方式]** が **[DHCP接続]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	• 自動 • 手動 – DNSサーバー1 – DNSサーバー2 **お知らせ** • **[手動]** を選択する場合、プライマリDNSサーバーのIPアドレスと、必要に応じてセカンダリDNSサーバーのIPアドレスを手動で指定してください。
初期値	自動
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

4.4.1.3 固定IP接続

IPアドレス

説明	本機のIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[接続方式]** が **[固定IP接続]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

サブネットマスク

説明	本機のサブネットマスクを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

デフォルトゲートウェイ

説明	本機が接続されているネットワークのデフォルトゲートウェイのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

DNSサーバー1

説明	プライマリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［接続方式］**が**［固定IP接続］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

DNSサーバー2

説明	セカンダリDNSサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[接続方式]** が **[固定IP接続]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大15文字
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	ネットワーク設定（☞ 18 ページ）

4.4.2 イーサポート設定

この画面では、イーサネットポートの接続モードとVLAN設定を変更できます。

お知らせ

- 画面の設定を変更してから **[登録]** をクリックすると、「完了」というメッセージが表示され、本機は自動的に再起動します（電話中でも再起動します）。
- 設定に誤りがあると、ネットワーク障害が発生する可能性があります。この場合、Webプログラミングにアクセスできなくなります。再度アクセスするには、本機で通信速度／通信方式設定を修正するか、初期化を実行する必要があります。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

4.4.2.1 リンク速度／デュプレックス

LANポート

説明	LANポートの接続モード（リンク速度／デュプレックスモード）を選択します。

設定値	• オートネゴシエーション • 100M全二重 • 100M半二重 • 10M全二重 • 10M半二重
初期値	オートネゴシエーション
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）

PCポート

説明	PCポートの接続モード（リンク速度／デュプレックスモード）を選択します。
設定値	• オートネゴシエーション • 100M全二重 • 100M半二重 • 10M全二重 • 10M半二重
初期値	オートネゴシエーション
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）

4.4.2.2 VLAN

VLAN

説明	VLAN機能を使って安全なVoIP通信を行うかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_ENABLE（☞ 146 ページ）

IP電話 (VLAN ID)

説明	本機のVLAN IDを指定します。

設定値	1～4094
初期値	2
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_ID_IP_PHONE（☞ 147 ページ）

IP電話（優先度）

説明	本機の優先度を示す数値を選択します。
設定値	0～7
初期値	7
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_PRI_IP_PHONE（☞ 147 ページ）

PC（VLAN ID）

説明	PCポートのVLAN IDを指定します。
設定値	1～4094
初期値	1
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_ID_PC（☞ 148 ページ）

PC（優先度）

説明	PCポートの優先度を示す数値を選択します。
設定値	0～7
初期値	0
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	VLAN_PRI_PC（☞ 148 ページ）

4.4.3 HTTPクライアント設定

この画面では、本機のHTTPクライアント設定を変更できます。ネットワークの設定に応じて、プロキシ設定を行ってください。この設定に基づいて、電話システムのHTTPサーバーへのアクセスや設定ファイルのダウンロード、Webブラウザの表示が行われます。

4.4.3.1 HTTPクライアント設定

HTTP バージョン

説明	HTTP通信で使用するHTTPプロトコルのバージョンを選択します。
設定値	• HTTP/1.0 • HTTP/1.1 **お知らせ** • 本機では、**[HTTP/1.0]**を選択することを推奨します。HTTP/1.0を使用するとサーバーの稼働に問題がある場合は、**[HTTP/1.1]**を選択してください。
初期値	HTTP/1.0
設定ファイルプログラミングによる設定	HTTP_VER（☞ 149 ページ）

HTTPユーザーエージェント

説明	HTTPリクエストのヘッダーでユーザーエージェントとして送信する文字列を指定します。

設定値	最大40文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このフィールドに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このフィールドに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
設定ファイルプログラミングによる設定	HTTP_USER_AGENT（☞ 149 ページ）

4.4.3.2 HTTP認証

認証ID

説明	ユーザーアカウントのIDを指定します。指定したIDは、ユーザーアクセスレベルでWebプログラミングにアクセスする際に入力が必要になります。
設定値	最大127文字
初期値	なし

認証パスワード

説明	ユーザーアカウントのパスワードを指定します。指定したパスワードは、ユーザーアクセスレベルでWebプログラミングにアクセスする際に入力が必要になります。
設定値	最大127文字
初期値	なし

4.4.3.3 プロキシサーバー

プロキシサーバー

説明	プロキシサーバーを使用するかどうかを選択します。 **お知らせ** • 本機のプロキシサーバー設定は、ファームウェアのプロビジョニングやアップデートにも使用されます。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

プロキシサーバーアドレス

説明	プロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字 **お知らせ** • **［プロキシサーバー］**が**［有効］**に設定されている場合、このフィールドへの入力は必要です。
初期値	なし

プロキシサーバーポート

説明	プロキシサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	8080

4.4.4 グローバルアドレス検出

この画面では、グローバルアドレスの検出機能の設定とSTUNサーバーの設定を行います。本機が接続されているネットワークのグローバルIPアドレスは、定期的に検出されます。グローバルIPアドレスを変更すると、新しいアドレスがSIPサーバーに登録されます。

お知らせ

- 本機がインターネットに直結している場合（グローバルIPアドレスが固定の場合）は、グローバルアドレス検出を設定する必要はありません。

4.4.4.1 グローバルアドレス検出

検出方式

説明	グローバルIPアドレスの検出方法を選択します。
設定値	• STUN • SIP
初期値	STUN

検出間隔

説明	グローバルIPアドレスを検出する間隔を秒単位で指定します。
設定値	0、10～65535（0：無効） **お知らせ** • **[検出方式]** が **[SIP]** に設定されている場合、「0」を指定すると検出は無効になり、「0」以外の値を指定すると有効になります。
初期値	0

4.4.4.2 STUNサーバー

STUNサーバーアドレス

説明	STUNサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし

設定ファイルプログラミングによる設定	STUN_SERV_ADDR（☞ 152 ページ）

STUNサーバーポート

説明	STUNサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	3478
設定ファイルプログラミングによる設定	STUN_SERV_PORT（☞ 152 ページ）

4.4.5 静的NAPT設定

この画面では、NAPT（Network Address Port Translation）の設定を行います。NAT/NAPTでプライベートIPアドレスとグローバルIPアドレスを変換するルーターの背後に本機が接続されている場合、一部のSIPサーバーでは、ルーターがVoIPパケットをブロックしてしまう可能性があります。この問題が発生しないようにするには、本画面の設定が必要です。
設定の詳細については☞ 21 ページ

4.4.5.1 グローバルアドレス

グローバルアドレス

説明	ネットワークのグローバルIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • **［回線1］**～**［回線6］**のいずれかが**［有効］**に設定されている場合、またはポート番号が**［グローバルRTPポート 1～25］**で指定されている場合、このフィールドに値を入力する必要があります。 • グローバルIPアドレスは、SIPメッセージとRTPパケットで反映されます。
設定値	最大15文字
初期値	なし

4.4.5.2 SIPポートマッピング

回線1～回線6

説明	NATトラバーサル機能を有効にするかどうかを回線ごとに選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

4.4.5.3 RTPポートマッピング

グローバルRTPポート 1～25

説明	音声通信に使用する外部RTPポート番号をチャネルごとに指定します。
設定値	0、1024～49150（偶数のみ、0：無効） **お知らせ** • 各チャネルに固有のポート番号を設定する必要があり、ポート番号はすべて偶数にする必要があります。 • ここでは、**［SIPポート］**（☞ 83 ページ）で各回線に指定したポート番号と同じ番号は指定できません。送信元ポート番号が奇数の場合、**［SIPポート］**で指定したポート番号よりも1小さいポート番号も指定できません。 • すべてのチャネルを有効または無効のどちらかに同時に設定する必要があります。
初期値	0

4.5 システム設定

ここでは、**[システム設定]** タブに含まれる設定について説明します。

4.5.1 Web言語

この画面では、Webプログラミングで使用する言語を選択します。言語の設定は、ユーザーアカウントでWebプログラミングにログインした場合に適用されます。

お知らせ

- ユーザーアカウントでWebプログラミングにログインして言語を変更した場合、[完了] のメッセージが表示された後で変更が反映されます。管理者アカウントでログインした場合は、ユーザーアカウントでWebプログラミングにログインしたときに変更が反映されます。
- 管理者アカウントでログインした場合、Webプログラミング画面は、常に日本語で表示されます。
- Webプログラミングで使用する言語を変更しても、本機に表示される言語は変更されません。

4.5.1.1 Web言語

言語

説明	Webプログラミングで使用する言語を選択します。
設定値	• English (US) • English (UK) • Deutsch • Français • Español • Italiano • Русский • 日本語
初期値	日本語

4.5.2 管理者パスワード変更

この画面では、Webプログラミングへのログイン時に、管理者アカウントの認証で使用するパスワードを変更できます。

お知らせ

- セキュリティ上の理由から、パスワードとして入力された文字は特殊文字でマスクされます。この特殊文字は、Webブラウザによって異なります。
- 管理者パスワードを変更すると、次回、Webプログラミングにアクセスしたときに認証用のダイアログボックスが表示されます。ログインに2回続けて失敗すると、エラー（「401 Unauthorized」）になります。ただし、これはパスワード変更後の最初のログイン試行時のみであり、それ以外の場合は3回ログインに失敗するとエラーが発生します。

4.5.2.1 管理者パスワード変更

現在のパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に、管理者アカウントの認証で使用する現在のパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	adminpass
本機を使用したプログラミングによる設定	管理者パスワードを変更する（☞ 41 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	ADMIN_PASS（☞ 134 ページ）

新しいパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に管理者アカウントの認証で使用する新しいパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	管理者パスワードを変更する（☞ 41 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	ADMIN_PASS（☞ 134 ページ）

パスワード確認

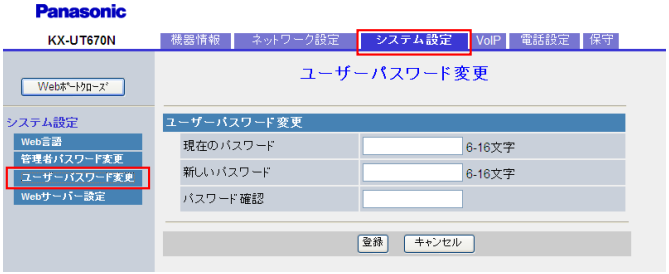
説明	確認として、**[新しいパスワード]** に入力したパスワードと同じパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
本機を使用したプログラミングによる設定	管理者パスワードを変更する（☞ 41 ページ）
設定ファイルプログラミングによる設定	ADMIN_PASS（☞ 134 ページ）

4.5.3 ユーザーパスワード変更

この画面では、Webプログラミングへのログイン時に、ユーザーアカウントの認証で使用するパスワードを変更できます。

お知らせ

- セキュリティ上の理由から、パスワードとして入力された文字は特殊文字でマスクされます。この特殊文字は、Webブラウザによって異なります。
- ユーザーパスワードを変更すると、次回、Webプログラミングにアクセスしたときに認証用のダイアログボックスが表示されます。ログインに2回続けて失敗すると、エラー（「401 Unauthorized」）になります。ただし、これはパスワード変更後の最初のログイン試行時のみであり、それ以外の場合は3回ログインに失敗するとエラーが発生します。



4.5.3.1 ユーザーパスワード変更

現在のパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に、ユーザーアカウントの認証で使用する現在のパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_PASS（☞ 135 ページ）

新しいパスワード

説明	Webプログラミングへのログイン時に、ユーザーアカウントの認証で使用する新しいパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし **お知らせ** • Webプログラミングへの初回ログイン時、認証ダイアログボックスで**［OK］**をクリックすると**［ユーザーパスワード変更］**画面が開くので、パスワードを設定してください。
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_PASS（☞ 135 ページ）

パスワード確認

説明	確認として、**［新しいパスワード］**に入力したパスワードと同じパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	USER_PASS（☞ 135 ページ）

4.5.4 Webサーバー設定

この画面では、Webサーバー設定を変更できます。

4.5.4.1 Webサーバー設定

Webサーバーポート

説明	Webサーバーが使用するポート番号を指定します。

設定値	80、1024～49151 **お知らせ** • **[SIPポート]**（☞ 83 ページ）で各回線に指定したポート番号と同じ番号は指定できません。
初期値	80 **お知らせ** • ポート番号の初期値を「80」以外の値（「8080」など）に変更する場合、Webプログラミングにアクセスする URLを次の形式で入力してください。 「http://192.168.0.100:8080/」 （192.168.0.100：本機のIPアドレス）

ポートクローズ時間

説明	本機とパソコン間で通信が発生していない場合にWebポートを開いた状態にしておく時間の長さを分単位で指定します。通信がない状態で指定の時間が経過した時点で、Webポートは自動的に閉じます。タブ、メニュー項目、**[登録]** ボタンのクリック、アプリケーションの再読み込み、F5キーを押すなどの操作によって、通信は検出されます。
設定値	1～1440
初期値	30

4.6 VoIP

ここでは、**[VoIP]** タブに含まれる設定について説明します。

4.6.1 SIP設定

この画面では、すべての回線に共通のSIP設定を変更できます。

4.6.1.1 SIP設定

SIPユーザーエージェント

説明	SIPメッセージの「User-Agent」ヘッダーで送信する文字列を指定します。
設定値	最大40文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このフィールドに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このフィールドに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このフィールドに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_USER_AGENT（☞ 181 ページ）

4.6.2 SIP設定 [回線1]～[回線6]

この画面では、SIP設定を回線ごとに変更できます。

4.6.2.1 電話番号

電話番号

説明	SIP登録サーバーにユーザーIDとして登録する電話番号を指定します。 **お知らせ** • 電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合は、**[SIP URI]**の設定が必要です。
設定値	最大32文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	PHONE_NUMBER_n（☞ 182 ページ）

SIP URI

説明	SIP登録サーバーに登録する固有のIDを指定します。 IDは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。 **お知らせ** • この設定が必要になるのは、電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合です。 • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_URI_n（☞ 182 ページ）

4.6.2.2 SIPサーバー

レジストラサーバーアドレス

説明	SIP登録サーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_RGSTR_ADDR_n（☞ 185 ページ）

レジストラサーバーポート

説明	SIP登録サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_RGSTR_PORT_n（☞ 185 ページ）

プロキシサーバーアドレス

説明	SIPプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRXY_ADDR_n（☞ 184 ページ）

プロキシサーバーポート

説明	SIPプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRXY_PORT_n（☞ 185 ページ）

プレゼンスサーバーアドレス

説明	SIPプレゼンスサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRSNC_ADDR_n（☞ 193 ページ）

プレゼンスサーバーポート

説明	SIPプレゼンスサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PRSNC_PORT_n（☞ 193 ページ）

4.6.2.3 アウトバウンドプロキシ

アウトバウンドプロキシサーバーアドレス

説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_OUTPROXY_ADDR_n（☞ 198 ページ）

アウトバウンドプロキシサーバーポート

説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_OUTPROXY_PORT_n（☞ 199 ページ）

4.6.2.4 SIPサービスドメイン

サービスドメイン

説明	ドメイン名を指定します。ドメイン名とは、SIP URIの「@」記号以降の部分です。
設定値	最大127文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_SVCDOMAIN_n（☞ 186 ページ）

4.6.2.5 SIPポート

SIPポート

説明	本機がSIP通信に使用する送信元ポート番号を指定します。

設定値	1024～49151 **お知らせ** • **[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 74 ページ）で指定したポート番号は指定できません（設定済みの場合）。また、**[グローバルRTPポート 1～25]**で指定したポート番号よりも1大きいポート番号も指定できません。 • それぞれの回線に固有のSIPポート番号を指定する必要があります。 • **[Webサーバーポート]**（☞ 78 ページ）で指定したポート番号は指定できません。
初期値	5060（回線1） 5061（回線2） 5062（回線3） 5063（回線4） 5064（回線5） 5065（回線6）
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_SRC_PORT_n（☞ 184 ページ）

4.6.2.6 SIP認証

認証ID

説明	SIPサーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大64文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_AUTHID_n（☞ 184 ページ）

認証パスワード

説明	SIPサーバーへのアクセスに使用する認証パスワードを指定します。
設定値	最大64文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_PASS_n（☞ 184 ページ）

4.6.2.7 DNS

DNS SRV

説明	SRVレコードを使ってドメイン名をIPアドレスに変換するようDNSサーバーに要求するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップを行います。**[無効]** を選択すると、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップは行いません。
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_DNSSRV_ENA_n（☞ 190 ページ）

UDP用SRVプリフィックス

説明	UDPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[DNS SRV]** が **[有効]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._udp.
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_UDP_SRV_PREFIX_n（☞ 191 ページ）

TCP用SRVプリフィックス

説明	TCPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[DNS SRV]** が **[有効]** に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._tcp.

設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TCP_SRV_PREFIX_n（☞ 191 ページ）

4.6.2.8 SIPトランスポートプロトコル

トランスポートプロトコル

説明	SIPパケットの送信に使用するトランスポート層プロトコルを選択します。
設定値	• UDP • TCP
初期値	UDP
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TRANSPORT_n（☞ 199 ページ）

4.6.2.9 SIPタイマー

T1タイマー

説明	SIPメッセージの転送間隔の初期値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 250 • 500 • 1000 • 2000 • 4000
初期値	500
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_T1_n（☞ 188 ページ）

T2タイマー

説明	SIPメッセージの最大転送間隔を秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 2 • 4 • 8 • 16 • 32

初期値	4
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_T2_n（☞ 189 ページ）

タイマーB

説明	SIPタイマーB（INVITEトランザクションタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_B_n（☞ 202 ページ）

タイマーD

説明	SIPタイマーD（応答の再送信待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_D_n（☞ 202 ページ）

タイマーF

説明	SIPタイマーF（INVITEトランザクション以外のタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_F_n（☞ 202 ページ）

タイマーH

説明	SIPタイマーHの値（ACKの受け取り待機時間）をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000

設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_H_n（☞ 203 ページ）

タイマーJ

説明	SIPタイマーJの値（INVITE以外のリクエスト再送信待機時間）をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_TIMER_J_n（☞ 203 ページ）

4.6.2.10 QoS

DSCP （SIPパケット）

説明	SIPパケットに適用されるDSCP（Differentiated Services Code Point）値を選択します。
設定値	0～63
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	DSCP_SIP_n（☞ 187 ページ）

4.6.2.11 SIP拡張機能

100rel （RFC 3262）

説明	INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーにオプションタグ100relを追加するかどうかを選択します。詳細については、RFC 3262を参照してください。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **［有効］**を選択すると、Reliability of Provisional Responses機能が有効になります。オプションタグ100relは、INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーと、「1xx」暫定応答メッセージの「Require」ヘッダーに追加されます。**［無効］**を選択した場合、オプションタグ100relは使用されません。
初期値	無効

設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_100REL_ENABLE_n（☞ 192 ページ）

セッションタイマー （RFC 4028）

説明	繰り返しリクエストを送っても応答がない場合に、本機がSIPセッションを切断するまでに待機する時間の長さを、秒単位で指定します。詳細については、RFC 4028を参照してください。
設定値	0、60～65535（0：無効）
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_SESSION_TIME_n（☞ 186 ページ）

4.6.2.12 NAT

キープアライブ間隔

説明	NATのバインド情報を保持するために本機にキープアライブパケットを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、**［トランスポートプロトコル］**が**［UDP］**に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	0、10～300（0：無効）
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	PORT_PUNCH_INTVL_n（☞ 194 ページ）

Rport （RFC 3581）

説明	「via」ヘッダーに「rport」パラメータを追加するかどうか指定します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_ADD_RPORT_n（☞ 195 ページ）

4.6.2.13 セキュリティ

SIPソースアドレスフィルター

説明	SIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）でSSAF（SIP Source Address Filter）を有効にするかどうかを指定します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **［有効］**を選択すると、本機はSIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）に保存されている送信元アドレスからのSIPメッセージのみを受信し、他のアドレスからのSIPメッセージは受信しません。ただし、**［アウトバウンドプロキシサーバーアドレス］**（☞ 83 ページ）が指定されている場合、SIPアウトバウンドプロキシサーバーに保存されている送信元アドレスからのSIPメッセージも受信します。
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	SIP_DETECT_SSAF_n（☞ 200 ページ）

4.6.3 VoIP設定

この画面では、すべての回線に共通のVoIP設定を変更できます。

4.6.3.1 RTP設定

RTP送信間隔

説明	RTPパケットの転送間隔をミリ秒単位で選択します。
設定値	• 20 • 30（G.722 以外のコーデックのみ有効） • 40
初期値	20
設定ファイルプログラミングによる設定	RTP_PTIME（☞ 175 ページ）

RTPポートの最小値

説明	本機がRTPパケット用に使用する最小ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号が **[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 74 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、対応する外部RTPポートが有効になります。
設定値	1024～48750（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は、「**[RTPポートの最大値]** －400」以下でなければなりません。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。 設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 × チャネル数 × 2 × 10 (端末数)
初期値	16000
設定ファイルプログラミングによる設定	RTP_PORT_MIN（☞ 174 ページ）

RTPポートの最大値

説明	本機がRTPパケット用に使用する最大ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号が **[グローバルRTPポート 1～25]**（☞ 74 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、対応する外部RTPポートが有効になります。

設定値	1424～49150（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は、「**[RTPポートの最小値]** +400」以上でなければなりません。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。 設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 × チャネル数 × 2 × 10 (端末数)
初期値	20000
設定ファイルプログラミングによる設定	RTP_PORT_MAX（☞ 174 ページ）

DTMFペイロードタイプ

説明	トーン信号のRFC 2833ペイロードタイプを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[DTMF方式]** が **[アウトバンド（RFC 2833）]** に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	96～127
初期値	101
設定ファイルプログラミングによる設定	TELEVENT_PAYLOAD（☞ 177 ページ）

4.6.4 VoIP設定 [回線1]～[回線6]

この画面では、VoIP設定を回線ごとに変更できます。

4.6.4.1 QoS

DSCP （RTPパケット）

説明	RTPパケットに適用されるDSCPレベルを選択します。
設定値	0～63
初期値	0
設定ファイルプログラミングによる設定	DSCP_RTP_n（☞ 172 ページ）

4.6.4.2 統計情報

RTCP送信

説明	RTCP（Real-Time Transport Control Protocol）を有効にするか無効にするかを選択します。詳細については、RFC 3550を参照してください。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	RTCP_ENABLE_n（☞ 175 ページ）

RTCP送信間隔

説明	RTCPパケットの間隔を秒単位で指定します。
設定値	5～65535
初期値	5
設定ファイルプログラミングによる設定	RTCP_INTVL_n（☞ 172 ページ）

4.6.4.3 ジッタバッファ

最大遅延

説明	ジッタバッファの最大遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	3～50（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – **［初期遅延］**以上である必要があります。 – **［最小遅延］**以上である必要があります。 – **［初期遅延］**は**［最小遅延］**以上である必要があります。
初期値	20（x 10ミリ秒）
設定ファイルプログラミングによる設定	MAX_DELAY_n（☞ 172 ページ）

最小遅延

説明	ジッタバッファの最小遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	1または2（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – **［初期遅延］**以下である必要があります。 – **［最大遅延］**以下である必要があります。 – **［最大遅延］**は**［初期遅延］**以上である必要があります。
初期値	2（x 10ミリ秒）
設定ファイルプログラミングによる設定	MIN_DELAY_n（☞ 173 ページ）

初期遅延

説明	ジッタバッファの初期遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。

設定値	1～7（x 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – **［最小遅延］**以上である必要があります。 – **［最大遅延］**以下である必要があります。
初期値	2（x 10ミリ秒）
設定ファイルプログラミングによる設定	NOM_DELAY_n（☞ 173 ページ）

4.6.4.4 DTMF

DTMF方式

説明	トーン信号の転送方法を選択します。
設定値	• アウトバンド（RFC 2833） • インバンド **お知らせ** • **［アウトバンド（RFC 2833）］**を選択すると、トーン信号はRFC 2833に従い、SDP（Session Description Protocol）を使用して送信されます。**［インバンド］**を選択すると、トーン信号はRTPストリーム内にエンコードされます。
初期値	アウトバンド（RFC 2833）
設定ファイルプログラミングによる設定	OUTBANDDTMF_n（☞ 176 ページ）

4.6.4.5 RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留

RFC 2543 保留

説明	回線でRFC 2543の通話保留機能を有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **［有効］**を選択すると、通話を保留するために再INVITEメッセージを送信するときに「c=0.0.0.0」構文がSDPで設定されます。**［無効］**を選択すると、「c=x.x.x.x」構文がSDPで設定されます。
初期値	有効

設定ファイルプログラミングによる設定	RFC2543_HOLD_ENABLE_n（☞ 177 ページ）

4.6.4.6 コーディック優先度

G722（設定）

説明	音声データ通信でG.722コーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 170 ページ）

G722（優先度）

説明	G.722コーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 171 ページ）

PCMA（設定）

説明	音声データ通信でPCMAコーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 170 ページ）

PCMA（優先度）

説明	PCMAコーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1

設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 171 ページ）

G729A（設定）

説明	音声データ通信でG.729Aコーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 170 ページ）

G729A（優先度）

説明	G.729Aコーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 171 ページ）

PCMU（設定）

説明	音声データ通信でPCMUコーデックを有効にするかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_ENABLEx_n（☞ 170 ページ）

PCMU（優先度）

説明	PCMUコーデックを使用する優先順位を数値で指定します。
設定値	1～255
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	CODEC_PRIORITYx_n（☞ 171 ページ）

4.7 電話設定

ここでは、**[電話設定]** タブに含まれる設定について説明します。

4.7.1 電話機能設定

この画面では、すべての回線に共通の各種通話機能を設定します。

4.7.1.1 電話機能設定

ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信

説明	SUBSCRIBEリクエストをボイスメールサーバーに送信するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	VM_SUBSCRIBE_ENABLE（☞ 154 ページ）

ダイヤル桁間タイマー

説明	発信操作時、次の番号を入力するまでの時間を秒単位で指定します。キー入力後、この時間が経過すると、発信します。
設定値	1～15
初期値	5
設定ファイルプログラミングによる設定	INTDIGIT_TIM（☞ 154 ページ）

ダイヤルプランタイマー

説明	ダイアルプランの中に「T」または「t」の文字列がある場合のタイマーを秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	5
設定ファイルプログラミングによる設定	MACRODIGIT_TIM（☞ 155 ページ）

国際番号

説明	かかってきた国際電話の番号の先頭に「+」記号が入っている場合に「+」記号の箇所に表示する番号を指定します。
設定値	最大8文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	INTERNATIONAL_ACCESS_CODE（☞ 155 ページ）

国番号

説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルする場合に比較目的で使用する国／地域の電話コードを指定します。
設定値	最大8文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	COUNTRY_CALLING_CODE（☞ 155 ページ）

市内局番

説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルするとき、国コードが一致した場合は国コードを削除して国内アクセスコードを追加します。
設定値	最大8文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	NATIONAL_ACCESS_CODE（☞ 155 ページ）

通常使用する回線番号

説明	ダイヤル操作で回線が指定されていない場合に、発信に使用する回線を指定します。
設定値	1～6
初期値	1
設定ファイルプログラミングによる設定	DEFAULT_LINE_SELECT（☞ 156 ページ）

フラッシュ動作（切断＆再捕捉）

説明	通話時の**［切断］**キーの機能を選択します。
設定値	• 切断 • 再捕捉
初期値	切断
設定ファイルプログラミングによる設定	FLASH_RECALL_TERMINATE（☞ 180 ページ）

フラッシュ再捕捉イベント

説明	フックフラッシュイベント送信時に送信する信号の種類を指定します。
設定値	• Signal • flashhook
初期値	Signal
設定ファイルプログラミングによる設定	FLASHHOOK_CONTENT_TYPE（☞ 180 ページ）

内線指定代理応答

説明	BLF（内線状態表示）ボタンとして設定している内線に着信があった場合に、その着信に代理応答するための特番を指定します。
設定値	最大4文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT（☞ 156 ページ）

4.7.1.2 着信拒否番号

1～30

説明	着信拒否する電話番号を30件まで指定します。 **お知らせ** • この設定は、本機を使用したプログラミングでも行うことができます。Webプログラミングと本機を使用したプログラミングで同じ設定を変更すると、Webプログラミングでの設定によって本機を使用したプログラミングの設定が上書きされます。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • 0～9、*、#、または+以外の番号が含まれる電話番号は、着信拒否できない場合があります。
初期値	なし

4.7.2 電話機能設定 [回線1]～[回線6]

この画面では、各種通話機能を回線ごとに設定できます。

4.7.2.1 電話機能設定

ディスプレイネーム

説明	電話をかけるときに相手の電話機に発信者として表示する名前を指定します。
設定値	最大24文字 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	DISPLAY_NAME_n（☞ 178 ページ）

ボイスメールアクセス番号

説明	ボイスメールサーバーにアクセスするために使用する電話番号を指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	最大32文字

初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	VM_NUMBER_n（☞ 178 ページ）

リソースリストURI

説明	リソースリストのURI（Uniform Resource Identifier）文字列を指定します。URIは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。詳細については、RFC 4662を参照してください。 **お知らせ** • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。 • フレキシブルキーにBLF（内線状態表示）機能を設定している場合は、お使いのSIPサーバーによっては本設定を行う必要があります。 フレキシブルキーの詳細については☞ 208 ページ
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	RESOURCELIST_URI_n（☞ 179 ページ）

4.7.2.2 番号計画

番号計画 （最大500文字）

説明	ダイヤル可能な番号や発信時の処理方法を制御するダイヤル形式（電話番号など）を指定します。ダイヤルプランの詳細については☞ 210 ページ
設定値	最大500文字 **お知らせ** • 入力文字数が500文字を超えるとエラーが発生し、前に入力されていた値が有効になります。
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_PLAN_n（☞ 179 ページ）

番号計画不一致時に発信

説明	ダイヤルした番号が、**[番号計画]** で指定されているダイヤル形式のいずれとも一致しない場合に、その番号に発信するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効 **お知らせ** • **[有効]** を選択すると、ダイヤルした番号が **[番号計画]** で指定されているダイヤル形式と一致しない場合でも発信します。**[無効]** を選択すると、ダイヤルした番号が **[番号計画]** で指定されているダイヤル形式のいずれかと一致しない場合には発信しません。
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n（☞ 179 ページ）

4.7.2.3 発着信機能

発信者番号非通知

説明	発信時に、電話番号を非通知にするかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定を行えるかどうかは、お使いのSIPサーバーによって異なります。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

非通知着信拒否

説明	発信者の番号が非表示の着信を拒否するかどうかを選択します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

着信拒否

説明	不在設定機能を有効にするかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[無効]**を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、本機は着信を受けることはできません。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

4.7.2.4 不在転送

全着信 (不在転送)

説明	すべての着信を指定の電話番号に転送するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[有効]**を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、不在転送は行われません。 • **[有効]**を選択し、SIPサーバーでも不在転送が有効になっていても、転送先の設定が異なる場合は、サーバーで設定されている転送先にすべての着信が転送されます。 • SIPサーバーで不在転送が有効になっていると、**[無効]**を選択しても、着信はサーバーで設定されている転送先に転送されます。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

全着信 (転送先電話番号)

説明	すべての着信の転送先となる電話番号を指定します。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • **[全着信 (不在転送)]**が**[有効]**に設定されている場合、このフィールドへの入力は必要です。
初期値	なし

話中 (不在転送)

説明	回線が使用中の場合に、着信を指定の電話番号に転送するかどうかを選択します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[有効]** を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、不在転送は行われません。 • **[有効]** を選択し、SIPサーバーでも不在転送が有効になっていても、転送先の設定が異なる場合は、サーバーで設定されている転送先にすべての着信が転送されます。 • SIPサーバーで不在転送が有効になっている場合、**[無効]** を選択しても、着信はサーバーで設定されている転送先に転送されます。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

話中 (転送先電話番号)

説明	回線が使用中の場合に、着信の転送先となる電話番号を指定します。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • **[話中（不在転送)]** が **[有効]** に設定されている場合、このフィールドへの入力は必須です。
初期値	なし

不応答 (不在転送)

説明	着信音が指定の回数鳴った時点で電話に出なかった場合に、着信を指定の電話番号に転送するかどうかを指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーで不在設定が有効になっている場合、**[有効]** を選択しても、サーバーによって着信は拒否され、不在転送は行われません。 • **[有効]** を選択し、SIPサーバーでも不在転送が有効になっていても、転送先の設定が異なる場合は、サーバーで設定されている転送先にすべての着信が転送されます。 • SIPサーバーで不在転送が有効になっていると、**[無効]** を選択しても、着信はサーバーで設定されている転送先に転送されます。

設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効

不応答 (転送先電話番号)

説明	着信音が指定の回数だけ鳴った時点で電話に出なかった場合に、着信の転送先となる電話番号を指定します。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • **[不応答（不在転送)]**が**[有効]**に設定されている場合、このフィールドへの入力は必須です。
初期値	なし

不応答 (鳴動回数)

説明	通話を転送するまでに、着信音を鳴らす回数を指定します。
設定値	0、2~20（0：着信音なし）
初期値	3

4.7.3 トーン設定

この画面では、トーン信号の周波数とパターンをトーンごとに設定します。

4.7.3.1 発信音

使用周波数

説明	発信音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音） **お知らせ** • たとえば「350,440」と指定すると、350 Hzと440 Hzのトーン信号を組み合わせた音が鳴ります。
初期値	350,440
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE1_FRQ（☞ 160 ページ）

オン／オフ周期

説明	発信音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。
設定値	0～16000（0：連続音） **お知らせ** • 発信音は、最初の値で指定された時間だけ停止した後、2番目の時間だけ鳴り、3番目の時間だけ停止、4番目の時間だけ鳴る、と続きます。パターンの最後に到達すると、最初から同じパターンが繰り返されます。たとえば、「100,100,100,0」と指定した場合、100ミリ秒間停止、100ミリ秒間鳴り、100ミリ秒間停止、というパターンが繰り返されます。 • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
初期値	60,0
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE1_TIMING（☞ 160 ページ）

4.7.3.2 話中音

使用周波数

説明	話中音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620

設定ファイルプログラミングによる設定	BUSY_TONE_FRQ（☞ 162 ページ）

オン／オフ周期

説明	話中音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,500,440
設定ファイルプログラミングによる設定	BUSY_TONE_TIMING（☞ 162 ページ）

4.7.3.3 着信音

使用周波数

説明	呼び出し音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	440,480
設定ファイルプログラミングによる設定	RINGBACK_TONE_FRQ（☞ 164 ページ）

オン／オフ周期

説明	呼び出し音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,2000,3940
設定ファイルプログラミングによる設定	RINGBACK_TONE_TIMING（☞ 164 ページ）

4.7.3.4 スタッター音

使用周波数

説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音４（スタッター式発信音）の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	350,440
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE4_FRQ（☞ 161 ページ）

オン／オフ周期

説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音4（スタッター式発信音）のパターンを、最大22個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン１,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、560ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	560,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,0
設定ファイルプログラミングによる設定	DIAL_TONE4_TIMING（☞ 162 ページ）

4.7.3.5 リオーダー音

使用周波数

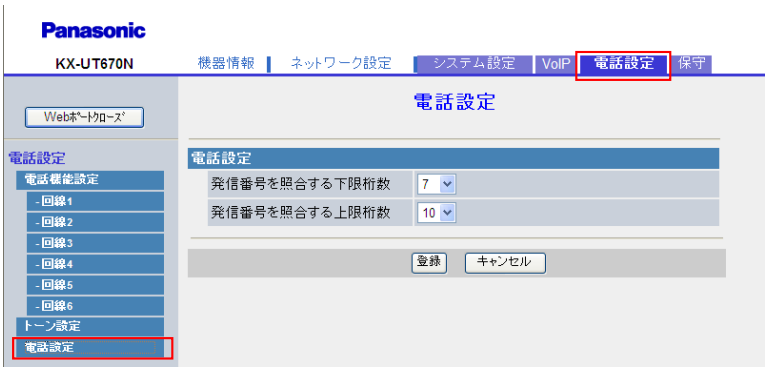
説明	規制音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
設定ファイルプログラミングによる設定	REORDER_TONE_FRQ（☞ 163 ページ）

オン／オフ周期

説明	規制音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1,オン1,オフ2,オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,250,190
設定ファイルプログラミングによる設定	REORDER_TONE_TIMING（☞ 163 ページ）

4.7.4 電話設定

この画面では、電話機の各種設定を行います。



4.7.4.1 電話設定

発信番号を照合する下限桁数

説明	電話帳に登録された番号と発信者番号を一致させる最小桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと**[発信番号を照合する上限桁数]**の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	7
設定ファイルプログラミングによる設定	NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT（☞ 167 ページ）

発信番号を照合する上限桁数

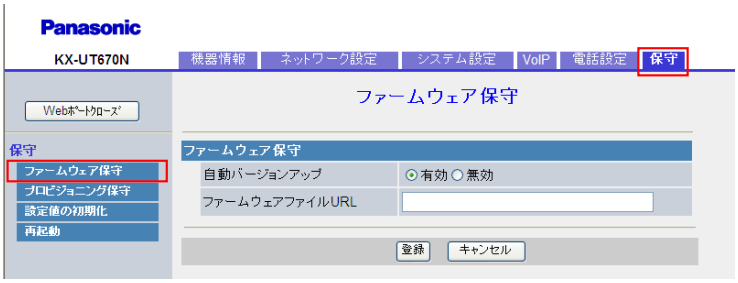
説明	電話帳に登録された番号と発信者番号を一致させる最大桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと**[発信番号を照合する下限桁数]**の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	10
設定ファイルプログラミングによる設定	NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT（☞ 167 ページ）

4.8 保守

ここでは、**[保守]** タブに含まれる設定について説明します。

4.8.1 ファームウェア保守

この画面では、ファームウェアのアップデートを自動または手動で行います。



4.8.1.1 ファームウェア保守

自動バージョンアップ

説明	本機が新しいバージョンのファームウェアを検出したときに、ファームウェアのアップデートを実行するかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定を変更すると、本機の再起動が必要になることがあります。 • SDカードを使用したファームウェアのアップデート（☞ 218 ページ）は、この設定に関係なく実行できます。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効

設定ファイルプログラミングによる設定	FIRM_UPGRADE_ENABLE（☞ 138 ページ）

ファームウェアファイルURL

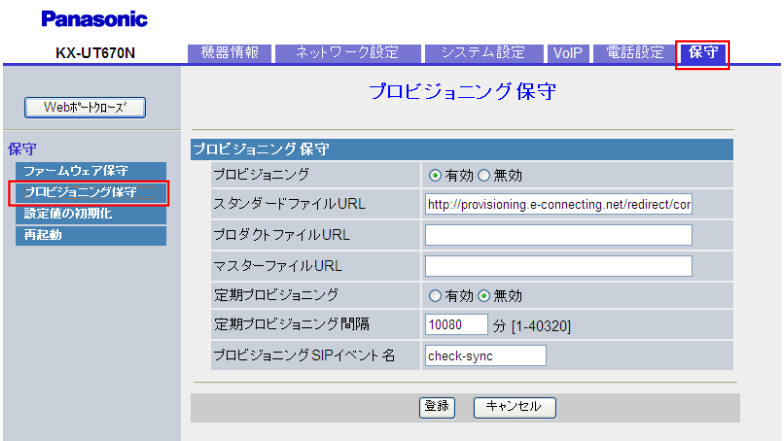
説明	ファームウェアファイルが格納されているURLを指定します。 **お知らせ** • この設定は、**[自動バージョンアップ]** が **[有効]** に設定されている場合に有効となります。 • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	最大500文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	FIRM_FILE_PATH（☞ 139 ページ）

4.8.2 プロビジョニング保守

この画面では、使用している電話システムのプロビジョニングサーバーから設定ファイルをダウンロードするためのプロビジョニング設定を変更できます。

お知らせ

• 電話機1台あたり設定ファイルを3つまで指定できます。
プロビジョニングの詳細については☞ 29 ページ



4.8.2.1 プロビジョニング保守

プロビジョニング

説明	指定されているURLから設定ファイルをダウンロードして本機に設定するかどうかを指定します。

設定値	• 有効 • 無効
初期値	有効
設定ファイルプログラミングによる設定	PROVISION_ENABLE（☞ 140 ページ）

スタンダードファイルURL

説明	スタンダードファイルのURLを指定します。このファイルは、電話機ごとに異なる設定が必要な場合に使用します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に**［プロビジョニング］**を**［有効］**に設定してください。
設定値	最大500文字
初期値	http://provisioning.e-connecting.net/redirect/conf/{mac}.cfg
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_STANDARD_FILE_PATH（☞ 140 ページ）

プロダクトファイルURL

説明	同じ機種の電話機に同一の設定をする場合に使用するプロダクトファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に**［プロビジョニング］**を**［有効］**に設定してください。
設定値	最大500文字
初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_PRODUCT_FILE_PATH（☞ 141 ページ）

マスターファイルURL

説明	すべての電話機で同じ設定が必要な場合に使用されるマスターファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に**［プロビジョニング］**を**［有効］**に設定してください。
設定値	最大500文字

初期値	なし
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_MASTER_FILE_PATH（☞ 142 ページ）

定期プロビジョニング

説明	本機が設定ファイルの更新を定期的に確認するかどうかを指定します。
設定値	• 有効 • 無効
初期値	無効
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_CYCLIC（☞ 145 ページ）

定期プロビジョニング間隔

説明	設定ファイルの更新を定期的に確認する間隔を分単位で指定します。
設定値	1～40320
初期値	10080
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_CYCLIC_INTVL（☞ 145 ページ）

プロビジョニングSIPイベント名

説明	SIPサーバーから本機に送信される「Event」ヘッダーの値を指定します。これにより、本機はプロビジョニングサーバー上の設定ファイルにアクセスします。 **お知らせ** • SIPサーバーからの指示によりプロビジョニングサーバー上の設定ファイルを取得する際に、本機は再起動します。
設定値	最大15文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。
初期値	check-sync
設定ファイルプログラミングによる設定	CFG_RESYNC_FROM_SIP（☞ 146 ページ）

4.8.3 設定値の初期化

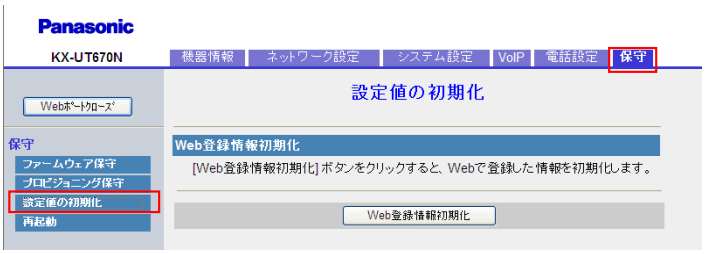
この画面では、**[Web登録情報初期化]** をクリックすることにより、Webプログラミングで行った変更内容を初期値に戻します。このボタンをクリックすると、設定の初期化を確認するダイアログボックスが表示されます。初期化するには **[OK]**、キャンセルするには **[キャンセル]** をクリックしてください。
初期化の詳細については☞ 220 ページ

お願い

- Web登録情報初期化を実行すると、本機は自動的に再起動します。Web登録情報初期化の実行前に設定内容を保存しておくことを推奨します。

お知らせ

- 設定ファイルのプログラミングで行った設定は初期化されません。
- 本機を使用したプログラミングでのみ行った設定は初期化されません。ただし、本機を使用したプログラミングとWebプログラミングの両方で行える設定はリセットされます。
- 管理者アカウントの初期パスワードを変更した後で設定を初期化すると、次回のWebプログラミングへのアクセス時に認証ダイアログボックスが表示されます。

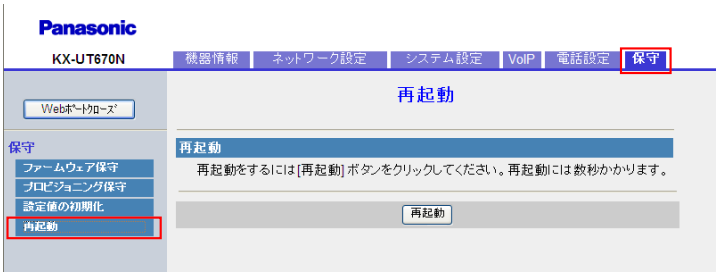


4.8.4 再起動

この画面では、**[再起動]** をクリックすると本機は再起動します。このボタンをクリックすると、本機の再起動を確認するダイアログボックスが表示されます。再起動するには **[OK]**、キャンセルするには **[キャンセル]** をクリックしてください。

お知らせ

- 本機が通話中の場合でも、本機は再起動します。



4.9 メッセージについて

現在の設定画面で設定を変更したあとに **[登録]** をクリックすると、画面の左上に下記のいずれかのメッセージが表示されます。

メッセージ	説明	該当画面
完了	本機への設定が正常に完了しました。	すべての画面
失敗 （パラメータエラー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • 一部の指定値が範囲外または無効です。	すべての画面
失敗 （メモリアクセスエラー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • データの読み取りまたは書き込み中にフラッシュメモリーへのアクセスエラーが発生しました。	すべての画面
失敗 （転送失敗）*1	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • データ送信中にネットワークエラーが発生しました。	すべての画面
失敗 （ビジー）	下記の原因によって本機への設定が失敗しました。 • 本機のフラッシュメモリーにアクセスする操作が実行中です。	すべての画面

*1 Webブラウザによっては「失敗 （転送失敗）」が表示されない場合があります。

お願い

- ブラウザの**［戻る］**ボタンを押したり、新しいウィンドウで画面を開いたりしないでください。**［登録］**をクリックしたときに、エラー（「403 Forbidden」）が表示されます。

第５章
設定ファイルのプログラミング

この章では、設定ファイルで使用できる設定パラメータについて説明します。

5.1 設定ファイルのパラメータリスト

下記の表に、設定ファイルで指定できるすべてのパラメータを示します。
それぞれのパラメータの詳細については、各参照ページをご覧ください。

システム設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
アカウント設定	**ADMIN_ID**	☞ 134 ページ
	ADMIN_PASS[*1]	☞ 134 ページ
	USER_ID	☞ 134 ページ
	USER_PASS[*1]	☞ 135 ページ
時刻設定	**TIME_ZONE_COUNTRY**	☞ 135 ページ
Syslog設定	**SYSLOG_ADDR**	☞ 138 ページ
	SYSLOG_PORT	☞ 138 ページ
ファームウェアアップデート設定	**FIRM_UPGRADE_ENABLE**[*1]	☞ 138 ページ
	FIRM_VERSION	☞ 138 ページ
	FIRM_FILE_PATH[*1]	☞ 139 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
プロビジョニング設定	OPTION66_ENABLE	☞ 140 ページ
	PROVISION_ENABLE*1	☞ 140 ページ
	CFG_STANDARD_FILE_PATH*1	☞ 140 ページ
	CFG_PRODUCT_FILE_PATH*1	☞ 141 ページ
	CFG_MASTER_FILE_PATH*1	☞ 142 ページ
	CFG_FILE_KEY1	☞ 143 ページ
	CFG_FILE_KEY2	☞ 144 ページ
	CFG_FILE_KEY3	☞ 144 ページ
	CFG_FILE_KEY_LENGTH	☞ 144 ページ
	CFG_CYCLIC*1	☞ 145 ページ
	CFG_CYCLIC_INTVL*1	☞ 145 ページ
	CFG_RTRY_INTVL	☞ 145 ページ
	CFG_RESYNC_TIME	☞ 146 ページ
	CFG_RESYNC_FROM_SIP*1	☞ 146 ページ

*1 この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

ネットワーク設定

カテゴリー	パラメータ例	参照ページ
イーサーポート設定	VLAN_ENABLE*1	☞ 146 ページ
	VLAN_ID_IP_PHONE*1	☞ 147 ページ
	VLAN_PRI_IP_PHONE*1	☞ 147 ページ
	VLAN_ID_PC*2	☞ 148 ページ
	VLAN_PRI_PC*2	☞ 148 ページ

カテゴリー	パラメータ例	参照ページ
HTTP設定	HTTPD_PORTOPEN_AUTO	☞ 148 ページ
	HTTP_VER*2	☞ 149 ページ
	HTTP_USER_AGENT*2	☞ 149 ページ
	HTTP_SSL_VERIFY	☞ 150 ページ
	CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH	☞ 150 ページ
時刻同期設定	NTP_ADDR	☞ 151 ページ
	TIME_SYNC_INTVL	☞ 151 ページ
	TIME_QUERY_INTVL	☞ 152 ページ
STUN設定	STUN_SERV_ADDR*2	☞ 152 ページ
	STUN_SERV_PORT*2	☞ 152 ページ
	STUN_2NDSERV_ADDR	☞ 153 ページ
	STUN_2NDSERV_PORT	☞ 153 ページ
各種ネットワーク設定	NW_SETTING_ENABLE	☞ 153 ページ
	CUSTOM_WEB_PAGE	☞ 153 ページ

*1 この設定は、他のプログラミング方法（本機を使用したプログラミングまたはWebプログラミング）でも行うことができます。
*2 この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

電話設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
呼制御設定	VM_SUBSCRIBE_ENABLE*1	☞ 154 ページ
	FIRSTDIGIT_TIM	☞ 154 ページ
	INTDIGIT_TIM*1	☞ 154 ページ
	MACRODIGIT_TIM*1	☞ 155 ページ
	INTERNATIONAL_ACCESS_CODE*1	☞ 155 ページ
	COUNTRY_CALLING_CODE*1	☞ 155 ページ
	NATIONAL_ACCESS_CODE*1	☞ 155 ページ
	DEFAULT_LINE_SELECT*1	☞ 156 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	DATA_LINE_MODE	☞ 156 ページ
	NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT*1	☞ 156 ページ
	TALK_PACKAGE	☞ 156 ページ
	HOLD_PACKAGE	☞ 157 ページ
	HOLD_RECALL_TIM	☞ 157 ページ
	AUTO_ANS_RING_TIM	☞ 157 ページ
	RINGING_OFF_SETTING_ENABLE	☞ 158 ページ
	AUTO_CALL_HOLD	☞ 158 ページ
	REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE	☞ 158 ページ
	ONHOOK_TRANSFER_ENABLE	☞ 158 ページ
	DISCONNECTION_MODE	☞ 159 ページ
	TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET	☞ 159 ページ
	TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE	☞ 159 ページ
	KEY_PAD_TONE	☞ 159 ページ
音質設定	DIAL_TONE1_FRQ*1	☞ 160 ページ
	DIAL_TONE1_GAIN	☞ 160 ページ
	DIAL_TONE1_TIMING*1	☞ 160 ページ
	DIAL_TONE2_FRQ	☞ 160 ページ
	DIAL_TONE2_GAIN	☞ 161 ページ
	DIAL_TONE2_TIMING	☞ 161 ページ
	DIAL_TONE4_FRQ*1	☞ 161 ページ
	DIAL_TONE4_GAIN	☞ 161 ページ
	DIAL_TONE4_TIMING*1	☞ 162 ページ
	BUSY_TONE_FRQ*1	☞ 162 ページ
	BUSY_TONE_GAIN	☞ 162 ページ
	BUSY_TONE_TIMING*1	☞ 162 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	REORDER_TONE_FRQ*1	☞ 163 ページ
	REORDER_TONE_GAIN	☞ 163 ページ
	REORDER_TONE_TIMING*1	☞ 163 ページ
	RINGBACK_TONE_FRQ*1	☞ 164 ページ
	RINGBACK_TONE_GAIN	☞ 164 ページ
	RINGBACK_TONE_TIMING*1	☞ 164 ページ
	HOLD_ALARM_FRQ	☞ 164 ページ
	HOLD_ALARM_GAIN	☞ 165 ページ
	HOLD_ALARM_TIMING	☞ 165 ページ
	CW_TONE1_FRQ	☞ 165 ページ
	CW_TONE1_GAIN	☞ 165 ページ
	CW_TONE1_TIMING	☞ 165 ページ
	HOLD_TONE_FRQ	☞ 166 ページ
	HOLD_TONE_GAIN	☞ 166 ページ
	HOLD_TONE_TIMING	☞ 166 ページ
電話設定	DISPLAY_NAME_REPLACE	☞ 166 ページ
	NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT*1	☞ 167 ページ
	NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT*1	☞ 167 ページ
	DISPLAY_DATE_PATTERN	☞ 167 ページ
	DISPLAY_TIME_PATTERN	☞ 167 ページ
	DEFAULT_LANGUAGE	☞ 168 ページ
	POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE	☞ 168 ページ
フレキシブルキー設定	FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx	☞ 169 ページ
	FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx	☞ 169 ページ
	FLEX_BUTTON_LABELx	☞ 169 ページ

*1 この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

VoIP設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
コーデック設定	CODEC_G711_REQ	☞ 170 ページ
	CODEC_G729_PARAM	☞ 170 ページ
	CODEC_ENABLEx_n*1	☞ 170 ページ
	CODEC_PRIORITYx_n*1	☞ 171 ページ
RTP設定	DSCP_RTP_n*1	☞ 172 ページ
	RTCP_INTVL_n*1	☞ 172 ページ
	MAX_DELAY_n*1	☞ 172 ページ
	MIN_DELAY_n*1	☞ 173 ページ
	NOM_DELAY_n*1	☞ 173 ページ
	RTP_PORT_MIN*1	☞ 174 ページ
	RTP_PORT_MAX*1	☞ 174 ページ
	RTP_PTIME*1	☞ 175 ページ
	RTCP_ENABLE_n*1	☞ 175 ページ
	RTCP_SEND_BY_SDP_n	☞ 175 ページ
	RTP_CLOSE_ENABLE_n	☞ 176 ページ
各種VoIP設定	OUTBANDDTMF_n*1	☞ 176 ページ
	TELEVENT_PAYLOAD*1	☞ 177 ページ
	RFC2543_HOLD_ENABLE_n*1	☞ 177 ページ
	DTMF_SIGNAL_LEN	☞ 177 ページ
	DTMF_INTDIGIT_TIM	☞ 178 ページ

*1　この設定は、Webプログラミングでも行うことができます。

回線設定

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
呼制御設定	DISPLAY_NAME_n*1	☞ 178 ページ
	VM_NUMBER_n*1	☞ 178 ページ
	DIAL_PLAN_n*1	☞ 179 ページ
	DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n*1	☞ 179 ページ
	RESOURCELIST_URI_n*1	☞ 179 ページ
	CW_ENABLE_n	☞ 180 ページ
	FLASH_RECALL_TERMINATE*1	☞ 180 ページ
	FLASHHOOK_CONTENT_TYPE*1	☞ 180 ページ
	HOLD_SOUND_PATH_n	☞ 181 ページ
SIP設定	SIP_USER_AGENT	☞ 181 ページ
	PHONE_NUMBER_n*1	☞ 182 ページ
	SIP_URI_n*1	☞ 182 ページ
	LINE_ENABLE_n	☞ 183 ページ
	PROFILE_ENABLEn	☞ 183 ページ
	SIP_AUTHID_n*1	☞ 184 ページ
	SIP_PASS_n*1	☞ 184 ページ
	SIP_SRC_PORT_n*1	☞ 184 ページ
	SIP_PRXY_ADDR_n*1	☞ 184 ページ
	SIP_PRXY_PORT_n*1	☞ 185 ページ
	SIP_RGSTR_ADDR_n*1	☞ 185 ページ
	SIP_RGSTR_PORT_n*1	☞ 185 ページ
	SIP_SVCDOMAIN_n*1	☞ 186 ページ
	REG_EXPIRE_TIME_n	☞ 186 ページ
	REG_INTERVAL_RATE_n	☞ 186 ページ
	SIP_SESSION_TIME_n*1	☞ 186 ページ
	SIP_SESSION_METHOD_n	☞ 187 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	DSCP_SIP_n[*1]	☞ 187 ページ
	SIP_2NDPROXY_ADDR_n	☞ 187 ページ
	SIP_2NDPROXY_PORT_n	☞ 188 ページ
	SIP_2NDRGSTR_ADDR_n	☞ 188 ページ
	SIP_2NDRGSTR_PORT_n	☞ 188 ページ
	SIP_TIMER_T1_n[*1]	☞ 188 ページ
	SIP_TIMER_T2_n[*1]	☞ 189 ページ
	SIP_TIMER_T4_n	☞ 189 ページ
	SIP_FOVR_NORSP_n	☞ 189 ページ
	SIP_FOVR_MAX_n	☞ 190 ページ
	SIP_REFRESHER_n	☞ 190 ページ
	SIP_DNSSRV_ENA_n[*1]	☞ 190 ページ
	SIP_UDP_SRV_PREFIX_n[*1]	☞ 191 ページ
	SIP_TCP_SRV_PREFIX_n[*1]	☞ 191 ページ
	SIP_100REL_ENABLE_n[*1]	☞ 192 ページ
	SIP_INVITE_EXPIRE_n	☞ 192 ページ
	SIP_18X_RTX_INTVL_n	☞ 193 ページ
	SIP_PRSNC_ADDR_n[*1]	☞ 193 ページ
	SIP_PRSNC_PORT_n[*1]	☞ 193 ページ
	SIP_2NDPRSNC_ADDR_n	☞ 193 ページ
	SIP_2NDPRSNC_PORT_n	☞ 194 ページ
	USE_DEL_REG_OPEN_n	☞ 194 ページ
	PORT_PUNCH_INTVL_n[*1]	☞ 194 ページ
	SIP_ADD_RPORT_n[*1]	☞ 195 ページ
	SIP_REQURI_PORT_n	☞ 195 ページ
	SIP_SUBS_EXPIRE_n	☞ 196 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	SUB_RTX_INTVL_n	☞ 196 ページ
	REG_RTX_INTVL_n	☞ 197 ページ
	SIP_P_PREFERRED_ID_n	☞ 197 ページ
	SIP_PRIVACY_n	☞ 197 ページ
	ADD_USER_PHONE_n	☞ 197 ページ
	SDP_USER_ID_n	☞ 198 ページ
	SUB_INTERVAL_RATE_n	☞ 198 ページ
	SIP_OUTPROXY_ADDR_n[*1]	☞ 198 ページ
	SIP_OUTPROXY_PORT_n[*1]	☞ 199 ページ
	SIP_TRANSPORT_n[*1]	☞ 199 ページ
	SIP_ANM_DISPNAME_n	☞ 199 ページ
	SIP_ANM_USERNAME_n	☞ 200 ページ
	SIP_ANM_HOSTNAME_n	☞ 200 ページ
	SIP_DETECT_SSAF_n[*1]	☞ 200 ページ
	SIP_RCV_DET_HEADER_n	☞ 201 ページ
	SIP_CONTACT_ON_ACK_n	☞ 201 ページ
	SIP_TIMER_B_n[*1]	☞ 202 ページ
	SIP_TIMER_D_n[*1]	☞ 202 ページ
	SIP_TIMER_F_n[*1]	☞ 202 ページ
	SIP_TIMER_H_n[*1]	☞ 203 ページ
	SIP_TIMER_J_n[*1]	☞ 203 ページ
	ADD_TRANSPORT_UDP_n	☞ 203 ページ
	ADD_EXPIRES_HEADER_n	☞ 203 ページ
	SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n	☞ 204 ページ
	SIP_ADD_DIVERSION_n	☞ 204 ページ
	SIP_RESPONSE_CODE_DND	☞ 204 ページ

カテゴリー	パラメータ名	参照ページ
	SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT	☞ 205 ページ

*1 これらの設定はWebプログラミングからも行うことができます。

5.2 設定ファイルの概要

5.2.1 設定ファイルの仕様

設定ファイルの仕様は以下のとおりです。

ファイル形式

設定ファイルはプレーンテキスト形式（UTF-8）です。

ファイルサイズ

設定ファイルのサイズは最大120 KBです。複数の設定ファイルを使用する場合は合計で120 KB以下にしてください。

設定ファイルのフォーマット

設定ファイルの各行には、下記の条件があります。

- それぞれの行は「<CR><LF>」で終わる必要があります。
- 1行の長さは「<CR><LF>」を含め最大で537バイトです。
- 以下の行は無視されます。
  - 上限の537バイトを超える行
  - 空白行
  - コメント行（「**#**」で始まる行）
- 設定ファイルの最初の行は、以下の指定文字列（44バイト）で始まるコメント行にする必要があります。
  # Panasonic SIP Phone Standard Format File #
  この文字列を16進数で記述すると以下のようになります。
  23 20 50 61 6E 61 73 6F 6E 69 63 20 53 49 50 20
  50 68 6F 6E 65 20 53 74 61 6E 64 61 72 64 20 46
  6F 72 6D 61 74 20 46 69 6C 65 20 23
- この指定文字列が誤って変更されないように、設定ファイルを以下のコメント行で始めることを推奨します。
  # Panasonic SIP Phone Standard Format File # DO NOT CHANGE THIS LINE!
- 設定ファイルの最後の行は空白行にする必要があります。
- パラメータ行はそれぞれXXX="yyy"という形式で書き込みます（XXX：パラメータ名、yyy：パラメータ値）。値は二重引用符（"）で囲む必要があります。
- 1つのパラメータ行を複数の行に分けて書き込むことはできません。設定ファイルの解析でエラーとなり、プロビジョニングが失敗します。

設定パラメータ

- 本機が対応している電話回線数は6回線です。一部のパラメータ値は回線ごとに指定する必要があります。回線1のパラメータを指定するには、パラメータ名のあとに「_1」、回線2のパラメータを指定するには「_2」、というように、接尾辞を付け加えて指定します。
  ボイスメールサーバーにアクセスする電話回線（電話番号）を設定する場合：
  「VM_NUMBER_1」：回線1用
  「VM_NUMBER_2」：回線2用…
  「VM_NUMBER_6」：回線6用
- パラメータ名の長さは最大で32文字です。
- パラメータ値の長さは二重引用符を除いて最大で500文字です。
- 行の中で空白文字を使うことはできません。ただし、値に空白文字が含まれる場合は例外です。
  例：
  DISPLAY_NAME_1="John Smith"（有効）
  DISPLAY_NAME_1 = "John Smith"（無効）
- 一部のパラメータ値では、「**""**」を指定して空のパラメータ値を設定できます。
  例：
  SYSLOG_ADDR=""
- パラメータには順序はありません。
- 設定ファイル内で同じパラメータを2回以上指定した場合、最初の値が使用されます。
- ユーザーが指定可能なすべての設定は、設定ファイルで指定することができます。すでに適切な値になっているパラメータについては、設定する必要はありません。必要な場合のみパラメータを変更してください。

5.2.2 設定ファイルのパラメータ

5.4 システム設定以降の表で、設定ファイルに書き込める各パラメータについて説明します。表では、それぞれのパラメータのパラメータ名（表のタイトル）、値の形式、説明、指定できる値の範囲、初期値、Webプログラミングの参照情報を示します。

パラメータ名

システムであらかじめ決まっているパラメータ名です。この名前は変更できません。

お知らせ

- 特定のパラメータ名は、最後に「_n」が付きます。これは、回線ごとに指定可能なことを示します。本機が対応している電話回線数は6回線です。

設定値の形式

パラメータ値は整数型、ブーリアン型、またはテキスト型のいずれかになります。一部のパラメータでは、複合形式の値（「カンマ区切りの整数」や「カンマ区切りの文字列」など）になります。

- **整数型**：数値。数字の文字列を使って記述します。前に「-」（マイナス）を付けることもできます。空の文字列は使用できません。
- **ブーリアン型**："**Y**"または"**N**"
- **テキスト型**：英数字の文字列
  （使用できる文字の詳細については☞ 131 ページ）
- **カンマ区切りの整数**：カンマ区切りの複数の整数

空白文字は使用できません。

- **カンマ区切りの文字列**：カンマ区切りの複数の文字列
  空白文字は使用できません。

説明
パラメータの詳しい説明です。

設定値
パラメータで許可されている値の範囲です。

初期値
パラメータの初期値（工場出荷値）です。

本機を使用したプログラミングによる設定
本機を使用したプログラミングで該当するパラメータの参照ページです。

Webプログラミングによる設定
Webプログラミングで該当するパラメータの参照ページです。

5.2.3 テキスト型に使用できる文字

「設定値」に条件についての記載がない限り、パラメータ値にはASCII文字のみを使用できます。一部のパラメータ値にはUnicode文字も使用できます。
下記の表に、使用できるASCII文字を示します。背景が白い箇所の文字を使用できます。

	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	0A	0B	0C	0D	0E	0F
20	SP	!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
40	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	\	]	^	_
60	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	~	

5.3 設定ファイルの例

5.3.1 コーデック設定の例

コーデック優先度を（1）G.729A、（2）PCMU、（3）G.722に設定する場合

```
## Codec Settings
# Enable G722
```

```
CODEC_ENABLE0_1="Y"
CODEC_PRIORITY0_1="3"
# Disable PCMA
CODEC_ENABLE1_1="N"
# Enable G729A
CODEC_ENABLE3_1="Y"
CODEC_PRIORITY3_1="1"
# Enable PCMU
CODEC_ENABLE4_1="Y"
CODEC_PRIORITY4_1="2"
```

ナローバンドコーデック（PCMA、またはG.729A）を設定する場合

```
## Codec Settings
# Disable G722
CODEC_ENABLE0_1="N"
# Enable PCMA
CODEC_ENABLE1_1="Y"
CODEC_PRIORITY1_1="1"
# Enable G729A
CODEC_ENABLE3_1="Y"
CODEC_PRIORITY3_1="1"
# Disable PCMU
CODEC_ENABLE4_1="N"
```

G.729Aコーデックのみを設定する場合

```
## Codec Settings
# Disable G722
CODEC_ENABLE0_1="N"
# Disable PCMA
CODEC_ENABLE1_1="N"
# Enable G729A
CODEC_ENABLE3_1="Y"
CODEC_PRIORITY3_1="1"
# Disable PCMU
CODEC_ENABLE4_1="N"
# Do not set PCMU
CODEC_G711_REQ="0"
```

5.3.2 誤った記述の例

次に、誤った記述を含む設定ファイルの例を示します。

❶ 先頭行の記述に誤りがあります。設定ファイルは、先頭に「**# Panasonic SIP Phone Standard Format File #**」という文字列が必要です。

❷ コメント行が行の途中から始まっています。

❸ 設定行内に空白文字が挿入されています。

❹ 設定可能な範囲内で値が指定されていません。

誤った設定ファイルの例

```
# This is a simplified sample configuration file. ―❶

##################################################################
# Configuration Setting #
##################################################################

CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://config.example.com/0123456789AB.cfg"
                                          # URL of this configuration file

##################################################################
# SIP Settings #
# Suffix "_1" indicates this parameter is for "line 1". #
##################################################################

SIP_RGSTR_ADDR_1="registrar.example.com" # IP Address or FQDN of SIP registrar server ―❷
SIP_PRXY_ADDR_1="proxy.example.com"      # IP Address or FQDN of proxy server

# Enables DNS SRV lookup
SIP_DNSSRV_ENA_1="Y"

# ID, password for SIP authentication
SIP_AUTHID_1 = "SIP_User"
SIP_PASS_1 = "SIP_Password"                                    ―❸

# Some Timer Settings #
# Expiration time of SIP registration; "1 hour"
REG_EXPIRE_TIME_1="3600"
# Disables SIP Session Timer (RFC 4028)
SIP_SESSION_TIME_1="0"


# DTMF will be sent through SDP, according to RFC 2833
OUTBANDDTMF_1="Y"

##################################################################
# Call Control Settings #
##################################################################

# Enables subscription to the Voice Mail server
VM_SUBSCRIBE_ENABLE="Y"
                    ―❹
```

5.4 システム設定

5.4.1 アカウント設定

ADMIN_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	管理者アカウントでWebプログラミングにアクセスする際に使用するアカウントIDを指定します。
設定値	最大16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く） **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。
初期値	admin

ADMIN_PASS

設定値の形式	テキスト型
説明	管理者アカウントでWebプログラミングにアクセスする際に使用するパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	adminpass
Webプログラミングによる設定	• 現在のパスワード（☞ 76 ページ） • 新しいパスワード（☞ 76 ページ） • パスワード確認（☞ 77 ページ）

USER_ID

設定値の形式	テキスト型
説明	ユーザーアカウントでWebプログラミングにアクセスする際に使用するアカウントIDを指定します。
設定値	最大16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く） **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。
初期値	user

USER_PASS

設定値の形式	テキスト型
説明	ユーザーアカウントでWebプログラミングにアクセスする際に使用するパスワードを指定します。
設定値	6～16文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列（Webプログラミングへの初回アクセス時まで有効）
Webプログラミングによる設定	• 現在のパスワード（☞ 77 ページ） • 新しいパスワード（☞ 78 ページ） • パスワード確認（☞ 78 ページ）

5.4.2 時刻設定

TIME_ZONE_COUNTRY

設定値の形式	整数型
説明	UTC（GMT）からのローカル標準時のオフセットを分単位で指定します。 **お知らせ** • 本機を使用したプログラミングにより本設定を指定した場合は、設定ファイルによる設定は無視されます。

設定値	-110001-130001 **お知らせ** • 以下に示す値のみを指定できます。 -110001（ミッドウェー [GMT-11:00]）、 -100001（ホノルル [GMT-10:00]）、 -90001（ガンビア [GMT-9:00]）、 -90002（アンカレッジ [GMT-9:00]）、 -80001（アメリカ太平洋時間 (ティフアナ) [GMT-8:00]）、 -80002（アメリカ太平洋時間 (ロサンゼルス) [GMT-8:00]）、 -70001（チワワ [GMT-7:00]）、 -70002（アメリカ山地時間 (デンバー) [GMT-7:00]）、 -70003（アメリカ山地時間 (フェニックス) [GMT-7:00]）、 -60001（アメリカ中部時間 (レジャイナ) [GMT-6:00]）、 -60002（アメリカ中部時間 (メキシコシティー) [GMT-6:00]）、 -60003（アメリカ中部時間 (シカゴ) [GMT-6:00]）、 -60004（アメリカ中部時間 (コスタリカ共和国) [GMT-6:00]）、 -50001（アメリカ東部時間 (ニューヨーク) [GMT-5:00]） -50002（ボゴタ [GMT-5:00]）、 -45001（カラカス [GMT-4:30]）、 -40001（アメリカ/サンチアゴ [GMT-4:00]）、 -40002（アマゾン時間 (マナウス) [GMT-4:00]）、 -40003（大西洋時間 (バルバドス) [GMT-4:00]）、 -35001（ニューファンドランド島標準時 (セントジョンズ) [GMT-3:30]）、 -30001（モンテビデオ [GMT-3:00]）、 -30002（アメリカ/ゴッドホープ [GMT-3:00]）、 -30003（アルゼンチン時間 (ブエノスアイレス) [GMT-3:00]）、 -30004（ブラジリア時間 (サンパウロ) [GMT-3:00]）、 -20001（南ジョージア島 [GMT-2:00]）、 -10001（アゾレス諸島 [GMT-1:00]）、 -10002（カボベルデ共和国 [GMT-1:00]）、 1（カサブランカ [GMT+0:00]）、 2（グリニッジ標準時 (ヨーロッパ/ロンドン) [GMT+0:00]）、 10001（中欧標準時 (アムステルダム) [GMT+1:00]）、 10002（中欧標準時 (Belgrade) [GMT+1:00]）、 10003（中欧標準時 (ブリュッセル) [GMT+1:00]）、 10004（中欧標準時 (Sarajevo) [GMT+1:00]）、 10005（西アフリカ時間 (ブラザビル) [GMT+1:00]）、 10006（ビントフック [GMT+1:00]）、 20001（東欧標準時 (アンマン) [GMT+2:00]）、 20002（東欧標準時 (アテネ) [GMT+2:00]）、 20003（東欧標準時 (ベイルート) [GMT+2:00]）、 20004（東欧標準時 (カイロ) [GMT+2:00]）、 20005（東欧標準時 (ヘルシンキ) [GMT+2:00]）、

	20006（イスラエル標準時 (エルサレム) [GMT+2:00]）、 20007（中央アフリカ時間 (ハラーレ) [GMT+2:00]）、 20008（ミンスク [GMT+2:00]）、 30001（バグダッド [GMT+3:00]）、 30002（モスクワ [GMT+3:00]）、 30003（クウェート国 [GMT+3:00]）、 30004（東アフリカ時間 (ナイロビ) [GMT+3:00]）、 35001（テヘラン [GMT+3:30]）、 40001（バクー [GMT+4:00]）、 40002（トビリシ [GMT+4:00]）、 40003（エレバン [GMT+4:00]）、 40004（ドバイ [GMT+4:00]）、 45001（カブール [GMT+4:30]）、 50001（カラチ [GMT+5:00]）、 50002（オラル [GMT+5:00]）、 50003（エカテリンブルグ [GMT+5:00]）、 55001（Calcutta [GMT+5:30]）、 55002（コロンボ [GMT+5:30]）、 57501（カトマンズ [GMT+5:45]）、 60001（アルマトイ [GMT+6:00]）、 65001（ラングーン [GMT+6:30]）、 70001（クラスノヤルスク [GMT+7:00]）、 70002（バンコク [GMT+7:00]）、 80001（アジア/クアラルンプール [GMT+8:00]）、 80002（中国標準時 (北京) [GMT+8:00]）、 80003（イルクーツク [GMT+8:00]）、 80004（香港 [GMT+8:00]）、 80005（バース [GMT+8:00]）、 80006（台北 [GMT+8:00]）、 90001（日本標準時 (東京) [GMT+9:00]）、 90002（ソウル [GMT+9:00]）、 90003（ヤクーツク [GMT+9:00]）、 95001（ダーウィン [GMT+9:30]）、 95002（アデレード [GMT+9:30]）、 100001（ブリズベン [GMT+10:00]）、 100002（ウラジオストク [GMT+10:00]）、 100003（グアム [GMT+10:00]）、 100004（シドニー [GMT+10:00]）、 100005（ホバート [GMT+10:00]）、 110001（マガダン [GMT+11:00]）、 120001（マジュロ [GMT+12:00]）、 120002（フィジー共和国 [GMT+12:00]）、 120003（太平洋/オークランド [GMT+12:00]）、 130001（トンガタプ [GMT+13:00]）
初期値	1 (カサブランカ [GMT+0:00])

5.4.3 Syslog設定

SYSLOG_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	syslogサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列

SYSLOG_PORT

設定値の形式	整数型
説明	syslogサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	514

5.4.4 ファームウェアアップデート設定

FIRM_UPGRADE_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機が新しいバージョンのファームウェアを検出したときにファームウェアのアップデートを実行するかどうか指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。 • この設定内容にかかわらず、SDカードでファームウェアのアップデートを実行することができます（☞ 218 ページ）。
設定値	• **Y**（ファームウェアのアップデートを有効にします） • **N**（ファームウェアのアップデートを無効にします）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	自動バージョンアップ（☞ 112 ページ）

FIRM_VERSION

設定値の形式	テキスト型

説明	本機のファームウェアバージョンを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	00.000～15.999
初期値	空の文字列

FIRM_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	ファームウェアファイルが置いてあるURLを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**FIRM_UPGRADE_ENABLE**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。 • この設定を変更する場合、本機の再起動が必要となることがあります。
設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <schema>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<schema>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、「**FIRM_VERSION**」に置き換えられます。このルールは「**SIP_USER_AGENT**」など他のパラメータと異なることに注意してください。
初期値	空の文字列

Webプログラミングによる設定	ファームウェアファイルURL（☞ 113 ページ）

5.4.5 プロビジョニング設定

OPTION66_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機がDHCPサーバーからTFTPサーバーのアドレスまたはFQDNを取得するためにオプション66を使用するかどうかを指定します。 **お知らせ** • 本機は、オプション66で指定したTFTPサーバー（IPアドレス、またはFQDN）から設定ファイルのダウンロードを行います。
設定値	• **Y**（オプション66を有効にします） • **N**（オプション66を無効にします）
初期値	**Y**

PROVISION_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	指定されているURLから設定ファイルをダウンロードして本機に設定するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（設定ファイルのダウンロードを有効にします） • **N**（設定ファイルのダウンロードを無効にします）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	プロビジョニング（☞ 113 ページ）

CFG_STANDARD_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	スタンダードファイルのURLを指定します。電話機ごとに異なる設定を行うような場合に使用します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合は、同時に「**PROVISION_ENABLE**」を「**Y**」に設定してください。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <schema>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<schema>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。 • URLが「/」（スラッシュ）で終わっている場合、URLの最後に「Config{mac}.cfg」が自動的に追加されます。 たとえば、**CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://host/dir/"**は**CFG_STANDARD_FILE_PATH="http://host/dir/Config{mac}.cfg"**になります。
初期値	http://provisioning.e-connecting.net/redirect/conf/{mac}.cfg
Webプログラミングによる設定	スタンダードファイルURL（☞ 114 ページ）

CFG_PRODUCT_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	同じ機種の電話機に同一の設定をする場合に使用するプロダクトファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合、同時に「**PROVISION_ENABLE**」を「**Y**」に設定してください。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <schema>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<schema>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。 • URLが「/」（スラッシュ）で終わっている場合、URLの最後に「{MODEL}.cfg」が自動的に追加されます。 たとえば、**CFG_PRODUCT_FILE_PATH="http://host/dir/"**は**CFG_PRODUCT_FILE_PATH="http://host/dir/{MODEL}.cfg"**になります。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	プロダクトファイルURL（☞ 114 ページ）

CFG_MASTER_FILE_PATH

設定値の形式	テキスト型
説明	すべての電話機で同じ設定が必要な場合に使用されるマスターファイルのURLを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更する場合、同時に「**PROVISION_ENABLE**」を「**Y**」に設定してください。

設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <schema>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<schema>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。 • このURLに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このURLに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このURLに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。 • URLが「/」（スラッシュ）で終わっている場合、URLの最後に「sip.cfg」が自動的に追加されます。 たとえば、**CFG_MASTER_FILE_PATH="http://host/dir/"**は**CFG_MASTER_FILE_PATH="http://host/dir/sip.cfg"**になります。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	マスターファイルURL（☞ 114 ページ）

CFG_FILE_KEY1

設定値の形式	テキスト型
説明	設定ファイルを復号するための暗号鍵を指定します。 **お知らせ** • この鍵は、設定ファイルの拡張子が「.e1c」の設定ファイルを復号するために使用されます。

設定値	32バイトの文字列 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合、このパラメータ値を使用した復号は無効になります。
初期値	各電話機に固有のプリセット値が設定されています。

CFG_FILE_KEY2

設定値の形式	テキスト型
説明	設定ファイルを復号するための暗号鍵を指定します。 **お知らせ** • この鍵は、設定ファイルの拡張子が「.e2c」の設定ファイルを復号するために使用されます。
設定値	32バイトの文字列 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合、このパラメータ値を使用した復号は無効になります。
初期値	空の文字列

CFG_FILE_KEY3

設定値の形式	テキスト型
説明	設定ファイルを復号するための暗号鍵を指定します。 **お知らせ** • この鍵は、設定ファイルの拡張子が「.e3c」の設定ファイルを復号するために使用されます。
設定値	32バイトの文字列 **お知らせ** • このパラメータに空の文字列を設定した場合、このパラメータ値を使用した復号は無効になります。
初期値	空の文字列

CFG_FILE_KEY_LENGTH

設定値の形式	整数型
説明	設定ファイルを復号する際に使用する鍵長をビット単位で指定します。

設定値	• 128 • 192 • 256
初期値	128

CFG_CYCLIC

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機が設定ファイルの更新を定期的に確認するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（設定ファイルの定期的な同期を有効にします） • **N**（設定ファイルの定期的な同期を無効にします）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	定期プロビジョニング（☞ 115 ページ）

CFG_CYCLIC_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	設定ファイルの更新を定期的に確認する間隔を分単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**CFG_CYCLIC**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	1～40320
初期値	10080
Webプログラミングによる設定	定期プロビジョニング間隔（☞ 115 ページ）

CFG_RTRY_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	設定ファイルの更新を定期的に確認する際にエラーが発生した場合、再び確認するまでの間隔を分単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**CFG_CYCLIC**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	1～1440
初期値	30

CFG_RESYNC_TIME

設定値の形式	テキスト型
説明	本機が設定ファイルの更新を確認するUTC時刻（時間:分）を指定します。
設定値	00:00～23:59 **お知らせ** • この設定に有効な時刻を設定した場合、本機は指定時刻に設定ファイルをダウンロードします。「**CFG_CYCLIC**」、「**CFG_CYCLIC_INTVL**」および「**CFG_RTRY_INTVL**」の設定は無効になります。 • この設定値が空の文字列の場合、設定ファイルはダウンロードされません。
初期値	空の文字列

CFG_RESYNC_FROM_SIP

設定値の形式	テキスト型
説明	SIPサーバーから本機に送信される「Event」ヘッダーの値を指定します。「Event」ヘッダーが、設定した値と同じNOTIFYを受信すると、本機はプロビジョニングサーバー上の設定ファイルにアクセスします。 **お知らせ** • SIPサーバーからの指示によりプロビジョニングサーバー上の設定ファイルを取得する際に、本機は再起動します。
設定値	最大15文字 **お知らせ** • 空の文字列は設定できません。
初期値	check-sync
Webプログラミングによる設定	プロビジョニングSIPイベント名（☞ 115 ページ）

5.5 ネットワーク設定

5.5.1 イーサポート設定

VLAN_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型

説明	VLAN機能を使ってVoIP通信を行うかどうかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • 本機を使用したプログラミングにより本設定を指定した場合は、設定ファイルによる設定は無視されます。
設定値	• **Y**（有効） • **N**（無効）
初期値	**N**
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
Webプログラミングによる設定	VLAN（☞ 67 ページ）

VLAN_ID_IP_PHONE

設定値の形式	整数型
説明	本機のVLAN IDを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • 本機を使用したプログラミングにより本設定を指定した場合は、設定ファイルによる設定は無視されます。
設定値	1～4094
初期値	2
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
Webプログラミングによる設定	IP電話 (VLAN ID)（☞ 67 ページ）

VLAN_PRI_IP_PHONE

設定値の形式	整数型
説明	本機の優先度を示す数値を指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • 本機を使用したプログラミングにより本設定を指定した場合は、設定ファイルによる設定は無視されます。

設定値	0～7
初期値	7
本機を使用したプログラミングによる設定	イーサネットポート設定（☞ 19 ページ）
Webプログラミングによる設定	IP電話 (優先度)（☞ 68 ページ）

VLAN_ID_PC

設定値の形式	整数型
説明	PCポートのVLAN IDを指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • 本機を使用したプログラミングにより本設定を指定した場合は、設定ファイルによる設定は無視されます。
設定値	1～4094
初期値	1
Webプログラミングによる設定	PC（VLAN ID）（☞ 68 ページ）

VLAN_PRI_PC

設定値の形式	整数型
説明	PCポートの優先度を示す数値を指定します。 **お知らせ** • このパラメータの設定は、「**NW_SETTING_ENABLE**」が「**N**」に設定されている場合のみ行うことができます。 • 本機を使用したプログラミングにより本設定を指定した場合は、設定ファイルによる設定は無視されます。
設定値	0～7
初期値	0
Webプログラミングによる設定	PC（優先度）（☞ 68 ページ）

5.5.2 HTTP設定

HTTPD_PORTOPEN_AUTO

設定値の形式	ブーリアン型

説明	本機のWebポートを常に開いた状態にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（Webポートを常に開きます） • **N**（Webポートを閉じます。本機を使用したプログラミングにより、一時的に開くことは可能です） **お願い** • 「**Y**」に設定する場合は、Webプログラミングからの不正アクセスが発生する可能性があることを理解した上で設定を行ってください。さらに、外部ネットワークへの接続やWebプログラミングへのログインで使用されるすべてのパスワードを対象に、完全なセキュリティ措置を講じてください。
初期値	**N**

HTTP_VER

設定値の形式	整数型
説明	HTTP通信で使用するHTTPプロトコルのバージョンを指定します。
設定値	• 1（HTTP 1.0を使用します） • 0（HTTP 1.1を使用します） **お知らせ** • 「1」を指定することを奨励します。HTTP 1.0を使用するとHTTPサーバーの稼働に問題がある場合は、「0」を指定してください。
初期値	1
Webプログラミングによる設定	HTTP バージョン（☞ 69 ページ）

HTTP_USER_AGENT

設定値の形式	テキスト型
説明	HTTPリクエストのヘッダーでユーザーエージェントとして送信する文字列を指定します。

設定値	最大40文字 **お知らせ** • このフィールドには値の入力が必要です。 • このパラメータに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このパラメータに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver} ({mac})
Webプログラミングによる設定	HTTPユーザーエージェント（☞ 69 ページ）

HTTP_SSL_VERIFY

設定値の形式	整数型
説明	ルート証明書の検証を行うかどうかを指定します。
設定値	• 0（ルート証明書の検証を行いません） • 1（ルート証明書の簡易検証を行います） • 2（ルート証明書の厳密な検証を行います） **お知らせ** • 「0」に設定すると、ルート証明書の検証は無効になります。 • 「1」に設定すると、ルート証明書の検証は有効になります。この場合の検証項目には、日付、証明書のチェーン、ルート証明書の確認が含まれます。 • 「2」に設定した場合、厳密な検証が有効になります。この場合、「1」に設定したときの検証項目に加えて、サーバー名が検証の対象になります。 • 本機が現在時刻を取得していない場合、この設定に関係なく、検証は行われません。検証を行うためには、NTPサーバーを設定しておく必要があります。
初期値	0

CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH

設定値の形式	テキスト型

説明	ルート証明書のURIを指定します。 **お知らせ** • この設定を変更すると、本機の再起動が必要になることがあります。
設定値	最大500文字 **お知らせ** • RFC 1738に準拠した以下のような形式で指定する必要があります。 <schema>://<user>:<password>@<host>:<port>/<url-path> – 「<user>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<password>」は128文字未満にする必要があります。 – 「<user>:<password>@」は必要がなければ省略できます。 – 「<schema>://」と「<host>:<port>/<url-path>」の合計を245文字未満にする必要があります。 – 「:<port>」は、ポート番号を指定する必要がない場合は省略できます。
初期値	空の文字列

5.5.3 時刻同期設定

NTP_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	NTPサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。 **お知らせ** • 本機でNTPサーバーの設定を行っている場合、この設定は無効になります。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレスまたはFQDN）
初期値	空の文字列

TIME_SYNC_INTVL

設定値の形式	整数型

説明	NTPサーバとの時刻同期に失敗した場合のリトライ間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 本機でNTPサーバーの設定を行っている場合、この設定は無効になります。
設定値	10～86400
初期値	60

TIME_QUERY_INTVL

設定値の形式	整数型
説明	NTPサーバーと同期する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 本機でNTPサーバーの設定を行っている場合、この設定は無効になります。
設定値	10～86400
初期値	43200

5.5.4 STUN設定

STUN_SERV_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	STUNサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレスまたはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	STUNサーバーアドレス（☞ 72 ページ）

STUN_SERV_PORT

設定値の形式	整数型
説明	STUNサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	3478
Webプログラミングによる設定	STUNサーバーポート（☞ 73 ページ）

STUN_2NDSERV_ADDR

設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリSTUNサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**STUN_SERV_ADDR**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ指定できます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

STUN_2NDSERV_PORT

設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSTUNサーバーのポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	3478

5.5.5 各種ネットワーク設定

NW_SETTING_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機からのネットワークとNTPサーバー設定を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • Webプログラミングでネットワーク設定とNTPサーバー設定（☞ 62 ページ）を行ったあとで、このパラメータを「**N**」に変更する場合は、WebプログラミングでWeb登録情報初期化を実行して変更内容を消去してから、「**N**」に変更してください。
設定値	• **Y**（ネットワークとNTPサーバー設定を有効にします） • **N**（ネットワークとNTPサーバー設定を無効にします）
初期値	**Y**

CUSTOM_WEB_PAGE

設定値の形式	整数型

説明	ユーザーアカウントでWebプログラミングにログインした場合に、4.4.1 ネットワーク基本設定（☞ 62 ページ）の設定を許可するかどうかを指定します。
設定値	0～1 – 0：ネットワーク基本設定を許可します – 1：ネットワーク基本設定を許可しません
初期値	0

5.6 電話設定

5.6.1 呼制御設定

VM_SUBSCRIBE_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	SUBSCRIBEリクエストをボイスメールサーバーに送信するかどうかを指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	• **Y**（SUBSCRIBEリクエストを送信します） • **N**（SUBSCRIBEリクエストを送信しません）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信（☞ 98 ページ）

FIRSTDIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	電話番号の最初の 1 桁を入力するまでの時間を秒単位で指定します。この時間を経過すると話中音が流れます。
設定値	1～600
初期値	30

INTDIGIT_TIM

設定値の形式	整数型

説明	発信操作時、次の番号を入力するまでの時間を秒単位で指定します。キー入力後、この時間が経過すると、発信します。
設定値	1～15
初期値	5
Webプログラミングによる設定	ダイヤル桁間タイマー（☞ 99 ページ）

MACRODIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	ダイアルプランの中に「T」または「t」の文字列がある場合のタイマーを秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	5
Webプログラミングによる設定	ダイヤルプランタイマー（☞ 99 ページ）

INTERNATIONAL_ACCESS_CODE

設定値の形式	テキスト型
説明	かかってきた国際電話の番号の先頭に「+」記号が入っている場合に「+」記号の箇所に表示する番号を指定します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列（「+」は削除されます）
Webプログラミングによる設定	国際番号（☞ 99 ページ）

COUNTRY_CALLING_CODE

設定値の形式	テキスト型
説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルする場合に比較目的で使用する国／地域の電話コードを指定します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	国番号（☞ 99 ページ）

NATIONAL_ACCESS_CODE

設定値の形式	文字列

説明	「+」記号が含まれる着信履歴から番号を選んでダイヤルするとき、国コードが一致した場合は国コードを削除して国内アクセスコードを追加します。
設定値	最大8文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	市内局番（☞ 100 ページ）

DEFAULT_LINE_SELECT

設定値の形式	整数型
説明	ダイヤル操作で回線が指定されていない場合に、発信に使用する回線を指定します。
設定値	1～6
初期値	1
Webプログラミングによる設定	通常使用する回線番号（☞ 100 ページ）

DATA_LINE_MODE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	データ回線モードでの送受信を有効にするかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（データ回線モードを有効にします） • **N**（データ回線モードを無効にします）
初期値	**N**

NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT

設定値の形式	テキスト型
説明	BLF（内線状態表示）ボタンとして設定している内線に着信があった場合に、その着信に代理応答するための特番を指定します。
設定値	最大4文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	内線指定代理応答（☞ 101 ページ）

TALK_PACKAGE

設定値の形式	ブーリアン型

説明	[Click to Answer] 機能と [Click to Retrieve] 機能を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • この設定が「**Y**」に設定されている場合は、Allow-Eventsヘッダーに「talk」が追加されます。
設定値	• **Y**（Talk Packageを有効にします） • **N**（Talk Packageを無効にします）
初期値	**N**

HOLD_PACKAGE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	[Click to Hold] 機能を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • この設定が「**Y**」に設定されている場合は、Allow-Eventsヘッダーに「hold」が追加されます。
設定値	• **Y**（Hold Packageを有効にします） • **N**（Hold Packageを無効にします）
初期値	**N**

HOLD_RECALL_TIM

設定値の形式	整数型
説明	保留した場合の再呼び出しまでの時間を指定します。「0」に設定するとこの機能は無効になります。
設定値	0～240（0：無効）
初期値	60

AUTO_ANS_RING_TIM

設定値の形式	整数型
説明	自動応答が設定されている場合に、着信後、自動的に通話を開始するまでの秒数を指定します。
設定値	0～15
初期値	5

RINGING_OFF_SETTING_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	着信音をオフにできるかどうかを指定します。無効にした場合、着信音をオフにできません。
設定値	• **Y**（着信音オフ設定を有効にします） • **N**（着信音オフ設定を無効にします）
初期値	**Y**

AUTO_CALL_HOLD

設定値の形式	ブーリアン型
説明	通話中にDN（内線）ボタンを押したときに通話を切断するか保留にするかを指定します。
設定値	• **Y**（通話を保留します） • **N**（通話を切断します）
初期値	**N**

REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	待機中に**［再ダイヤル］**をタップしたときに、発信履歴を表示するか再ダイヤルするかを指定します。
設定値	• **Y**（**［再ダイヤル］**をタップすると発信履歴を表示します） • **N**（**［再ダイヤル］**をタップすると最後にかけた電話番号に再ダイヤルします）
初期値	**N**

ONHOOK_TRANSFER_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	オンフック転送を許可するかどうか指定します。 **お知らせ** • 本機を使用したプログラミングで、本機を直接操作するのが困難なユーザーのためのユーザー補助を有効にした場合、この設定は無効になります。
設定値	• **Y**（オンフック転送を許可します） • **N**（オンフック転送を無効にします）

初期値	Y

DISCONNECTION_MODE

設定値の形式	整数型
説明	ダイヤルが失敗した場合に鳴らす音を規制音（ROT）または話中音（BT）に指定します。
設定値	1～2 – 1：モード1（ROT） – 2：モード2（BT）
初期値	1

TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET

設定値の形式	整数型
説明	受話器での通話が終了した後、自動的に待機状態に戻るまでの時間を秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	10

TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE

設定値の形式	整数型
説明	ハンズフリーモードでの通話が終了した後、自動的に待機状態に戻るまでの時間を秒単位で指定します。
設定値	1～15
初期値	3

KEY_PAD_TONE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	キーを押したときに音を鳴らすかどうかを選択します。 **お知らせ** • この設定はiWnn IMEキーボードでは無効になります。この設定が有効になるキーボードについては、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • 本機を使用したプログラミングによりタッチ操作音または選択時の操作音が設定されている場合は、本設定は無視されます。

設定値	• **Y**（キーパッド音を有効にします） • **N**（キーパッド音を無効にします）
初期値	**Y**

5.6.2 音質設定

DIAL_TONE1_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音1の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	350,440
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 108 ページ）

DIAL_TONE1_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	発信音1の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

DIAL_TONE1_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音1のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,0
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 108 ページ）

DIAL_TONE2_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数

説明	発信音2の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	350,440

DIAL_TONE2_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	発信音2の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

DIAL_TONE2_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	発信音2のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,0

DIAL_TONE4_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音４（スタッター式発信音）の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）（最大4要素）
初期値	350,440
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 110 ページ）

DIAL_TONE4_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	発信音4（スタッター式発信音）の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6

初期値	0

DIAL_TONE4_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	ボイスメールがあるときに鳴る発信音4（スタッター式発信音）のパターンを、最大22個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、560ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	560,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,100,0
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 110 ページ）

BUSY_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 108 ページ）

BUSY_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	話中音の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

BUSY_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数

説明	話中音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,500,440
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 109 ページ）

REORDER_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	規制音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	480,620
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 110 ページ）

REORDER_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	規制音の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

REORDER_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	規制音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,250,190
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 111 ページ）

RINGBACK_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	呼び出し音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	440,480
Webプログラミングによる設定	使用周波数（☞ 109 ページ）

RINGBACK_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	呼び出し音の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

RINGBACK_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	呼び出し音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、60ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	60,2000,3940
Webプログラミングによる設定	オン／オフ周期（☞ 109 ページ）

HOLD_ALARM_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留アラームの周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	425

HOLD_ALARM_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	保留アラームの音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

HOLD_ALARM_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留アラームのパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1、オフ1、オン2、オフ2...）。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	120,14880

CW_TONE1_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中着信音1の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	425

CW_TONE1_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	話中着信音1の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

CW_TONE1_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	話中着信音1のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オン1、オフ1、オン2、オフ2...）。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	120,120,120,120,120,14400

HOLD_TONE_FRQ

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留音の周波数を、2個の整数をカンマで区切ってヘルツ単位で指定します。
設定値	0、200～2000（0：無音）
初期値	425

HOLD_TONE_GAIN

設定値の形式	整数型
説明	保留音の音量をデシベル単位で指定します。
設定値	-24～6
初期値	0

HOLD_TONE_TIMING

設定値の形式	カンマ区切りの整数
説明	保留音のパターンを、最大10個の整数をカンマで区切ってミリ秒単位で指定します（オフ1、オン1、オフ2、オン2...）。 **お知らせ** • 最初の値（オフ1）は、500ミリ秒以上に指定することを推奨します。
設定値	0～16000（0：連続音）
初期値	500,190,190,190,2890

5.6.3 電話設定

DISPLAY_NAME_REPLACE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	発信者番号が連絡先に保存した番号と一致した場合、その名前を表示するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（表示名の置き換えを有効にします） • **N**（表示名の置き換えを無効にします）
初期値	**Y**

NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT

設定値の形式	整数型
説明	連絡先に登録された番号と発信者番号を一致させる最小桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと「**NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT**」の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	7
Webプログラミングによる設定	発信番号を照合する下限桁数（☞ 111 ページ）

NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT

設定値の形式	整数型
説明	連絡先に登録された番号と発信者番号を一致させる最大桁数を指定します。番号を完全一致させるには、本パラメータと「**NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT**」の両方に「0」を指定します。
設定値	0～15
初期値	10
Webプログラミングによる設定	発信番号を照合する上限桁数（☞ 112 ページ）

DISPLAY_DATE_PATTERN

設定値の形式	整数型
説明	日付の表示形式を選択します。 **お知らせ** • 本機を使用したプログラミングにより日付の表示形式または時間の表示形式が設定されている場合は、本設定は無視されます。
設定値	0～2 – 0：指定しない – 1：DDMM – 2：MMDD
初期値	0

DISPLAY_TIME_PATTERN

設定値の形式	整数型

説明	時間を12時間制と24時間制のどちらで表示するかを選択します。 **お知らせ** • 本機を使用したプログラミングにより日付の表示形式または時間の表示形式が設定されている場合は、本設定は無視されます。
設定値	0～2 – 0：指定しない – 1：12時間制 – 2：24時間制
初期値	0

DEFAULT_LANGUAGE

設定値の形式	テキスト型
説明	電話画面のメニューや表示項目の言語を選択します。 **お知らせ** • 本機を使用したプログラミングにより表示する言語が設定されている場合は、本設定は無視されます。
設定値	以下の項目から選択できます: • en-US（アメリカ英語） • en-GB（イギリス英語） • de（ドイツ語） • fr（フランス語） • fr-CA（カナダフランス語） • it（イタリア語） • es（スペイン語） • nl（オランダ語） • ru（ロシア語） • ja（日本語）
初期値	ja

POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	先頭以外に#キーを押した場合に、通常のキーまたは区切り記号のどちらとして処理するかを指定します。
設定値	• Y（#をダイヤル終了を示す区切り記号として使用します） • N（#を通常のキーとして使用します）

初期値	Y

5.6.4 フレキシブルキー設定

FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx

設定値の形式	テキスト型
説明	フレキシブルキーに特定の機能を指定します。この文字列が空または無効の場合、フレキシブルキーの機能は実行されません。
設定値	以下に示す値のみを指定できます。 **X_PANASONIC_IPTEL_DN**、**X_PANASONIC_IPTEL_HEADSET**、**X_PANASONIC_IPTEL_CONTACT**、 **X_PANASONIC_IPTEL_ONE-TOUCH**
初期値	**X_PANASONIC_IPTEL_DN**

FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx

設定値の形式	テキスト型
説明	フレキシブルキーに指定した機能のオプション引数を指定します。
設定値	最大32文字 **お知らせ** • 設定できる値は、「**FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx**」で設定したフレキシブルキー機能により異なります。 – **X_PANASONIC_IPTEL_DN**：1～32（着信音番号）、1～6（回線番号） – **X_PANASONIC_IPTEL_HEADSET**：設定値なし – **X_PANASONIC_IPTEL_CONTACT**：1～32桁の数字 – **X_PANASONIC_IPTEL_ONETOUCH**：1～32桁の数字 フレキシブルキー機能の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
初期値	1,1

FLEX_BUTTON_LABELx

設定値の形式	テキスト型
説明	画面に表示されるフレキシブルキー名を指定します。 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。

設定値	最大10文字または最大30バイト
初期値	空の文字列

5.7 VoIP設定

5.7.1 コーデック設定

CODEC_G711_REQ

設定値の形式	整数型
説明	「**CODEC_ENABLEx_n**」の設定により、コーデック「**PCMU**」が無効になっている場合でも「**PCMU**」をコーデックとして自動的に設定するかどうか指定します。
設定値	• 0（「**PCMU**」を設定しません） • 1（「**PCMU**」を設定します）
初期値	1

CODEC_G729_PARAM

設定値の形式	整数型
説明	「**CODEC_ENABLEx_n**」の設定により、コーデック「**G729A**」が有効になっている場合にSDP（Session Description Protocol）に属性行「**a=fmtp:18 annexb=no**」を追加するかどうか指定します。
設定値	• 0（「**a=fmtp:18 annexb=no**」を追加しません） • 1（「**a=fmtp:18 annexb=no**」を追加します）
初期値	0

CODEC_ENABLEx_n

パラメータ名の例	**CODEC_ENABLEx_1**, **CODEC_ENABLEx_2**, …, **CODEC_ENABLEx_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	パラメータリストで指定されたコーデックを有効にするかどうか指定します。 **お知らせ** • パラメータ名の「x」は、変更するコーデックに従って次の値を指定してください。 – 0：G.722 – 1：PCMA – 3：G.729A – 4：PCMU
設定値	• **Y**（有効） • **N**（無効）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	• G722（設定）（☞ 96 ページ） • PCMA（設定）（☞ 96 ページ） • G729A（設定）（☞ 97 ページ） • PCMU（設定）（☞ 97 ページ）

CODEC_PRIORITYx_n

パラメータ名の例	**CODEC_PRIORITYx_1**, **CODEC_PRIORITYx_2**, …, **CODEC_PRIORITYx_6**
設定値の形式	整数型
説明	コーデックの優先順位を指定します。 **お知らせ** • パラメータ名の「x」は、変更するコーデックに従って次の値を指定してください。 – 0：G.722 – 1：PCMA – 3：G.729A – 4：PCMU • 設定値が小さい方が優先度が高くなります。
設定値	1～255
初期値	1

Webプログラミングによる設定	• G722（優先度）（☞ 96 ページ） • PCMA（優先度）（☞ 96 ページ） • G729A（優先度）（☞ 97 ページ） • PCMU（優先度）（☞ 97 ページ）

5.7.2 RTP設定

DSCP_RTP_n

パラメータ名の例	**DSCP_RTP_1**, **DSCP_RTP_2**, …, **DSCP_RTP_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTP（Real-time Transport Protocol）パケットに適用されるDSCP値を指定します。
設定値	0～63
初期値	0
Webプログラミングによる設定	DSCP （RTPパケット）（☞ 93 ページ）

RTCP_INTVL_n

パラメータ名の例	**RTCP_INTVL_1**, **RTCP_INTVL_2**, …, **RTCP_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	RTCP（Real-Time Transport Control Protocol）パケットの間隔を秒単位で指定します。
設定値	5～65535
初期値	5
Webプログラミングによる設定	RTCP送信間隔（☞ 94 ページ）

MAX_DELAY_n

パラメータ名の例	**MAX_DELAY_1**, **MAX_DELAY_2**, …, **MAX_DELAY_6**
設定値の形式	整数型
説明	ジッタバッファの最大遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。

設定値	3～50（× 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – 「**NOM_DELAY**」より大きい値である必要があります。 – 「**MIN_DELAY**」より大きい値である必要があります。 – 「**NOM_DELAY**」は「**MIN_DELAY**」より大きい、または同等の値である必要があります。
初期値	20（× 10ミリ秒）
Webプログラミングによる設定	最大遅延（☞ 94 ページ）

MIN_DELAY_n

パラメータ名の例	**MIN_DELAY_1**, **MIN_DELAY_2**, …, **MIN_DELAY_6**
設定値の形式	整数型
説明	ジッタバッファの最小遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。
設定値	1または2（× 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – 「**NOM_DELAY**」より小さい、または同等の値である必要があります。 – 「**MAX_DELAY**」より小さい値である必要があります。 – 「**MAX_DELAY**」は「**NOM_DELAY**」より大きい値である必要があります。
初期値	2（× 10ミリ秒）
Webプログラミングによる設定	最小遅延（☞ 94 ページ）

NOM_DELAY_n

パラメータ名の例	**NOM_DELAY_1**, **NOM_DELAY_2**, …, **NOM_DELAY_6**
設定値の形式	整数型
説明	ジッタバッファの初期遅延時間を10ミリ秒単位で指定します。

設定値	1～7（× 10ミリ秒） **お知らせ** • この設定には以下の条件が適用されます。 – 「**MIN_DELAY**」より大きい、または同等の値である必要があります。 – 「**MAX_DELAY**」より小さい値である必要があります。
初期値	2（× 10ミリ秒）
Webプログラミングによる設定	初期遅延（☞ 94 ページ）

RTP_PORT_MIN

設定値の形式	整数型
説明	本機がRTPパケット用に使用する最小ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号がWebプログラミングの［グローバルRTPポート 1～25］（☞ 74 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、外部RTPポートが有効になります。
設定値	1024～48750（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は「**RTP_PORT_MAX**」－400以下である必要があります。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 × チャネル数 × 2 × 10（端末数）
初期値	16000
Webプログラミングによる設定	RTPポートの最小値（☞ 91 ページ）

RTP_PORT_MAX

設定値の形式	整数型
説明	本機がRTPパケット用に使用する最大ポート番号を指定します。 **お知らせ** • ポート番号がWebプログラミングの［グローバルRTPポート 1～25］（☞ 74 ページ）で指定されている場合、この設定は無視され、外部RTPポートが有効になります。

設定値	1424～49150（偶数のみ） **お知らせ** • この設定の値は「**RTP_PORT_MIN**」＋400以上である必要があります。 • この設定を変更すると、同時に通話できる通話数が制限される場合があります。設定を変更する場合は、RTPポートの最大値と最小値の差が以下で計算する値以上になるように設定してください。 回線数 × チャネル数 × 2 × 10（端末数）
初期値	20000
Webプログラミングによる設定	RTPポートの最大値（☞ 91 ページ）

RTP_PTIME

設定値の形式	整数型
説明	RTPパケットの転送間隔をミリ秒単位で指定します。
設定値	• 20 • 30 （G.722 以外のコーデックのみ有効） • 40
初期値	20
Webプログラミングによる設定	RTP送信間隔（☞ 91 ページ）

RTCP_ENABLE_n

パラメータ名の例	**RTCP_ENABLE_1**, **RTCP_ENABLE_2**, …, **RTCP_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	RTCPを有効にするか無効にするか指定します。詳細については、RFC 3550を参照してください。
設定値	• **Y**（RTCPを有効にします） • **N**（RTCPを無効にします）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	RTCP送信（☞ 93 ページ）

RTCP_SEND_BY_SDP_n

パラメータ名の例	**RTCP_SEND_BY_SDP_1**, **RTCP_SEND_BY_SDP_2**, …, **RTCP_SEND_BY_SDP_6**

設定値の形式	整数型
説明	RTCP信号をSDPによって送信するかどうか指定します。
設定値	0～1 – 0：「**RTCP_ENABLE_n**」が有効であれば「**RTCP_INTVL_n**」に指定された値を使用してRTCP信号を送信します。 – 1：SDP属性「a=rtcp:」に指定された値を使用してRTCP信号を送信します。
初期値	0

RTP_CLOSE_ENABLE_n

パラメータ名の例	**RTP_CLOSE_ENABLE_1**, **RTP_CLOSE_ENABLE_2**, …, **RTP_CLOSE_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	保留時にRTPソケットを閉じる処理を有効にするかどうか指定します。
設定値	• **Y**（RTPのクローズを有効にします） • **N**（RTPのクローズを無効にします）
初期値	**Y**

5.7.3 各種VoIP設定

OUTBANDDTMF_n

パラメータ名の例	**OUTBANDDTMF_1**, **OUTBANDDTMF_2**, …, **OUTBANDDTMF_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	トーン信号を送信する方法を指定します。
設定値	• **Y**（アウトバンド。電話イベントを使用） • **N**（インバンド） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、トーン信号はRFC 2833に従いSDPによって送信されます。 • 「**N**」に設定した場合、トーン信号はRTPストリームにエンコードされます。
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	DTMF方式（☞ 95 ページ）

TELEVENT_PAYLOAD

設定値の形式	整数型
説明	トーン信号のRFC 2833ペイロードタイプを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**OUTBANDDTMF_n**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	96～127
初期値	101
Webプログラミングによる設定	DTMFペイロードタイプ（☞ 92 ページ）

RFC2543_HOLD_ENABLE_n

パラメータ名の例	**RFC2543_HOLD_ENABLE_1**, **RFC2543_HOLD_ENABLE_2**, …, **RFC2543_HOLD_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	回線でRFC 2543の通話保留機能を有効にするかどうか指定します。
設定値	• **Y**（RFC 2543の通話保留を有効にします） • **N**（RFC 2543の通話保留を無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、通話を保留するために再INVITEメッセージを送信するときに「c=0.0.0.0」構文がSDPに設定されます。 • 「**N**」に設定した場合、SDPに「c=x.x.x.x」構文が設定されます。
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	RFC 2543 保留（☞ 95 ページ）

DTMF_SIGNAL_LEN

設定値の形式	整数型
説明	トーン信号の最小送信時間をミリ秒単位で指定します。
設定値	60～200 （5 ミリ秒単位）
初期値	180

DTMF_INTDIGIT_TIM

設定値の形式	整数型
説明	トーン信号の送信間隔をミリ秒単位で指定します。
設定値	60～200 （5 ミリ秒単位）
初期値	90

5.8 回線設定

5.8.1 呼制御設定

DISPLAY_NAME_n

パラメータ名の例	**DISPLAY_NAME_1**, **DISPLAY_NAME_2**, …, **DISPLAY_NAME_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	電話をかけるときに相手の電話機に発信者として表示する名前を指定します。
設定値	最大24文字 **お知らせ** • この設定にはUnicode文字を使用できます。
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	ディスプレイネーム（☞ 102 ページ）

VM_NUMBER_n

パラメータ名の例	**VM_NUMBER_1**, **VM_NUMBER_2**, …, **VM_NUMBER_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	ボイスメールサーバーにアクセスするために使用する電話番号を指定します。 **お知らせ** • お使いのSIPサーバーがボイスメールをサポートしている必要があります。
設定値	最大32文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	ボイスメールアクセス番号（☞ 102 ページ）

DIAL_PLAN_n

パラメータ名の例	**DIAL_PLAN_1**, **DIAL_PLAN_2**, ..., **DIAL_PLAN_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	ダイヤル可能な番号や発信時の処理方法を制御するダイヤル形式（電話番号など）を指定します。 詳細については☞ 210 ページ
設定値	最大500文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	番号計画 （最大500文字）（☞ 103 ページ）

DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n

パラメータ名の例	**DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_1**, **DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_2**, ..., **DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	ダイヤルプランのフィルタ処理を有効にするかどうかを指定します。有効にすると、ダイヤルした番号が「**DIAL_PLAN_n**」で指定されたダイヤル形式のいずれとも一致しない場合、その番号には発信されません。
設定値	• **Y**（ダイヤルプランのフィルタ処理を有効にします） • **N**（ダイヤルプランのフィルタ処理を無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、ダイヤルした番号がダイヤルプランで指定されているダイヤル形式と一致しない場合には発信しません。 • 「**N**」に設定すると、ダイヤルした番号がダイヤルプランで指定されているダイヤル形式と一致しない場合でも発信します。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	番号計画不一致時に発信（☞ 104 ページ）

RESOURCELIST_URI_n

パラメータ名の例	**RESOURCELIST_URI_1**, **RESOURCELIST_URI_2**,..., **RESOURCELIST_URI_6**
設定値の形式	テキスト型

説明	リソースリストのURI（Uniform Resource Identifier）文字列を指定します。URIは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。詳細については、RFC 4662を参照してください。 **お知らせ** • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。 • フレキシブルキーにBLF（内線状態表示）機能を設定している場合は、お使いのSIPサーバーによっては本設定を行う必要があります。 フレキシブルキーの詳細については☞208 ページ
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	リソースリストURI（☞ 103 ページ）

CW_ENABLE_n

パラメータ名の例	**CW_ENABLE_1**, **CW_ENABLE_2**, ⋯, **CW_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	話中着信を有効にするかどうか指定します。
設定値	• **Y**（話中着信を有効にします） • **N**（話中着信を無効にします）
初期値	**Y**

FLASH_RECALL_TERMINATE

設定値の形式	ブーリアン型
説明	通話時の**［切断］**キーの機能を選択します。
設定値	• **Y**（切断） • **N**（再捕捉）
初期値	**Y**
Webプログラミングによる設定	フラッシュ動作（切断＆再捕捉）（☞ 100 ページ）

FLASHHOOK_CONTENT_TYPE

設定値の形式	テキスト型

説明	フックフラッシュイベント送信時に送信する信号の種類を指定します。
設定値	• **Signal** • **flashhook**
初期値	**Signal**
Webプログラミングによる設定	フラッシュ再捕捉イベント（☞ 100 ページ）

HOLD_SOUND_PATH_n

パラメータ名の例	**HOLD_SOUND_PATH_1**, **HOLD_SOUND_PATH_2**, …, **HOLD_SOUND_PATH_6**
設定値の形式	整数型
説明	被保留時に、端末側の保留音を鳴らすか、ネットワークサーバー側の保留音をならすかどうかを指定します。 **お知らせ** • 端末側の保留音を鳴らすには以下の設定を行う必要があります。 – **HOLD_TONE_FRQ** – **HOLD_TONE_GAIN** – **HOLD_TONE_TIMING**
設定値	0～1 – 0：端末側の保留音を鳴らします。 – 1：ネットワークサーバー側の保留音を鳴らします。
初期値	0

5.8.2 SIP設定

SIP_USER_AGENT

設定値の形式	テキスト型
説明	SIPメッセージの「User-Agent」ヘッダーで送信する文字列を指定します。

設定値	最大40文字 **お知らせ** • 空の文字列は使用できません。 • このパラメータに「{mac}」を含めると、本機のMACアドレス（小文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MAC}」を含めると、本機のMACアドレス（大文字）に置き換えられます。 • このパラメータに「{MODEL}」を含めると、本機の機種名に置き換えられます。 • このパラメータに「{fwver}」を含めると、本機のファームウェアバージョンに置き換えられます。
初期値	Panasonic_{MODEL}/{fwver}({mac})
Webプログラミングによる設定	SIPユーザーエージェント（☞ 80 ページ）

PHONE_NUMBER_n

パラメータ名の例	**PHONE_NUMBER_1**, **PHONE_NUMBER_2**, ⋯, **PHONE_NUMBER_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIP登録サーバーへの登録に必要なユーザーIDとして使用する電話番号を指定します。 **お知らせ** • 電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合は、「**SIP_URI_n**」の設定を使用してください。
設定値	最大32文字（使用可能な文字：0～9、*、#）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	電話番号（☞ 81 ページ）

SIP_URI_n

パラメータ名の例	**SIP_URI_1**, **SIP_URI_2**, ⋯, **SIP_URI_6**
設定値の形式	テキスト型

説明	SIP登録サーバーで使用する固有のIDを指定します。 IDは、sip:、ユーザー部、「@」記号、ホスト部で構成されます（例：sip:user@example.com）。 **お知らせ** • この設定が必要になるのは、電話番号以外をユーザーIDとして登録する場合です。 • SIP URIのユーザー部（上記例の「user」）は最大63文字、ホスト部（上記例の「example.com」）は最大127文字を指定できます。
設定値	最大195文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「;」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	SIP URI（☞ 81 ページ）

LINE_ENABLE_n

パラメータ名の例	**LINE_ENABLE_1**, **LINE_ENABLE_2**, ⋯, **LINE_ENABLE_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	回線を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータを有効に設定しても、「**PROFILE_ENABLEn**」パラメータが無効の場合、回線は無効になります。
設定値	• **Disabled** • **Enabled**
初期値	**Enabled**

PROFILE_ENABLEn

パラメータ名の例	**PROFILE_ENABLE1**, **PROFILE_ENABLE2**, ⋯, **PROFILE_ENABLE6**
設定値の形式	テキスト型
説明	回線を有効にするかどうかを指定します。 **お知らせ** • このパラメータを有効に設定しても、「**LINE_ENABLE_n**」パラメータが無効の場合、回線は無効になります。
設定値	• **Disabled** • **Enabled**
初期値	**Enabled**

SIP_AUTHID_n

パラメータ名の例	**SIP_AUTHID_1**, **SIP_AUTHID_2**, …, **SIP_AUTHID_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPサーバーへのアクセスに必要な認証IDを指定します。
設定値	最大64文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証ID（☞ 84 ページ）

SIP_PASS_n

パラメータ名の例	**SIP_PASS_1**, **SIP_PASS_2**, …, **SIP_PASS_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPサーバーへのアクセスに使用される認証パスワードを指定します。
設定値	最大64文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	認証パスワード（☞ 84 ページ）

SIP_SRC_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_SRC_PORT_1**, **SIP_SRC_PORT_2**, …, **SIP_SRC_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	本機がSIP通信に使用する送信元ポート番号を指定します。
設定値	1024～49151
初期値	5060（SIP_SRC_PORT_1） 5061（SIP_SRC_PORT_2） 5062（SIP_SRC_PORT_3） 5063（SIP_SRC_PORT_4） 5064（SIP_SRC_PORT_5） 5065（SIP_SRC_PORT_6）
Webプログラミングによる設定	SIPポート（☞ 83 ページ）

SIP_PRXY_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_PRXY_ADDR_1**, **SIP_PRXY_ADDR_2**, …, **SIP_PRXY_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型

説明	SIPプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	プロキシサーバーアドレス（☞ 82 ページ）

SIP_PRXY_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_PRXY_PORT_1**, **SIP_PRXY_PORT_2**, …, **SIP_PRXY_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	プロキシサーバーポート（☞ 82 ページ）

SIP_RGSTR_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_RGSTR_ADDR_1**, **SIP_RGSTR_ADDR_2**, …, **SIP_RGSTR_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIP登録サーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	レジストラサーバーアドレス（☞ 81 ページ）

SIP_RGSTR_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_RGSTR_PORT_1**, **SIP_RGSTR_PORT_2**, …, **SIP_RGSTR_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIP登録サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	レジストラサーバーポート（☞ 82 ページ）

SIP_SVCDOMAIN_n

パラメータ名の例	**SIP_SVCDOMAIN_1**, **SIP_SVCDOMAIN_2**, …, **SIP_SVCDOMAIN_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	ドメイン名を指定します。ドメイン名とは、SIP URIの「@」記号以降の部分です。
設定値	最大127文字
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	サービスドメイン（☞ 83 ページ）

REG_EXPIRE_TIME_n

パラメータ名の例	**REG_EXPIRE_TIME_1**, **REG_EXPIRE_TIME_2**, …, **REG_EXPIRE_TIME_6**
設定値の形式	整数型
説明	登録が有効な期間を秒単位で指定します。この値はREGISTERリクエストの「Expires」ヘッダーに設定されます。
設定値	1～4294967295
初期値	3600

REG_INTERVAL_RATE_n

パラメータ名の例	**REG_INTERVAL_RATE_1**, **REG_INTERVAL_RATE_2**, …, **REG_INTERVAL_RATE_6**
設定値の形式	整数型
説明	新しいREGISTERメッセージを送信して同じダイアログで登録を更新するまでの「expires」値の割合を、パーセント単位で指定します。
設定値	1～100
初期値	90

SIP_SESSION_TIME_n

パラメータ名の例	**SIP_SESSION_TIME_1**, **SIP_SESSION_TIME_2**, …, **SIP_SESSION_TIME_6**
設定値の形式	整数型
説明	繰り返しリクエストを送っても応答がない場合に本機がSIPセッションを切断するまでに待機する時間の長さを、秒単位で指定します。詳細については、RFC 4028を参照してください。

設定値	0、60～65535（0：無効）
初期値	0
Webプログラミングによる設定	セッションタイマー （RFC 4028）（☞ 89 ページ）

SIP_SESSION_METHOD_n

パラメータ名の例	**SIP_SESSION_METHOD_1**, **SIP_SESSION_METHOD_2**, …, **SIP_SESSION_METHOD_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPセッションの更新方法を選択します。
設定値	0～2 – 0：reINVITE – 1：UPDATE – 2：AUTO
初期値	0

DSCP_SIP_n

パラメータ名の例	**DSCP_SIP_1**, **DSCP_SIP_2**, …, **DSCP_SIP_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPパケットに適用されるDSCP値を指定します。
設定値	0～63
初期値	0
Webプログラミングによる設定	DSCP （SIPパケット）（☞ 88 ページ）

SIP_2NDPROXY_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPROXY_ADDR_1**, **SIP_2NDPROXY_ADDR_2**, …, **SIP_2NDPROXY_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリSIPプロキシサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_PRXY_ADDR_n**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ使用できます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

SIP_2NDPROXY_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPROXY_PORT_1**, **SIP_2NDPROXY_PORT_2**, …, **SIP_2NDPROXY_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSIPプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

SIP_2NDRGSTR_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDRGSTR_ADDR_1**, **SIP_2NDRGSTR_ADDR_2**, …, **SIP_2NDRGSTR_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリSIP登録サーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_RGSTR_ADDR_n**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ使用できます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

SIP_2NDRGSTR_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDRGSTR_PORT_1**, **SIP_2NDRGSTR_PORT_2**, …, **SIP_2NDRGSTR_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSIP登録サーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

SIP_TIMER_T1_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_T1_1**, **SIP_TIMER_T1_2**, …, **SIP_TIMER_T1_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPメッセージのデフォルト転送間隔をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。

設定値	• 250 • 500 • 1000 • 2000 • 4000
初期値	500
Webプログラミングによる設定	T1タイマー（☞ 86 ページ）

SIP_TIMER_T2_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_T2_1**, **SIP_TIMER_T2_2**, …, **SIP_TIMER_T2_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPメッセージの最大転送間隔を秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	• 2 • 4 • 8 • 16 • 32
初期値	4
Webプログラミングによる設定	T2タイマー（☞ 86 ページ）

SIP_TIMER_T4_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_T4_1**, **SIP_TIMER_T4_2**, …, **SIP_TIMER_T4_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPメッセージをネットワークに保存する最大期間を秒単位で指定します。
設定値	0, 1, 2, 3, 4, 5
初期値	0

SIP_FOVR_NORSP_n

パラメータ名の例	**SIP_FOVR_NORSP_1**, **SIP_FOVR_NORSP_2**, …, **SIP_FOVR_NORSP_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	SIPサーバーがSIPメッセージに応答していないことが検出された場合に、フェイルオーバー処理を実行するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（フェイルオーバーを有効にします） • **N**（フェイルオーバーを無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、本機はDNS SRVレコードおよびAレコードに基づいて、他のSIPサーバーへの切り替えを試行します。 • 「**N**」に設定した場合、本機は他のSIPサーバーを使用しません。
初期値	**Y**

SIP_FOVR_MAX_n

パラメータ名の例	**SIP_FOVR_MAX_1**, **SIP_FOVR_MAX_2**, ⋯, **SIP_FOVR_MAX_6**
設定値の形式	整数型
説明	フェイルオーバー処理で使用するサーバーの最大数を指定します（最初のサーバー（通常使用するサーバー）を含む）。
設定値	1～4
初期値	4

SIP_REFRESHER_n

パラメータ名の例	**SIP_REFRESHER_1**, **SIP_REFRESHER_2**, ..., **SIP_REFRESHER_6**
設定値の形式	整数型
説明	INVITEリクエストのセッション有効期限に更新パラメータを追加するかどうか指定します。
設定値	0～2 – 0: 追加しません。 – 1: UAS – 2: UAC
初期値	0

SIP_DNSSRV_ENA_n

パラメータ名の例	**SIP_DNSSRV_ENA_1**, **SIP_DNSSRV_ENA_2**, ⋯, **SIP_DNSSRV_ENA_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	SRVレコードを使ってドメイン名をIPアドレスに変換するようDNSサーバーに要求するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（DNS SRVルックアップを有効にします） • **N**（DNS SRVルックアップを無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップを行います。 • 「**N**」に設定した場合、本機はSIP登録サーバー、SIPプロキシサーバー、SIPアウトバウンドプロキシサーバー、またはSIPプレゼンスサーバーのDNS SRVルックアップを行いません。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	DNS SRV（☞ 85 ページ）

SIP_UDP_SRV_PREFIX_n

パラメータ名の例	**SIP_UDP_SRV_PREFIX_1**, **SIP_UDP_SRV_PREFIX_2**, …, **SIP_UDP_SRV_PREFIX_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	UDPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_DNSSRV_ENA_n**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._udp.
Webプログラミングによる設定	UDP用SRVプリフィックス（☞ 85 ページ）

SIP_TCP_SRV_PREFIX_n

パラメータ名の例	**SIP_TCP_SRV_PREFIX_1**, **SIP_TCP_SRV_PREFIX_2**, …, **SIP_TCP_SRV_PREFIX_6**
設定値の形式	テキスト型

説明	TCPを使用してDNS SRVルックアップを実行するときにドメイン名に追加する接頭辞を指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_DNSSRV_ENA_n**」が「**Y**」に設定されている場合のみ使用できます。
設定値	最大32文字
初期値	_sip._tcp.
Webプログラミングによる設定	TCP用SRVプリフィックス（☞ 85 ページ）

SIP_100REL_ENABLE_n

パラメータ名の例	**SIP_100REL_ENABLE_1**, **SIP_100REL_ENABLE_2**, …, **SIP_100REL_ENABLE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーにオプションタグ100relを追加するかどうかを指定します。詳細については、RFC 3262を参照してください。
設定値	• **Y**（100rel機能を有効にします） • **N**（100rel機能を無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定すると、Reliability of Provisional Responses機能が有効になります。オプションタグ100relは、INVITEメッセージの「Supported」ヘッダーと、「1xx」暫定応答メッセージの「Require」ヘッダーに追加されます。 • 「**N**」に設定した場合、オプションタグ100relは使用されません。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	100rel （RFC 3262）（☞ 88 ページ）

SIP_INVITE_EXPIRE_n

パラメータ名の例	**SIP_INVITE_EXPIRE_1**, **SIP_INVITE_EXPIRE_2**, …, **SIP_INVITE_EXPIRE_6**
設定値の形式	整数型
説明	INVITEメッセージが有効な期間を秒単位で指定します。この値はINVITEリクエストの「Expires」ヘッダーに設定されます。
設定値	0、60～65535（0：無効）

初期値	0

SIP_18X_RTX_INTVL_n

パラメータ名の例	**SIP_18X_RTX_INTVL_1**, **SIP_18X_RTX_INTVL_2**, …, **SIP_18X_RTX_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	「18x」応答の再送信間隔を秒単位で指定します。
設定値	0、1～600（0：無効）
初期値	0

SIP_PRSNC_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_PRSNC_ADDR_1**, **SIP_PRSNC_ADDR_2**, …, **SIP_PRSNC_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SIPプレゼンスサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	プレゼンスサーバーアドレス（☞ 82 ページ）

SIP_PRSNC_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_PRSNC_PORT_1**, **SIP_PRSNC_PORT_2**, …, **SIP_PRSNC_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPプレゼンスサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	プレゼンスサーバーポート（☞ 82 ページ）

SIP_2NDPRSNC_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPRSNC_ADDR_1**, **SIP_2NDPRSNC_ADDR_2**, …, **SIP_2NDPRSNC_ADDR_6**

設定値の形式	テキスト型
説明	セカンダリプレゼンスサーバーのIPアドレスを指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_PRSNC_ADDR_n**」がIPアドレス表記で指定されている場合のみ行うことができます。
設定値	ドット付き10進数表記のIPアドレス
初期値	空の文字列

SIP_2NDPRSNC_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_2NDPRSNC_PORT_1**, **SIP_2NDPRSNC_PORT_2**, …, **SIP_2NDPRSNC_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	セカンダリSIPプレゼンスサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060

USE_DEL_REG_OPEN_n

パラメータ名の例	**USE_DEL_REG_OPEN_1**, **USE_DEL_REG_OPEN_2**, …, **USE_DEL_REG_OPEN_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	本機の電源を入れたときなどに登録前のキャンセルを可能にするかどうか指定します。
設定値	• **Y**（登録前のキャンセルを可能にします） • **N**（登録前のキャンセルを無効にします）
初期値	**N**

PORT_PUNCH_INTVL_n

パラメータ名の例	**PORT_PUNCH_INTVL_1**, **PORT_PUNCH_INTVL_2**, …, **PORT_PUNCH_INTVL_6**
設定値の形式	整数型

説明	NATのバインド情報を保持するために本機にキープアライブパケットを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • この設定は、「**SIP_TRANSPORT_n**」が「0」に設定されている場合のみ行うことができます。
設定値	0、10～300（0：無効）
初期値	0
Webプログラミングによる設定	キープアライブ間隔（☞ 89 ページ）

SIP_ADD_RPORT_n

パラメータ名の例	**SIP_ADD_RPORT_1**, **SIP_ADD_RPORT_2**, …, **SIP_ADD_RPORT_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	「via」ヘッダーに「rport」パラメータを追加するかどうか指定します。詳細はRFC 3581を参照してください。
設定値	• **Y**（rport（RFC 3581）を追加します） • **N**（rport（RFC 3581）を追加しません）
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	Rport （RFC 3581）（☞ 89 ページ）

SIP_REQURI_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_REQURI_PORT_1**, **SIP_REQURI_PORT_2**, …, **SIP_REQURI_PORT_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	最初のSIPリクエストのリクエスト行にportパラメーターを追加するかどうか指定します。

設定値	• **Y**（portパラメーターを追加します） • **N**（portパラメーターを追加しません） **お知らせ** • REGISTERリクエストのリクエストURIの例： – 「**Y**」に設定すると、リクエスト行にportパラメーターが追加されます。 リクエスト行：REGISTER sip:192.168.0.10:5060 SIP/2.0 – 「**N**」に設定すると、リクエスト行にportパラメーターは追加されません。 リクエスト行：REGISTER sip:192.168.0.10 SIP/2.0
初期値	**Y**

SIP_SUBS_EXPIRE_n

パラメータ名の例	**SIP_SUBS_EXPIRE_1**, **SIP_SUBS_EXPIRE_2**, …, **SIP_SUBS_EXPIRE_6**
設定値の形式	整数型
説明	サブスクリプションが有効な期間を秒単位で指定します。この値はSUBSCRIBEリクエストの「Expires」ヘッダーに設定されます。
設定値	1～4294967295
初期値	3600

SUB_RTX_INTVL_n

パラメータ名の例	**SUB_RTX_INTVL_1**, **SUB_RTX_INTVL_2**, …, **SUB_RTX_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	サブスクリプションが失敗した場合（サーバー応答なし、あるいはエラー応答の場合）にSUBSCRIBEリクエストを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 「403 Forbidden」応答を受けた場合、送信は行われません。
設定値	10～86400
初期値	10

REG_RTX_INTVL_n

パラメータ名の例	**REG_RTX_INTVL_1**, **REG_RTX_INTVL_2**, …, **REG_RTX_INTVL_6**
設定値の形式	整数型
説明	登録が失敗した場合（サーバー応答なし、あるいはエラー応答の場合）にREGISTERリクエストを送信する間隔を秒単位で指定します。 **お知らせ** • 「403 Forbidden」応答を受けた場合、送信は行われません。
設定値	10～86400
初期値	10

SIP_P_PREFERRED_ID_n

パラメータ名の例	**SIP_P_PREFERRED_ID_1**, **SIP_P_PREFERRED_ID_2**, …, **SIP_P_PREFERRED_ID_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPメッセージに「P-Preferred-Identity」ヘッダーを追加するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（「P-Preferred-Identity」ヘッダーを追加します） • **N**（「P-Preferred-Identity」ヘッダーを追加しません）
初期値	**N**

SIP_PRIVACY_n

パラメータ名の例	**SIP_PRIVACY_1**, **SIP_PRIVACY_2**, …, **SIP_PRIVACY_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPメッセージに「Privacy」ヘッダーを追加するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（「Privacy」ヘッダーを追加します） • **N**（「Privacy」ヘッダーを追加しません）
初期値	**N**

ADD_USER_PHONE_n

パラメータ名の例	**ADD_USER_PHONE_1**, **ADD_USER_PHONE_2**, …, **ADD_USER_PHONE_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	SIPメッセージのSIP URIに「user=phone」を追加するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（「user=phone」を追加します） • **N**（「user=phone」を追加しません） **お知らせ** • SIP URIの例： – 「**sip:1111@tokyo.example.com;user=phone**」（「**Y**」に設定した場合） – 「**sip:1111@tokyo.example.com**」（「**N**」に設定した場合）
初期値	**N**

SDP_USER_ID_n

パラメータ名の例	**SDP_USER_ID_1**, **SDP_USER_ID_2**, …, **SDP_USER_ID_6**
設定値の形式	テキスト型
説明	SDPの「o=」行フィールドで使用するユーザーIDを指定します。
設定値	最大32文字（「"」、「&」、「'」、「:」、「<」、「>」、空白を除く）
初期値	–

SUB_INTERVAL_RATE_n

パラメータ名の例	**SUB_INTERVAL_RATE_1**, **SUB_INTERVAL_RATE_2**, …, **SUB_INTERVAL_RATE_6**
設定値の形式	整数型
説明	新しいSUBSCRIBEメッセージを送信して同じダイアログでサブスクリプションを更新するまでの「expires」値の割合を、パーセント単位で指定します。
設定値	1～100
初期値	90

SIP_OUTPROXY_ADDR_n

パラメータ名の例	**SIP_OUTPROXY_ADDR_1**, **SIP_OUTPROXY_ADDR_2**, …, **SIP_OUTPROXY_ADDR_6**
設定値の形式	テキスト型

説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
設定値	最大127文字（ドット付き10進数表記のIPアドレス、もしくはFQDN）
初期値	空の文字列
Webプログラミングによる設定	アウトバウンドプロキシサーバーアドレス（☞ 83 ページ）

SIP_OUTPROXY_PORT_n

パラメータ名の例	**SIP_OUTPROXY_PORT_1**, **SIP_OUTPROXY_PORT_2**, ⋯, **SIP_OUTPROXY_PORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPアウトバウンドプロキシサーバーとの通信に使用するポート番号を指定します。
設定値	1～65535
初期値	5060
Webプログラミングによる設定	アウトバウンドプロキシサーバーポート（☞ 83 ページ）

SIP_TRANSPORT_n

パラメータ名の例	**SIP_TRANSPORT_1**, **SIP_TRANSPORT_2**, ⋯, **SIP_TRANSPORT_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPパケットの送信に使用するトランスポート層プロトコルを指定します。
設定値	• 0（UDP） • 1（TCP）
初期値	0
Webプログラミングによる設定	トランスポートプロトコル（☞ 86 ページ）

SIP_ANM_DISPNAME_n

パラメータ名の例	**SIP_ANM_DISPNAME_1**, **SIP_ANM_DISPNAME_2**, ⋯, **SIP_ANM_DISPNAME_6**
設定値の形式	整数型
説明	匿名で電話をかけるときに「From」ヘッダーに表示名として設定するテキスト文字列を指定します。

設定値	• 0（通常の表示名を使用します） • 1（「Anonymous」という表示名を使用します） • 2（表示名を送信しません）
初期値	1

SIP_ANM_USERNAME_n

パラメータ名の例	**SIP_ANM_USERNAME_1**, **SIP_ANM_USERNAME_2**, …, **SIP_ANM_USERNAME_6**
設定値の形式	整数型
説明	匿名で電話をかけるときに「From」ヘッダーにユーザー名として設定するテキスト文字列を指定します。
設定値	• 0（通常のユーザー名を使用します） • 1（「anonymous」というユーザー名を使用します） • 2（ユーザー名を送信しません）
初期値	0

SIP_ANM_HOSTNAME_n

パラメータ名の例	**SIP_ANM_HOSTNAME_1**, **SIP_ANM_HOSTNAME_2**, …, **SIP_ANM_HOSTNAME_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	匿名で電話をかけるときに「From」ヘッダーに匿名のホスト名を設定するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（「anonymous.invalid」というホスト名を使用します） • **N**（通常のホスト名を使用します）
初期値	**N**

SIP_DETECT_SSAF_n

パラメータ名の例	**SIP_DETECT_SSAF_1**, **SIP_DETECT_SSAF_2**, …, **SIP_DETECT_SSAF_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）でSSAF（SIP Source Address Filter）を有効にするかどうか指定します。

設定値	• **Y**（SSAFを有効にします） • **N**（SSAFを無効にします） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、本機はSIPサーバー（登録サーバー、プロキシサーバー、プレゼンスサーバー）に保存されている送信元アドレスから送られたSIPメッセージのみを受け取り、他のアドレスからのSIPメッセージは受け取りません。ただし、「**SIP_OUTPROXY_ADDR_n**」（☞ 198 ページ）が指定されている場合、SIPアウトバウンドプロキシサーバーに保存されている送信元アドレスから送られたSIPメッセージも受け取ります。
初期値	**N**
Webプログラミングによる設定	SIPソースアドレスフィルター（☞ 90 ページ）

SIP_RCV_DET_HEADER_n

パラメータ名の例	**SIP_RCV_DET_HEADER_1**, **SIP_RCV_DET_HEADER_2**, …, **SIP_RCV_DET_HEADER_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	誤ったSIP URIを含むINVITEメッセージを受信したときに、「To」ヘッダーにあるSIP URIのユーザー名部を確認するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（ユーザー名を確認します） • **N**（ユーザー名を確認しません） **お知らせ** • 「**Y**」に設定した場合、本機はINVITEメッセージを受信したときにエラー応答を送信します。 • 「**N**」に設定した場合、本機は「To」ヘッダーにあるSIP URIのユーザー名部は確認しません。
初期値	**N**

SIP_CONTACT_ON_ACK_n

パラメータ名の例	**SIP_CONTACT_ON_ACK_1**, **SIP_CONTACT_ON_ACK_2**, …, **SIP_CONTACT_ON_ACK_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIP ACKメッセージに「Contact」ヘッダーを追加するかどうか指定します。

設定値	• **Y**（「Contact」ヘッダーを追加します） • **N**（「Contact」ヘッダーを追加しません）
初期値	**N**

SIP_TIMER_B_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_B_1**, **SIP_TIMER_B_2**, …, **SIP_TIMER_B_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーB（INVITEトランザクションタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
Webプログラミングによる設定	タイマーB（☞ 87 ページ）

SIP_TIMER_D_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_D_1**, **SIP_TIMER_D_2**, …, **SIP_TIMER_D_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーD（応答の再送信待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
Webプログラミングによる設定	タイマーD（☞ 87 ページ）

SIP_TIMER_F_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_F_1**, **SIP_TIMER_F_2**, …, **SIP_TIMER_F_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーF（INVITEトランザクション以外のタイムアウトタイマー）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
Webプログラミングによる設定	タイマーF（☞ 87 ページ）

SIP_TIMER_H_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_H_1**, **SIP_TIMER_H_2**, …, **SIP_TIMER_H_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーH（ACKの受け取り待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	250～64000
初期値	32000
Webプログラミングによる設定	タイマーH（☞ 87 ページ）

SIP_TIMER_J_n

パラメータ名の例	**SIP_TIMER_J_1**, **SIP_TIMER_J_2**, …, **SIP_TIMER_J_6**
設定値の形式	整数型
説明	SIPタイマーJ（INVITE以外のリクエスト再送信待機時間）の値をミリ秒単位で指定します。詳細については、RFC 3261を参照してください。
設定値	0、250～64000
初期値	5000
Webプログラミングによる設定	タイマーJ（☞ 88 ページ）

ADD_TRANSPORT_UDP_n

パラメータ名の例	**ADD_TRANSPORT_UDP_1**, **ADD_TRANSPORT_UDP_2**, …, **ADD_TRANSPORT_UDP_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	SIPヘッダーのURIに属性「transport=udp」を追加するかどうか指定します。
設定値	• **Y**（トランスポートUDPを追加します） • **N**（トランスポートUDPを追加しません）
初期値	**N**

ADD_EXPIRES_HEADER_n

パラメータ名の例	**ADD_EXPIRES_HEADER_1**, **ADD_EXPIRES_HEADER_2**, …, **ADD_EXPIRES_HEADER_6**
設定値の形式	ブーリアン型

説明	REGISTERに「Expires」ヘッダーを追加する（「Contact」ヘッダーに「expires」パラメータを追加する）かどうか指定します。
設定値	• **Y**（「Expires」ヘッダーを追加します） • **N**（「Expires」ヘッダーを追加しません）
初期値	**Y**

SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n

パラメータ名の例	**SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_1**, **SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_2**, …, **SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_6**
設定値の形式	ブーリアン型
説明	保留中の電話に再INVITEを許可するかどうかを指定します。
設定値	• **Y**（SIP保留受信を許可します） • **N**（SIP保留受信を許可しません）
初期値	**Y**

SIP_ADD_DIVERSION_n

パラメータ名の例	**SIP_ADD_DIVERSION_1**, **SIP_ADD_DIVERSION_2**, …, **SIP_ADD_DIVERSION_6**
設定値の形式	整数型
説明	「Diversion」ヘッダー情報を追加するかどうか指定します。
設定値	0～2 – 0：「Diversion」ヘッダーを追加しません。 – 1：「Diversion」ヘッダーのみに自端末情報を追加します。 – 2：「Diversion」ヘッダーに自端末情報を追加します。
初期値	1

SIP_RESPONSE_CODE_DND

設定値の形式	整数型
説明	不在設定を設定時に着信を受けた場合の応答コードを指定します。
設定値	400～699
初期値	403

SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT

設定値の形式	整数型
説明	着信を拒否する場合の応答コードを指定します。
設定値	400～699
初期値	603

第 6 章
本機の主な機能の設定

この章では、本機で設定できる主な機能を説明します。

6.1 ワンタッチボタン・BLF（内線状態表示）ボタンの登録

設定ファイルを以下のように設定すると、ワンタッチボタン・BLF（内線状態表示）ボタンを登録することができます（☞ 169 ページ）。

フレキシブルキーの詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

ワンタッチボタンの登録

- 「**FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx**」を「**X_PANASONIC_IPTEL_ONETOUCH**」に指定
- 「**FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx**」に1～32桁の数字を指定

BLF（内線状態表示）ボタンの登録

- 「**FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx**」を「**X_PANASONIC_IPTEL_CONTACT**」に指定
- 「**FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx**」に1～32桁の数字を指定

6.2 ボイスメールアクセス特番の設定

設定ファイルを以下のように設定すると、ボイスメールアクセス特番を設定することができます。

- 「**VM_NUMBER_n**」に、ボイスメールサーバーにアクセスする電話番号を指定します（☞ 178 ページ）。

6.3 フレキシブルキーの登録

設定ファイルでフレキシブルキーのパラメータを指定すると、フレキシブルキーに特定の機能を登録することができます。

- フレキシブルキーの設定については（☞ 169 ページ）

6.4 アプリケーションの追加

サードパーティ製のアプリケーションをインストールしたり、管理（アプリケーション情報の表示、アンインストールなど）をしたりすることができます。アプリケーションはSDカードからインストールする必要があります。

重要

- お客様がインストールされるアプリケーションなどの提供元および動作状況については、十分にご確認のうえご利用ください。アプリケーションによっては、インストールできない場合や、本機が正常に動作しない場合があります。また、ウイルスへの感染や、お客様の位置情報や本機に登録された個人情報などがインターネットを経由して外部に発信され不正に利用されるなどのおそれがあります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより各種動作不良や、自己または第三者への不利益が生じた場合、当社はその責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

アプリケーションを準備する

本機のWebブラウザまたはSDカードを使用してアプリケーションをインストールすることができます。SDカードを使用する場合は、以下の手順に従って準備してください。

お願い

- SDカードを使う前に、SDカードをフォーマットしてください。フォーマットについての詳細は「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

1 SDカードを準備する

> 動作確認済みのSDカードの最新情報は下記サイトでご確認ください。
> http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/

2 使用したいアプリケーションデータをSDカードのルートディレクトリに保存する

アプリケーションをインストールするには

1 ホーム画面で メニュー を押し、**[設定]** をタップする

2 **[管理]** をタップし、管理者パスワードを入力して **[OK]** をタップする

3 **[アプリケーション]** をタップする

4 **[アプリケーションの追加]** をタップする

5 インストール方法を **[SDカード]** または **[ブラウザ]** から選択する

6 インストールするアプリケーションを選択する

7 **[インストール]** をタップする

8 **[OK]** をタップする

お知らせ

- 管理者パスワードについては ☞ 40 ページ

アプリケーションを管理するには

1 ホーム画面で メニュー を押し、**[設定]** をタップする

2 **[管理]** をタップし、管理者パスワードを入力して **[OK]** をタップする

3 **[アプリケーション]** をタップする

4 **[アプリケーションの管理]** をタップする

5 アプリケーションを選択する

6 操作を選択して **[OK]** をタップする

お知らせ

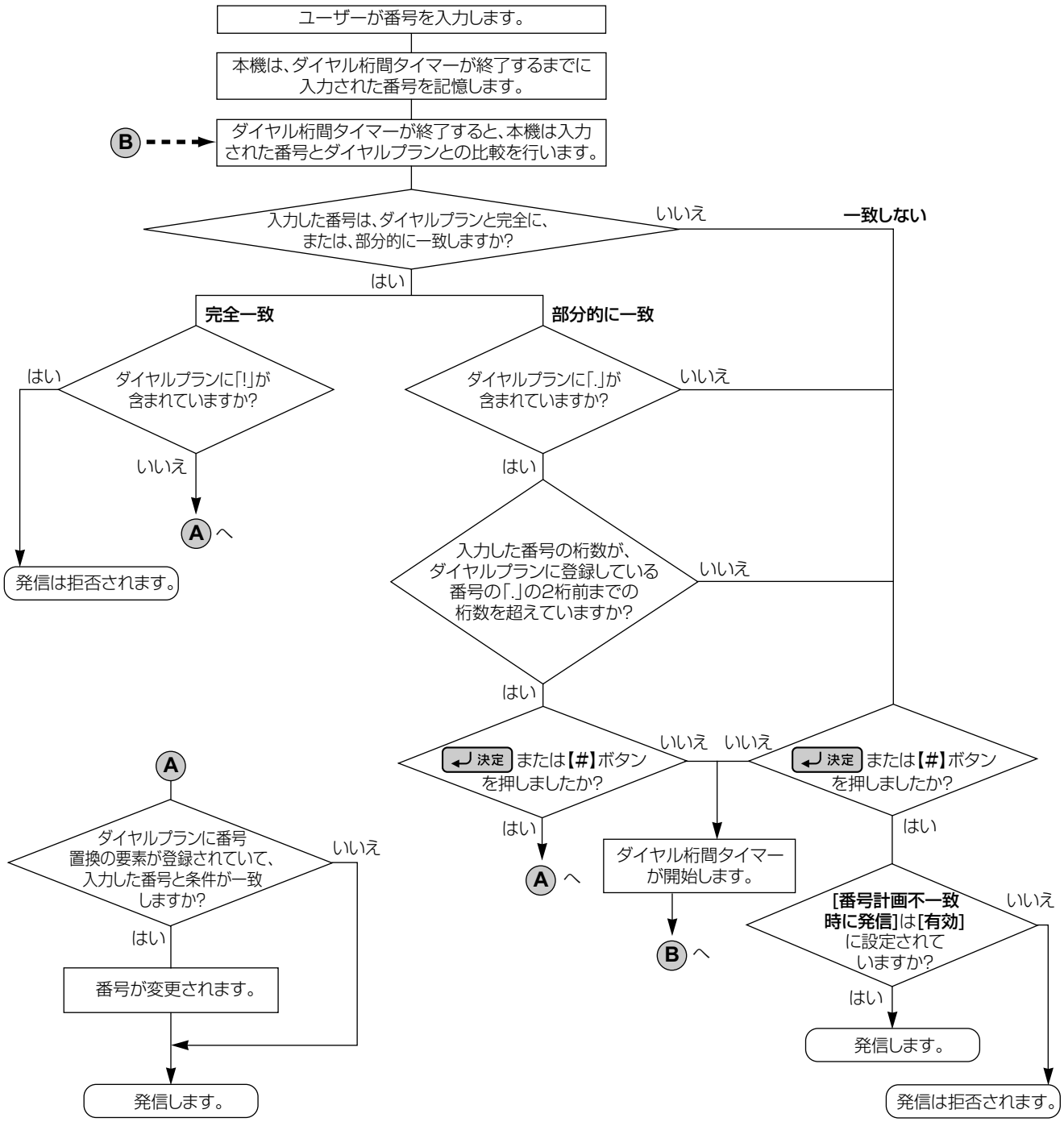
- 管理者パスワードについては ☞ 40 ページ

6.5 ダイヤルプラン

ダイヤルプランは、ユーザーがダイヤルする数字をネットワーク経由で転送する方法を制御します。ダイヤルプランは、回線ごとに設定できます。設定には、Webプログラミング（☞ 103 ページ）または設定ファイルのプログラミング（☞ 179 ページ）のいずれかを使用できます。

（ダイヤルプランのフローチャート）

ユーザーが1つの数字をダイヤルすると、次のような順序でイベントが発生します。



6.5.1 ダイヤルプランの設定

番号計画を設定するには

1 Webプログラミングで、**[電話設定]** タブ、**[電話機能設定 [回線1] ～ [回線6]]** を順にクリックする

2 **[番号計画]** にダイヤル形式を入力する
ダイヤルプランは、回線ごとに異なる設定を行うことができます。

ダイヤル形式で使用できる文字の詳細については☞ 212 ページ

3 **［番号計画不一致時に発信］**で**［有効］**または**［無効］**を選択する

- **［有効］**を選択すると、ダイヤルした番号が**［番号計画］**で指定したダイヤル形式と一致しない場合でも発信します。
- **［無効］**を選択すると、ダイヤルした番号が**［番号計画］**で指定したダイヤル形式と一致する場合のみ発信します。

お知らせ

- 設定ファイルのプログラミングを使ったダイヤルプランの設定の詳細については、5.8.1 呼制御設定（☞ 178 ページ）の「**DIAL_PLAN_n**」と「**DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n**」を参照してください。

ダイヤルプランのフィールドで指定できる値

下記の表は、ダイヤル形式で使用可能な文字とその意味を示します。

要素	使用可能な値	説明
文字列	0～9、[、-、]、<、:、>、*、#、!、S、s、T、t、X、x、.、|、＋	使用可能な文字を組み合わせてダイヤルプランを指定することができます。
数値	0～9、*、#、＋	**例：「123」** 「123」とダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。
ワイルドカード	X、x	**例：「12xxxxx」** 「12」に続けて5桁の数字をダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。
範囲	[ ]	**例：「[123]」** 「1」、「2」、「3」のいずれかの数字をダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。
部分的な範囲	-	**例：「[1-5]」** 「1」、「2」、「3」、「4」、「5」のいずれかをダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。 • 部分的な範囲を指定できるのは、1桁の数字のみです。たとえば、「[4-9]」は有効ですが、「[12-21]」は無効です。
繰り返し	.	**例：「1.」** 「1」を1つ以上続けてダイヤルすると（「11」や「111」など）、その番号に発信されます。
置換	＜（置換前）：（置換後）＞	**例：「<101:9999>」** 「101」とダイヤルすると、「101」は「9999」に置換され、その番号にすぐに発信されます。

要素	使用可能な値	説明
タイマー	S、s（秒）	**例：「1x.S2」** 「1」で始まる番号をダイヤルすると、2秒後に発信されます。 • 「S」または「s」の前の数字（0～9）は、発信するまでの待機時間（秒単位）を示します。
マクロタイマー	T、t	**例：「1x.T」** 「1」で始まる番号をダイヤルすると、「T」秒だけ待機したあと発信されます。 • 「T」または「t」の値はWebプログラミングで設定できます（☞ 99 ページ）。
拒否	!	**例：「123xxx!」** 「123」のあとに3桁の数字をダイヤルすると、その番号には発信されません。
代替	|	**例：「1xxxx|2xxx」** 「1」のあとに4桁の数字、または「2」のあとに3桁の数字をダイヤルすると、その番号にすぐに発信されます。 複数の番号を指定できます。

お知らせ

- **[番号計画]** では、最大500文字指定できます。
- **[番号計画]** では、最大40個のダイヤルプランを「|」で区切って指定することができます。
- **[番号計画]** では、ダイヤルプラン1つあたり32桁まで指定できます。
- Webプログラミングで **[番号計画不一致時に発信]** が **[有効]** に設定されている場合、または設定ファイルで「**DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n**」が「**N**」に設定されている場合、ダイヤルが完了すると、ダイヤルされた数字がすべて発信されます。本機は、次の条件が満たされた時点でダイヤルが完了したとみなします。
  - 桁間タイマーがタイムアウトした時点（☞ 99 ページまたは154 ページ）
  - ユーザーが 決定 または **[#]** ボタンを押した時点
  - オフフック（プレダイヤル）になったあと通話が開始された時点

ダイヤルプランの例

下記に、「|」で区切った文字列を使ったダイヤルプランの例を示します。
例：「[2346789]11|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

完全一致：

例：「**[2346789]11**|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

- 「211」、「911」などをダイヤルすると、すぐに発信されます。

例：「[2346789]11|01[2-9]x.|**[2-9]xxxxxxxxx**」

- 「2123456789」や「5987654321」などをダイヤルすると、すぐに発信されます。

部分一致（ダイヤルプランで「.」を指定）：

例：「[2346789]11|**01[2-9]x.**|[2-9]xxxxxxxxx」

- 「01254」や「012556」などをダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。

部分一致（ダイヤルプランで「.」を指定しない）：

例：「**[2346789]11**|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

- **［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている状態で「21」や「91」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［無効］**に設定されている状態で「21」や「91」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあと、発信は拒否されます。

例：「[2346789]11|01[2-9]x.|**[2-9]xxxxxxxxx**」

- **［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている状態で「21234567」や「598765432」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［無効］**に設定されている状態で「21234567」や「598765432」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあと、発信は拒否されます。

不一致：

例：「[2346789]11|01[2-9]x.|[2-9]xxxxxxxxx」

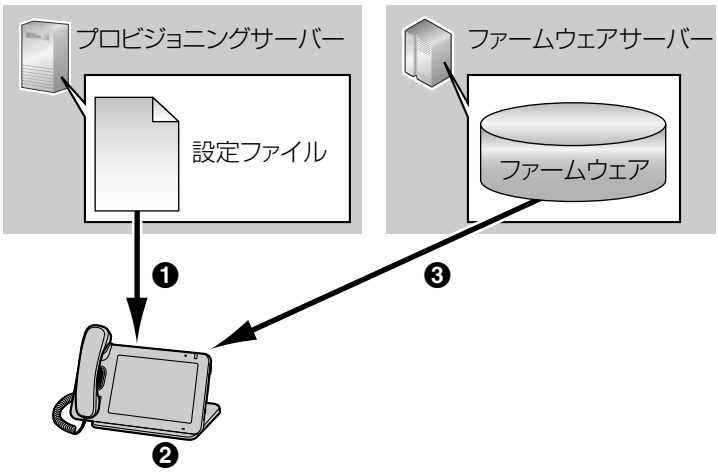
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［有効］**に設定されている状態で「0011」や「1011」などの番号をダイヤルすると、桁間タイマーがタイムアウトしたあとに発信されます。
- **［番号計画不一致時に発信］**が**［無効］**に設定されている状態で「0011」や「1011」などの番号をダイヤルすると、発信は拒否されます。

第 7 章
ファームウェアのアップデート

この章では、本機のファームウェアをアップデートする方法について説明します。

7.1 ファームウェアアップデートの概要

本機のファームウェアをアップデートすることで、動作の改善や機能の向上が図れます。指定した場所から新しいファームウェアファイルを自動的にダウンロードするように本機を設定できます。ファームウェアのアップデートは、本機を再起動すると実行されます。



❶ 設定ファイルのダウンロード
❷ 本機のファームウェアのバージョンとダウンロードした設定ファイルのバージョンを比較し、アップデートが必要かどうかを確認
❸ ファームウェアのダウンロードとアップデート

お知らせ

- ファームウェアのアップデートを行うための特殊なサーバーは必要ありません。URLを設定するだけで、HTTPおよびFTPの各サーバーをファームウェアのアップデートに使用することができます。
- TFTPサーバーをファームウェアのアップデートを行うサーバーに指定することはできません。

7.2 ファームウェアアップデートの設定方法

ファームウェアのアップデートは、必要に応じて提供されます。
ファームウェアのアップデートは、設定ファイルのプログラミング（☞ 138 ページ）またはWebプログラミング（☞ 112 ページ）を使用して、必要なパラメータを設定することによって実行されます。各パラメータと設定手順は以下のとおりです。

ファームウェアアップデートを有効にする

- 設定ファイルに「**FIRM_UPGRADE_ENABLE="Y"**」を追加してください。
- Webプログラミングで、**[保守]** タブ、**[ファームウェア保守]** を順にクリックし、**[自動バージョンアップ]** で **[有効]** を選択してください。

ファームウェアのバージョン番号を指定する

- 設定ファイルにファームウェアの最新のバージョン番号を追加してください。

実行サーバーのURLを指定する

- 設定ファイルの「**FIRM_FILE_PATH**」にサーバーのURLを指定してください。

- Webプログラミングで、**[保守]** タブ、**[ファームウェア保守]** を順にクリックし、**[ファームウェアファイルURL]** にURLを入力してください。

パラメータ設定例

以下の例のようにパラメータを設定すると、指定したURL（http://firm.example.com/firm/UT670_01.050.bin）から自動でファームウェアをダウンロードし、使用中のファームウェアバージョンが01.050と異なる場合、アップデートを実行します。

例

```
FIRM_UPGRADE_ENABLE="Y"
FIRM_VERSION="01.050"
FIRM_FILE_PATH="http://firm.example.com/firm/UT670_01.050.bin"
```

7.3 ファームウェアのアップデート

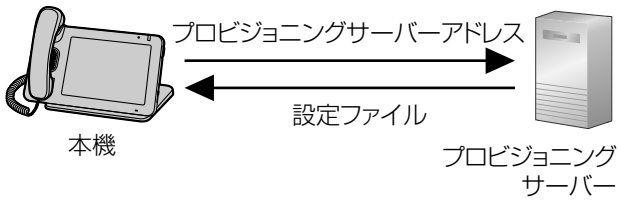
設定ファイルでアップデートの各設定を行うと、設定ファイルがダウンロードされた際に、ファームウェアがアップデートされます。アップデートの詳しい手順は以下のとおりです。

アップデートの一連の流れ

ステップ1

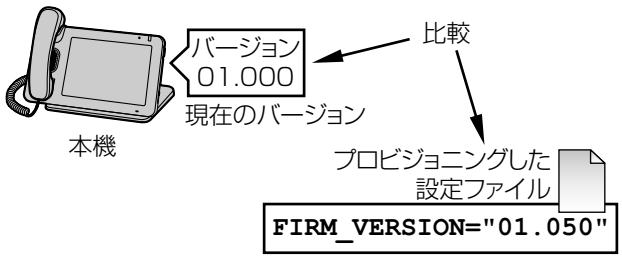
プロビジョニングサーバーから設定ファイルをダウンロードします。

- 設定ファイルをダウンロードするタイミングの設定について（☞ 31 ページ）



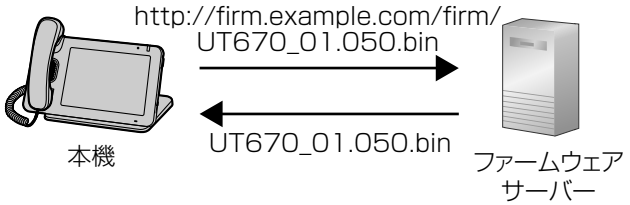
ステップ2

設定ファイルのファームウェア番号と、現在使用中のバージョンを比較します。
（この例では、本機はバージョン01.000を使用しているのに対し、設定ファイルでは01.050が指定されています。）



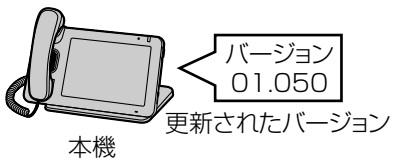
ステップ3

設定ファイルに新しいバージョンのファームウェアが指定されると、本機は再起動します。その後、設定ファイルの「**FIRM_FILE_PATH**」で指定されたURLからファームウェアをダウンロードします。



ステップ4

新しいファームウェアがダウンロードされると、本機に適用された後に再起動します。



7.4 SDカードを使ったファームウェアのアップデート

新しいファームウェアファイルが提供されている場合、電話機の操作でファームウェアを手動でアップデートできます。

1 下記サイトから最新のファームウェアをダウンロードする
http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/

2 ダウンロードしたファームウェアをSDカードのルートディレクトリに保存する

3 SDカードを本機に挿入する

4 ホーム画面で メニュー を押し、**[設定]** をタップする

5 **[管理]** をタップし、管理者パスワードを入力して **[OK]** をタップする

6 **[ファームウェアアップデート]** をタップする

7 ダウンロードしたファームウェアを選択する

8 **[更新する]** をタップする

お願い

- SDカードを本機から取り外すときは、マウント解除をしてください。マウント解除についての詳細は、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

お知らせ

- アップデートが完了すると、本機は自動的に再起動します。
- アップデートの手順は変更になる可能性があります。最新のアップデート方法は下記サイトでご確認ください。
http://panasonic.biz/netsys/sipphone/support/
- 管理者パスワードについては ☞ 40 ページ

第 8 章
本機の初期化

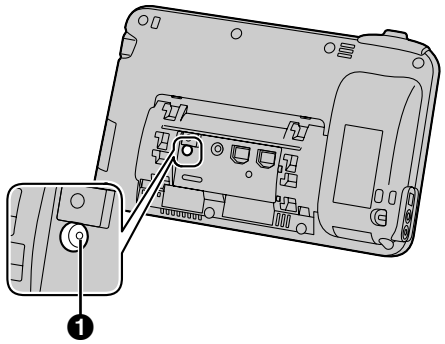
この章では、本機を初期化する手順について説明します。

8.1 工場出荷状態の復元／データと設定の消去

本機を初期化すると、設定した内容が工場出荷値に戻り、登録したデータが消去されます。
以下の2種類の方法で初期化できます。

- **Clear data and settings**
  本機の設定内容と、各アプリケーションの設定や登録データを削除します。アプリケーションは削除されません。
- **Reset to factory default**
  すべてのデータを削除します。工場出荷時にインストールされていたアプリケーション以外のアプリケーションは削除されます。

1 本機を起動したあとに、先の長い棒状のもので、画面の表示が消えるまでRESETボタン（❶）を押す



2 本機が再起動したあと、「****Reset Menu****」が表示されたら、シートキーを以下の順番で押す
[ホーム] → [▼] → [メニュー] → [戻る] → [決定]

3 [▼] または [▲] を押して目的の初期化方法を選択し、[決定] を押す

お知らせ

- シートキーの詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
- SDカードの内容は消去されません。
- [Cancel]を選択すると、本機が起動し、ホーム画面に戻ります。
- 初期化が完了したあと、本機は自動的に再起動します。

8.2 Webプログラミングで行った設定の初期化（Web登録情報初期化）

Webプログラミングで行った変更内容を初期値に戻します。
Web登録情報初期化を行う手順については☞ 116 ページ

Web登録情報初期化を行うと、本機は最後にプロビジョニングまたはプレプロビジョニングを行った状態に戻ります。

お願い

- Web登録情報初期化を実行すると、本機は自動的に再起動します。Web登録情報初期化を実行する前に、設定内容を保存しておくことを推奨します。

お知らせ

- 本機を使用したプログラミングで行った設定は初期化されません。ただし、本機を使用したプログラミングとWebプログラミングの両方で行える設定は初期化されます。

第９章
困ったとき

トラブルが起きたときは、この章をお読みください。

9.1 困ったとき

トラブルが起きたときは、こちらをお読みください。点検を行う前に、本機が正しく接続されているか、LANケーブルから電源が供給されているかを確認してください。ACアダプターを使用している場合は、差し込んでいるコンセントから電源が供給されているか確認してください。
それでも直らないときは、電源プラグまたはLANケーブルを抜き差ししてください。

基本動作について

こんなとき	原因と対応
発信音が聞こえない	• LANケーブルが適切に接続されていることを確認してください。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • ネットワーク設定が正しいことを確認してください。 • 機器をすべて再起動すると、設置に関する問題が解決することがあります。まず、モデム、ルーター、ハブ、本機、およびパソコンを停止します。次に、モデム、ルーター、ハブ、本機、パソコンの順に、1つずつ装置の電源を入れてください。 • パソコンからインターネットのウェブページにアクセスできない場合、ご利用のエリア内で電話システムの接続に関する問題が発生していないか確認してください。 • 通知画面の**［端末の状態］**または本機の**［設定］**→**［端末情報］**→**［端末の状態］**でネットワークの状態を確認し、各回線が適切に登録されていることを確認してください。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • SIPサーバーのアドレス、設定ファイルのURL、暗号鍵、およびその他の必要な設定が正しいことを確認してください。
エラーメッセージが表示される	• メッセージの内容に従って、本機の設定を確認してください。
編集内容が保存されていない	• 編集の途中で他の画面を開いている場合、編集内容が保存されないことがあります。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。
本機を起動した際に電話画面が表示されない	• Webプログラミングまたは設定ファイルのプログラミングの設定が正しくない可能性があります。本機を初期化して、再度設定を行ってください（☞ 220 ページ）。

発着信について

こんなとき	原因と対応
着信音が鳴らない	• 着信音の音量を確認し、オフになっている場合は、着信音の音量を調節してください。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • 通知画面の**［端末の状態］**または本機の**［設定］**→**［端末情報］**→**［端末の状態］**でネットワークの状態を確認し、各回線が適切に登録されていることを確認してください。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • SIPサーバーのアドレス、設定ファイルのURL、暗号鍵、およびその他の必要な設定が正しいことを確認してください。 • ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 20 ページ）。 • Webプログラミングの**［電話設定］**タブで各回線の**［電話機能設定］**を確認してください。 – **［着信拒否］**が**［有効］**に設定されている場合、本機は着信を受けることができません（☞ 104 ページ）。 – **［全着信］**が**［有効］**に設定されている場合、本機は着信を受けることができません（☞ 105 ページ）。 – **［非通知着信拒否］**が**［有効］**に設定されている場合、本機は番号非通知の着信を受けることができません（☞ 104 ページ）。 • SIPサーバーで**［着信拒否］**、**［全着信］**、**［非通知着信拒否］**が設定されていないか確認してください。
発信できない	• 通知画面の**［端末の状態］**または本機の**［設定］**→**［端末情報］**→**［端末の状態］**でネットワークの状態を確認し、各回線が適切に登録されていることを確認してください。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • SIPサーバーのアドレス、設定ファイルのURL、暗号鍵、およびその他の必要な設定が正しいことを確認してください。 • ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 20 ページ）。

Webプログラミングのパスワードについて

こんなとき	原因と対応
管理者またはユーザーアカウント用のWebプログラミングのログインパスワードを忘れた	• 本機でパスワードを初期化してください。管理者とユーザーアカウントの両方のパスワードが初期化されます（☞ 40 ページ）。 セキュリティ上の理由から、パスワードはすぐに再設定することを推奨します（☞ 75 ページまたは77 ページ）。

時刻について

こんなとき	原因と対応
時刻が正しくない	• 本機の日付と時刻を調節してください。この操作の詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • 本機の**［設定］**メニューからNTP同期とタイムゾーン設定を設定することにより、時刻を自動的に調節できます。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。 • NTP同期を設定しても正しい時刻にならない場合、ルーターのファイアウォール設定とポート転送設定を確認してください（☞ 20 ページ）。

SDカードについて

こんなとき	原因と対応
SDカードのサムネイル画像が表示されない／異なった画像が表示される	• 本機からSDカードを取り出すときに、マウント解除をしていません。SDカードを取り出す前にマウント解除をしてください。 また、正しいサムネイル画像を表示するには、以下の操作を行ってください。 **1** ステータスバーをタップする **2** 通知画面で**［SDカードのマウント解除］**をタップする **3** 確認画面で**［SDカードのマウント解除］**をタップする **4** SDカードをゆっくり押してから、まっすぐ引き出す **5** ホーム画面で［メニュー］を押し、**［設定］**をタップする **6** **［管理］**をタップし、管理者パスワードを入力して**［OK］**をタップする **7** **［アプリケーション］**をタップする **8** **［アプリケーションの管理］**をタップする **9** **［すべて］**タブを選択する **10** 表示されたリストから**［メディアストレージ］**をタップし、**［データを消去］**を選択する **11** 削除の確認画面で**［OK］**を選択する **12** 取り外したSDカードをパソコンに挿入し、SDカードのフォルダを表示させ、ファイル名「/sdcard/DCIM/.thumbnails/.thumbdata3--1967290299」を削除する **13** パソコンからSDカードを取り外し、本機に挿入する **14** 本機の電源を切って、もう一度電源を入れる

USB機器について

こんなとき	原因と対応
USBキーボードの一部のキーが使用できない	• 本機で使用できるキーを確認してください。詳細については、「取扱説明書（操作編）」を参照してください。

ファームウェアアップデートについて

こんなとき	原因と対応
SDカードを使ってファームウェアアップデートができない	• ファームウェアがSDカードのルートディレクトリに保存されていることを確認してください。 • 通話中はファームウェアアップデートができません。通話を終了してください。

アプリケーションについて

こんなとき	原因と対応
アプリケーションをインストールできない	• インストールするアプリケーションが、SDカードのルートディレクトリに保存されていることを確認してください（☞ 209 ページ）。 • インストールするアプリケーションのファイル拡張子が「.apk」になっていることを確認してください。

設定ファイルについて

こんなとき	原因と対応
設定ファイルで設定できない	• 設定ファイルをSDカードで取り込む場合、設定ファイルがSDカードのルートディレクトリに保存されていることを確認してください（☞ 36 ページ）。 • 通話中はSDカードからの設定ファイルの取り込みができません。通話を終了してください。 • 設定ファイルの拡張子が「.cfg」になっていることを確認してください。 • 設定ファイルが正しく設定されているか確認してください（☞ 129 ページ）。

本機の状態を確認する

Webプログラミングを使用するか（☞ 59 ページおよび61 ページ）、本機から送信されたシステムログ（☞ 138 ページ）で、本機の状態を確認できます。

Webプログラミングで設定状態を確認するには

1 **[機器情報]** タブをクリックし、**[ネットワークステータス]** をクリックして、ネットワーク設定を表示する

2 表示されている状態を確認する

3 **[VoIPステータス]** をクリックして、VoIP設定を表示する

4 表示されている状態を確認する

システムログをsyslogサーバーに送信するには

下記のパラメータを設定してパソコン（Microsoft® Windows®、Linux®などのオペレーティングシステム）をsyslogサーバーとして指定する

- **SYSLOG_ADDR**：syslogサーバーのIPアドレスまたはFQDNを指定します。
- **SYSLOG_PORT**：syslogサーバーのポート番号を指定します。

第 10 章
オープンソースソフトウェア

本製品には一部オープンソースソフトウェアが使用されています。本ソフトウェアにはオープンソースソフトウェアに関連する条件が適用されます。

10.1 ライセンス情報

本機の画面でオープンソースソフトウェアのライセンス情報を確認できます。

ライセンス情報を確認するには

1 ホーム画面で メニュー を押し、**［設定］**をタップする

2 **［端末情報］**をタップしてから**［法的情報］**を選択する

3 **［オープンソースライセンス］**をタップする

索引

英数字

100rel（RFC 3262）　88
3種類の設定ファイルを使用する　30
ADD_EXPIRES_HEADER_n　203
ADD_TRANSPORT_UDP_n　203
ADD_USER_PHONE_n　197
ADMIN_ID　134
ADMIN_PASS　134
AUTO_ANS_RING_TIM　157
AUTO_CALL_HOLD　158
BLFボタン　208
BUSY_TONE_FRQ　162
BUSY_TONE_GAIN　162
BUSY_TONE_TIMING　162
Call Forward　105, 106
CFG_CYCLIC　145
CFG_CYCLIC_INTVL　145
CFG_FILE_KEY_LENGTH　144
CFG_FILE_KEY1　143
CFG_FILE_KEY2　144
CFG_FILE_KEY3　144
CFG_MASTER_FILE_PATH　142
CFG_PRODUCT_FILE_PATH　141
CFG_RESYNC_FROM_SIP　146
CFG_RESYNC_TIME　146
CFG_ROOT_CERTIFICATE_PATH　150
CFG_RTRY_INTVL　145
CFG_STANDARD_FILE_PATH　140
CODEC_ENABLEx_n　170
CODEC_G711_REQ　170
CODEC_G729_PARAM　170
CODEC_PRIORITYx_n　171
COUNTRY_CALLING_CODE　155
CUSTOM_WEB_PAGE　153
CW_ENABLE_n　180
CW_TONE1_FRQ　165
CW_TONE1_GAIN　165
CW_TONE1_TIMING　165
DATA_LINE_MODE　156
DEFAULT_LANGUAGE　168
DEFAULT_LINE_SELECT　156
DHCPサーバー　27, 140
DHCP接続　63
DIAL_PLAN_n　179
DIAL_PLAN_NOT_MATCH_ENABLE_n　179
DIAL_TONE1_FRQ　160
DIAL_TONE1_GAIN　160
DIAL_TONE1_TIMING　160
DIAL_TONE2_FRQ　160
DIAL_TONE2_GAIN　161
DIAL_TONE2_TIMING　161
DIAL_TONE4_FRQ　161
DIAL_TONE4_GAIN　161
DIAL_TONE4_TIMING　162
DISCONNECTION_MODE　159
DISPLAY_DATE_PATTERN　167
DISPLAY_NAME_n　178
DISPLAY_NAME_REPLACE　166
DISPLAY_TIME_PATTERN　167
DNS　85
DNS SRV　85
DNSサーバー　64
DNSサーバー1　61, 65
DNSサーバー2　61, 66
DNSサーバー設定方式　64
DSCP（RTPパケット）　93
DSCP（SIPパケット）　88
DSCP_RTP_n　172
DSCP_SIP_n　187
DTMF　95
DTMF_INTDIGIT_TIM　178
DTMF_SIGNAL_LEN　177
DTMFペイロードタイプ　92
DTMF方式　95
FIRM_FILE_PATH　139
FIRM_UPGRADE_ENABLE　138
FIRM_VERSION　138
FIRSTDIGIT_TIM　154
FLASH_RECALL_TERMINATE　180
FLASHHOOK_CONTENT_TYPE　180
FLEX_BUTTON_FACILITY_ACTx　169
FLEX_BUTTON_FACILITY_ARGx　169
FLEX_BUTTON_LABELx　169
G722（設定）　96
G722（優先度）　96
G729A（設定）　97
G729A（優先度）　97
HOLD_ALARM_FRQ　164
HOLD_ALARM_GAIN　165
HOLD_ALARM_TIMING　165
HOLD_PACKAGE　157
HOLD_RECALL_TIM　157
HOLD_SOUND_PATH_n　181
HOLD_TONE_FRQ　166
HOLD_TONE_GAIN　166
HOLD_TONE_TIMING　166

HTTP バージョン　69
HTTP_SSL_VERIFY　150
HTTP_USER_AGENT　149
HTTP_VER　149
HTTPD_PORTOPEN_AUTO　148
HTTPクライアント設定　69
HTTP設定　122, 148
HTTPユーザーエージェント　69
HTTP認証　70
INTDIGIT_TIM　154
INTERNATIONAL_ACCESS_CODE　155
IPアドレス　60
IP電話 (VLAN ID)　67
IP電話 (優先度)　68
KEY_PAD_TONE　159
LANポート　66
LANポートのリンク状態　60
LINE_ENABLE_n　183
MACRODIGIT_TIM　155
MACアドレス　60
MAX_DELAY_n　172
MIN_DELAY_n　173
NAPT　73
NAT　21, 73, 89, 195
NATIONAL_ACCESS_CODE　155
NATトラバーサル　21, 74
NOM_DELAY_n　173
NTP_ADDR　151
NTPサーバー　20
NUM_PLAN_PICKUP_DIRECT　156
NUMBER_MATCHING_LOWER_DIGIT　167
NUMBER_MATCHING_UPPER_DIGIT　167
NW_SETTING_ENABLE　153
ONHOOK_TRANSFER_ENABLE　158
OPTION66_ENABLE　140
OSバージョン　59
OUTBANDDTMF_n　176
PC（VLAN ID）　68
PC（優先度）　68
PCMA（設定）　96
PCMA（優先度）　96
PCMU（設定）　97
PCMU（優先度）　97
PCポート　67
PCポートのリンク状態　60
PHONE_NUMBER_n　182
PORT_PUNCH_INTVL_n　194
POUND_KEY_DELIMITER_ENABLE　168
PROFILE_ENABLEn　183
PROVISION_ENABLE　140
QoS　88, 93
REDIALKEY_CALLLOG_ENABLE　158
REG_EXPIRE_TIME_n　186
REG_INTERVAL_RATE_n　186
REG_RTX_INTVL_n　197
Reliability of Provisional Responses　88, 192
REORDER_TONE_FRQ　163
REORDER_TONE_GAIN　163
REORDER_TONE_TIMING　163
RESOURCELIST_URI_n　179
RFC 2543 (c=0.0.0.0) 保留　95
RFC 2543 保留　95
RFC2543_HOLD_ENABLE_n　177
RINGBACK_TONE_FRQ　164
RINGBACK_TONE_GAIN　164
RINGBACK_TONE_TIMING　164
RINGING_OFF_SETTING_ENABLE　158
Rport （RFC 3581）　89
RTCP_ENABLE_n　175
RTCP_INTVL_n　172
RTCP_SEND_BY_SDP_n　175
RTCP送信　93
RTCP送信間隔　94
RTP（Real-time Transport Protocol）の設定　22
RTP_CLOSE_ENABLE_n　176
RTP_PORT_MAX　174
RTP_PORT_MIN　174
RTP_PTIME　175
RTP設定　91
RTP送信間隔　91
RTPの設定　22
RTPポートの最小値　91
RTPポートの最大値　91
RTPポートマッピング　74
RTP設定　125, 172
SDP_USER_ID_n　198
SIP Source Address Filter (SSAF)　200
SIP URI　81
SIP_100REL_ENABLE_n　192
SIP_18X_RTX_INTVL_n　193
SIP_2NDPROXY_ADDR_n　187
SIP_2NDPROXY_PORT_n　188
SIP_2NDPRSNC_ADDR_n　193
SIP_2NDPRSNC_PORT_n　194
SIP_2NDRGSTR_ADDR_n　188

SIP_2NDRGSTR_PORT_n　188
SIP_ADD_DIVERSION_n　204
SIP_ADD_RPORT_n　195
SIP_ANM_DISPNAME_n　199
SIP_ANM_HOSTNAME_n　200
SIP_ANM_USERNAME_n　200
SIP_AUTHID_n　184
SIP_CONTACT_ON_ACK_n　201
SIP_DETECT_SSAF_n　200
SIP_DNSSRV_ENA_n　190
SIP_FOVR_MAX_n　190
SIP_FOVR_NORSP_n　189
SIP_HOLD_HOLDRECEIVE_n　204
SIP_INVITE_EXPIRE_n　192
SIP_OUTPROXY_ADDR_n　198
SIP_OUTPROXY_PORT_n　199
SIP_P_PREFERRED_ID_n　197
SIP_PASS_n　184
SIP_PRIVACY_n　197
SIP_PRSNC_ADDR_n　193
SIP_PRSNC_PORT_n　193
SIP_PRXY_ADDR_n　184
SIP_PRXY_PORT_n　185
SIP_RCV_DET_HEADER_n　201
SIP_REFRESHER_n　190
SIP_REQURI_PORT_n　195
SIP_RESPONSE_CODE_CALL_REJECT　205
SIP_RESPONSE_CODE_DND　204
SIP_RGSTR_ADDR_n　185
SIP_RGSTR_PORT_n　185
SIP_SESSION_METHOD_n　187
SIP_SESSION_TIME_n　186
SIP_SRC_PORT_n　184
SIP_SUBS_EXPIRE_n　196
SIP_SVCDOMAIN_n　186
SIP_TCP_SRV_PREFIX_n　191
SIP_TIMER_B_n　202
SIP_TIMER_D_n　202
SIP_TIMER_F_n　202
SIP_TIMER_H_n　203
SIP_TIMER_J_n　203
SIP_TIMER_T1_n　188
SIP_TIMER_T2_n　189
SIP_TIMER_T4_n　189
SIP_TRANSPORT_n　199
SIP_UDP_SRV_PREFIX_n　191
SIP_URI_n　182
SIP_USER_AGENT　181
SIP拡張機能　88
SIPサーバー　81
SIPサービスドメイン　83
SIP設定　79, 80
SIPソースアドレスフィルター　90
SIPタイマー　86
SIPトランスポートプロトコル　86
SIP認証　84
SIPの設定　21
SIPポート　83
SIPポートマッピング　74
SIPユーザーエージェント　80
SIP設定　126, 181
SIP設定 [回線1]～[回線 6]　80
SSAF（SIP Source Address Filter）　90
SSAF→SIP Source Address Filter　90, 200
STUN_2NDSERV_ADDR　153
STUN_2NDSERV_PORT　153
STUN_SERV_ADDR　152
STUN_SERV_PORT　152
STUNサーバー　72, 152
STUNサーバーアドレス　72
STUNサーバーポート　73
STUN設定　122, 152
SUB_INTERVAL_RATE_n　198
SUB_RTX_INTVL_n　196
SYSLOG_ADDR　138
SYSLOG_PORT　138
Syslog設定　120, 138, 229
T1タイマー　86
T2タイマー　86
TALK_PACKAGE　156
TCP用SRVプリフィックス　85
TELEVENT_PAYLOAD　177
TFTPサーバー　27, 140
TIME_QUERY_INTVL　152
TIME_SYNC_INTVL　151
TIME_ZONE_COUNTRY　135
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSET　159
TONE_LEN_DISCONNECT_HANDSFREE　159
UDP用SRVプリフィックス　85
USE_DEL_REG_OPEN_n　194
USER_ID　134
USER_PASS　135
VLAN　67
VLAN_ENABLE　146
VLAN_ID_IP_PHONE　147
VLAN_ID_PC　148

VLAN_PRI_IP_PHONE　147
VLAN_PRI_PC　148
VM_NUMBER_n　178
VM_SUBSCRIBE_ENABLE　154
VoIP　47, 79
VoIPステータス　61, 62, 228
VoIP設定　90, 125, 170
VoIP設定 [回線1]～[回線6]　93
Web ID／パスワードの初期化　40, 56
Webサーバーポート　78
Webサーバー設定　78
Web登録情報初期化　220
Webプログラミング　25, 43
Webプログラミングで設定ファイルをダウンロードする　31
Webプログラミングにアクセスする前に　54
Webプログラミングのパスワード　53
Webプログラミングの設定一覧　44
Webプログラミングへのアクセス（ログイン）　56
Webポート　54, 78, 79, 57
Web言語　75

あ行

アウトバウンドプロキシ　83
アウトバウンドプロキシサーバーアドレス　83
アウトバウンドプロキシサーバーポート　83
アカウント設定　120, 134
アクセスレベル　44, 55
アクセス権限について（IDとパスワード）　55
新しいパスワード　76, 78
アプリケーションの追加　209
誤った設定ファイルの例　133
暗号化　36
暗号鍵　36, 143, 144
安全なプロビジョニング方法　36
イーサネットポート設定　19
イーサーポート設定　121
イーサポート設定　66, 146
ウィンドウコントロール　57
オン／オフ周期　108, 109, 110, 111
音質設定　123, 160

か行

回線1～回線6　74
回線設定　126, 178
回線番号　62
各種VoIP設定　125, 176
各種ネットワーク設定　122, 153
管理者パスワード変更　75, 76
関連文書　2
キープアライブ間隔　89
機器情報　44, 59
基本的なネットワーク設定　18
国番号　99
グローバルRTPポート 1～25　74
グローバルアドレス　74
グローバルアドレス検出　22, 71, 72
言語　75
言語選択　18, 54, 75
現在のパスワード　76, 77
検出間隔　72
検出方式　72
工場出荷設定　18
工場設定値　40
コーディック優先度　96
コーデック設定　125, 170
コーデック設定の例　131
国際番号　99
呼制御設定　122, 126, 154, 178
固定IP接続　64
困ったとき　223

さ行

サービスドメイン　83
再起動　116
最小遅延　94
最大遅延　94
サブネットマスク　60, 65
時刻設定　120, 135
時刻同期設定　122, 151
システム設定　46, 75, 120, 134
ジッタバッファ　94
自動バージョンアップ　112
市内局番　100
使用環境について　54
使用周波数　108, 109, 110
商標　2
初期化する　220
初期遅延　94
スタッター音　110
スタンダードファイル　30, 114, 140
スタンダードファイルURL　114
静的NAPT設定　73
セカンダリDNSサーバー　61, 64, 66
セキュリティ　90
セッションタイマー（RFC 4028）　89

接続方式　60, 63
設定値の初期化　116
設定の優先度　38
設定ファイル　29, 129
設定ファイルによるプログラミング　26
設定ファイルの仕様　129
設定ファイルのパラメータ　130
設定ファイルのパラメータリスト　120
設定ファイルのプログラミング　119
設定ファイルの例　131
設定方法の優先度　38
全着信 (転送先電話番号)　105
全着信 (不在転送)　105
その他のネットワーク設定　20

た行

タイマーB　87
タイマーD　87
タイマーF　87
タイマーH　87
タイマーJ　88
ダイヤル桁間タイマー　99
ダイヤルプラン　210
ダイヤルプランタイマー　99
ダイヤルプランのフィールドで指定できる値　212
ダイヤルプランの設定　211
ダイヤルプランの例　213
ダウンロードのタイミング　31
着信音　109
着信拒否　105
着信拒否番号　101
通常使用する回線番号　100
通話保留　95, 177
定期プロビジョニング　115
定期プロビジョニング間隔　115
ディスプレイネーム　102
テキスト型に使用できる文字　131
デフォルトゲートウェイ　61, 65
電話機能設定　98, 102
電話機能設定[回線1]～[回線6]　102
電話設定　51, 98, 111, 122, 124, 154, 166
電話番号　62, 81
統計情報　93
トーン設定　107
トランスポートプロトコル　86

な行

内線指定代理応答　101
認証ID　70, 84
認証パスワード　70, 84
ネットワークステータス　59, 60, 228
ネットワーク設定　18, 121, 146
ネットワーク基本設定　62
ネットワーク設定　45, 62

は行

バージョン情報　59
パスワード確認　77, 78
発信音　108
発信者番号非通知　104
発信番号を照合する下限桁数　111
発信番号を照合する上限桁数　112
発着信機能　104
番号計画　103, 211
番号計画（最大500文字）　103
番号計画不一致時に発信　104
非通知着信拒否　104
日付と時刻　20
ファームウェアアップデートの概要　216
ファームウェアアップデートの設定方法　216
ファームウェアアップデート設定　120, 138
ファームウェアのアップデート　112, 138, 217
ファームウェアのアップデート（SDカード）　218
ファームウェアバージョン　59
ファームウェアファイルURL　113
ファームウェア保守　112
ファイアウォールおよびルーターの設定　20
不応答 (転送先電話番号)　107
不応答 (不在転送)　106
不応答 (鳴動回数)　107
不在設定　105, 106
不在転送　105
プライマリDNSサーバー　61, 64, 65
フラッシュ再捕捉イベント　100
フラッシュ動作（切断＆再捕捉）　100
フレキシブルキー　208
フレキシブルキー設定　124, 169
フレキシブルキーの登録　208
プレゼンスサーバーアドレス　82
プレゼンスサーバーポート　82
プレプロビジョニング　27
プロキシサーバー　71
プロキシサーバーアドレス　71, 82
プロキシサーバーポート　71, 82
プログラミングの概要　23
プロダクトファイル　30, 114, 141

プロダクトファイルURL　114
プロビジョニング　29, 113
プロビジョニングSIPイベント名　115
プロビジョニングサーバー　34, 29
プロビジョニング設定　31, 121, 140
プロビジョニング保守　31, 113
ボイスメールアクセス、特番　208
ボイスメールアクセス特番の設定　208
ボイスメールアクセス番号　102
ボイスメールサーバーにSUBSCRIBE送信　98
ポートクローズ時間　79
ポート転送　21
保守　53, 112
ホスト名　63
本機の管理者メニューのパスワード　40
本機の言語を変更する　24
本機の状態を確認する　228
本機を使用したプログラミング　24, 40
本書での表記について　2

ま行

マスターファイル　30, 114, 142
マスターファイルURL　114
メッセージについて　116
文字を入力する　58
モデル名　59

や行

ユーザーパスワード変更　77

ら行

リオーダー音　110
リソースリストURI　103
リンク速度／デュプレックス　66
ルーターの設定　22
ルート証明書　150, 151
レジストラサーバーアドレス　81
レジストラサーバーポート　82

わ行

話中音　108
話中 (転送先電話番号)　106
話中 (不在転送)　106
ワンタッチボタン　208
ワンタッチボタン・BLF（内線状態表示）ボタンの登録　208

■使いかた・お手入れ・修理などは、まず、お買い求め先へご相談ください。

■その他ご不明な点は下記へご相談ください。

パナソニック　システムお客様ご相談センター

電 話 フリーダイヤル 0120-878-410（パナハ ヨイワ）　受付：9時～17時30分　（土・日・祝祭日は受付のみ）

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページからのお問い合わせは　https://sec.panasonic.biz/solution/info/

ご使用の回線（IP 電話やひかり電話など）によっては、回線の混雑時に数分で切れる場合があります。

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

■ 本製品は、外国為替および外国貿易法に定める規制対象貨物（または技術）に該当します。
本製品を日本国外へ持ち出す場合は、同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

■ This product is a Restricted Product (or contains a Restricted Technology) subject to the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Law. In case that it is exported or brought out from Japan, you are required to take the necessary procedures, such as obtaining an export license from the Japanese government, in accordance with the Law.

パナソニック システムネットワークス株式会社

〒153-8687　東京都目黒区下目黒二丁目3番8号

© Panasonic System Networks Co., Ltd. 2011

PNQX3533YA DD0711MH1111